第2次基本計画(施策)進行管理票(令和2年度)

企画部企画課

01	安心	心・安全でいきいきとした暮らしづくり 頁			頁
	01	保健の充実・・・・・・・・・・1	2	24	勤労者支援の充実・・・・・・・62
	02	医療の充実・・・・・・・・・3	2	25	観光の振興・・・・・・・・・64
	03	地域福祉の推進・・・・・・・5	2	26	広域交流の推進・・・・・・・・66
	04	高齢者支援の充実・・・・・・・8	2	27	国際交流の推進・・・・・・・・69
	05	障がい者支援の充実・・・・・・・11			
	06	防災対策の推進・・・・・・・・14	05 a	まち	の快適・うるおい空間づくり
	07	消防・救急救助体制の充実・・・・・・17	2	28	土地利用の適正化・・・・・・・71
	08	防犯体制の充実・・・・・・・・21	2	29	市街地整備の充実・・・・・・・73
	09	交通安全対策の充実・・・・・・・23	3	30	公園・緑地の充実・・・・・・・75
	10	消費者支援の充実・・・・・・・25	3	31	住環境の整備・・・・・・・・76
			3	32	良好な景観形成の推進・・・・・・78
02	子と	ごもを育む環境づくり	3	33	交通体系の充実・・・・・・・・80
		子育て支援の充実・・・・・・・26	3	34	港湾機能の充実・・・・・・・・83
	12	学校教育の充実・・・・・・・・30	3	35	上水道の充実・・・・・・・・84
	13	青少年の健全育成・・・・・・・34	3	36	下水道等の整備・・・・・・・・85
			3	37	資源循環の推進・・・・・・・・88
03	まな	ちを支える人づくり	3	38	生活衛生の向上・・・・・・・・90
	14	社会教育の充実・・・・・・・・37	3	39	自然環境の保護・・・・・・・・92
	15	スポーツ・レクリエーションの振興・・・41	4	10	環境の保全・・・・・・・・・94
	16	市民文化の充実・・・・・・・・43			
	17	人権擁護の推進・・・・・・・・45	06 柞	構想	の実現に向けて
	18	男女共同参画の推進・・・・・・47	4	11	市民参加の推進・・・・・・・96
			4	12	魅力発信力の強化・・・・・・・98
04	まな	ちのにぎわい・活力づくり	4	13	移住・定住の推進・・・・・・・100
	19	企業誘致の推進・・・・・・・・49	4	14	オーガニックなまちづくりの推進・・・・102
	20	農業の振興・・・・・・・・・51	4	15	協働によるまちづくりの推進・・・・・104
	21	林業の振興・・・・・・・・・54	4	16	質の高い行財政運営の推進・・・・・106
	22	水産業の振興・・・・・・・・56		17	広域行政の推進・・・・・・・110
	23	商工業の振興・・・・・・・・59	4	18	ICT活用の推進・・・・・・・112

1. 施策名	基本方向01 基本政策01 施策01 保健の充実				策)進行管理票 . 取りまとめ担当課	健康推進課					
3. 目標	全ての市民が地域社会で活躍	かざすなど健康づく	りを推進します。								
	指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2実績	植 R3実績値	R 4実績値	目相	票値		グラフ	1
4. 施策目標の実現に 関する指標	特定健康診査受診率	45.6% (平成29年 度)	44. 1%	41.1%			57.	5% 70.0 — 60.0 — 50.0 — 40.0 — 30.0 — 20.0 — 10.0 — 0.0 —	47. 5 45. 6 45. 3	50 44. 1	52.5 55 57.5
	フッ化物洗口実施小学校数	8校 (平成30年 度)	10校	0校			18 (全校	校 実施) 20.0 — 15.0 — 5.0 —	12 10 9 10 H30 R1	13 0 R2	18 18 18
		事業名		R	2当初予算額(千円)	R 2最終予算額	(千円)	R 2決算見込額	頁(千円)		7. 施策目標の
	特定健康診査等事業						92,096		85,698		7. 施策目標の 達成(進捗) 状況
	歯科保健事業内フッ化物洗口	歯科保健事業内フッ化物洗口事業					826 0		0		В
5. 施策達成のために 要した事業費	〇健康増進センター施設改修	多事業(計画事業 P 1 、	進捗状況〇)		199, 833		165, 550		165, 550		Ь
		計				2	257, 646		251, 248		
	年度	R 1	R 2		R 3	R4		合計			
6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	107, 532	2	57, 646					365, 178		
WALL OF THE PARTY	決算見込額(千円)	95, 769	2	51, 248	_				347,017		

8. 主な取組名称①	健康づくりの推進	取組(進捗)状況	С					
9. 主な成果	〇市町村国保予防・健康づくり保健事業の「国保ヘルスアップ事業」の補助金を活用し、千葉県厚生農業協同組合連合会(JA)へ「JA組合員健診業務委託」をしました。 また、未受診者へのハガキ勧奨(9月実施)を実施しました。 〇令和2年度フッ化物洗口事業は、新型コロナウィルス感染症の影響により、実施を見合わせました。							
0. 主な課題	○医療機関で定期的に血液検査をしている人が、特定健康診査を受けなくてもよいと判断される場合が多く、医療機関定期受診者への受診勧奨が十分ではありません。 ○特定健康診査以外の健康診査(労働安全産衛生法に基づく健康診査や商工会議所等での健康診査)を受診されている人が、市に健康診査結果を提出される人が少ないのが課題です。 ○フッ化物洗口事業においては、学校教育課や学校現場の協力が必要不可欠であることから、今までよりも感染症対策を強化し、児童生徒や学校側が安心・安全に実施できる体制を構築する必要があります。							
踏まえた今後の取組 の方向性								
8. 主な取組名称②	健康支援体制の充実	取組(進捗)状況	А					

8. 主な取組名称②	健康支援体制の充実	取組(進捗)状況	A					
9. 主な成果	健康増進センター「いきいき館」の開設時から使用しているFRP製のプール槽の取り替えやろ過設備の更新等を行いました。							
10. 主な課題	○新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少しておりますが、今後も安全に長期的に利用できるよう施設の修繕	新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少しておりますが、今後も安全に長期的に利用できるよう施設の修繕について検討していく必要があります。						
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○今後も計画的な改修工事を行い、安全に利用できる環境を整えるとともに、幅広い年代の利用促進を図ります。							

1. 施策名	基本方01 基本政策01 施策02 医療の充実				2. 取	Jまとめ担当課	健康推進課					
3. 目標	乳幼児から高齢者までの市民が安心して医療サービスを受けられるよう 医療ニーズに対応した保健・医療従事者の確保を目指します。					犬況に応じて適切	『な医療が提供で	きる地域	域医療・救急	医療体制の整	備を図	るとともに、地域の
	指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2実	績値	R 3実績値	R 4 実績値	目相	票値		グラフ	7
4. 施策目標の実現に 関する指標	医療施設従事医師数	149人 (平成28年12 月31日時点の 君津保健医療 圏の人数)	154人 (平成30年12 月31日時点の 君津保健医療 圏の人数)	_				189 (令和2 31日時 津保健 の人	2年12月 点の君 100 医療圏 50	149 154 	189	189 189 189 - 実精値 - 4 - 目標億 R2 R3 R4
	就業看護職員数	729人 (平成28年12 月31日時点の 君津保健医療 圏の人数)	722人 (平成30年12 月31日時点の 千葉県全体の 人数)	_				890 (令和2 31日時 津保健 の人	2年12月 点の君 医療圏 数)	729 722	890 R1	1
		事業名			R 2 当初	刀予算額(千円)	R 2最終予算額	(千円)	R 2決算見	込額(千円)		7. 施策目標の
	木更津看護学院准看護師課程	呈負担金				2,608		2,608		2,608		達成(進捗) 状況
	在宅医療・介護連携推進事業	É				3, 405 2, 877			2,672		В	
5. 施策達成のために 要した事業費	君津中央病院企業団負担金	君津中央病院企業団負担金				628, 575	6	28, 575		628, 574		В
	計					634, 588	6	34, 060		633, 854		
	年度	R 1	R 2			R 3	R 4		<u></u>	計		
6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	644, 879	63	34, 060						1, 278, 939		
	決算見込額(千円)	644, 747	63	33, 854						1, 278, 601		

8. 主な取組名称①	医療体制の整備	12. 取組(進捗)状況	В
9. 主な成果	○市民一人ひとりが症状に応じた適切な医療サービスを受けられるよう、今後の医療体制のあり方について、君津木更津ら、君津地域4市での検討を行いました。 ○大規模災害時の応急医療救護体制を確立するため、君津木更津医師会との調整を図り、「災害医療マニュアル」の具体 ○大規模災害時の応急医療救護体制を確立するため、君津木更津医師会との調整を図り、「災害医療マニュアル」の具体 ○大規模災害時の応急医療救護体制を確立するため、君津木更津医師会との調整を図り、「災害医療マニュアル」の具体 ○本宅医療・介護連携推進協議会において「在宅医療下での薬剤師の役割とICTを活用した連携」をテーマにした多職 等を行いました。 ○重症度や緊急度に応じた適正な救急医療の利用について、リーフレットを作成する等、正しい知識の普及や啓発活動を ○君津中央病院の持続可能な経営を図るため、君津中央病院企業団経営改革委員会及び負担金会議への参画や外部有識者 営改善を求めるとともに、適正な負担割合に基づく財政支援を行いました。	的な運用に向けた取組を進 重連携研修の開催や「在宅 強化しました。	めました。 医療と介護マップ」の作成
10. 主な課題	○高齢化の進展や疾病構造の変化、医療技術の進歩などにより保健医療を取り巻く状況が変化する中、急性期から回復期して適切な医療サービスが受けられるよう、医療体制の整備を図るとともに、医療機関と介護サービス事業者の連携を、○救急医療については、君津地域4市で構成する君津保健医療圏で一次、二次、三次の救急医療体制を構築し、君津木更が、医師の高齢化や医師・看護師不足、輪番制で待機する医療機関の減少などにより、体制の維持が厳しい状況となって「○休日の在宅当番医制における小児科医の不足や、夜間の初期救急に対応する夜間急病診療所の充実が求められています。○地域の中核病院として、三次救急医療や高度医療、災害時の拠点病院などの役割を担う君津中央病院は、地域に必要な多額の経費が見込まれています。	より推進する必要がありま 津医師会や関係機関の協力 います。	す。 のもと維持されています
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○君津木更津医師会や関係機関と連携し、在宅当番医制、夜間急病診療所及び二次待機施設など地域の救急医療体制の維	特を図ります。	

1. 施策名	基本方向01 基本政策02 施策03 地域福祉の推進	2. 取りまとめ担当課	社会福祉課
--------	----------------------------	-------------	-------

	至于5月501至于5007	.02 /BAR03 /B	→ 从旧正√71正定	2. 4	プログラー	1-		
3. 目標	住民同士のつながりを大切にし、 築を目指します。	がら、互いに貢献し、支え合う地域社会の構						
	指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2実績値	R3実績値	R4実績値	目標値	グラフ
	民生委員・児童委員数	221人	204人	214人			235人	240 230 235
4. 施策目標の実現に 関する指標	市民後見人受任件数	6件	7件	6件			25件 (累計)	30
	ノンステップバス・ワンステッ プバス導入率	84. 2%	88. 7%	90. 5%			89.5%	92.0 90.0 88.7 88.0 86.6 86.0 84.2 86.3 87.3 88.4 89.5 88.4 89.5 80.0 H29 H30 R1 R2 R3 R4

		事業名	R 2 当初予算額(千円)	R 2 最終予算額(千円)	R 2 決算見込額(千円)
		○JR巌根駅整備事業(計画事業P2、進捗状況△)	161, 384	0	0
		民生委員関係費	14, 503	13, 303	13, 302
		民生委員推薦会委員報酬	88	132	132
5	. 施策達成のために 要した事業費	福祉会館指定管理料	19, 942	19, 942	19, 942
		福祉会館管理諸経費	6, 574	6, 481	5, 806
		後見支援事業	12,008	11, 998	11, 990
		子どもの学習支援事業	1,361	5, 444	4, 177
		計	215, 860	57, 300	55, 349

7. 施策目標の 達成(進捗) 状況
В

		年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
(6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	62,006	57, 300			119, 306
		決算見込額(千円)	61,621	55, 349			116,970

8. 主な取組名称①	地域福祉活動の推進	12. 取組(進捗)状況	А
9. 主な成果	○市内各地区にコミュニティソーシャルワーカーを設置し、地域住民が抱える生活課題や福祉課題等のニーズを一元的に打	巴握することができるよう	になりました。
10. 主な課題	○働き方や生活の多様化による時間的余裕の減少や地域のつながりの希薄化等により、民生委員・児童委員の担い手が不足度も併せ活動しながら、引き続き候補者の選出に努めます。	としています。欠員解消を	目指し、民生委員協力員制
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	〇民生委員・児童委員の欠員補充に努めます。		

8	. 主な取組名称②	生活の安定と援護	12. 取組(進捗)状況	В						
9	・主な成果	○成年後見制度に関する地域連携ネットワークの強化のため、令和元年度に設置した中核機関を中心とした権利擁護に関する会議を定期的に開催しました。								
10	・主な課題	○高齢化や生産年齢人口の減少等によって、支援の担い手が不足しているため、庁内外の関係部署・関係機関との連携が一)高齢化や生産年齢人口の減少等によって、支援の担い手が不足しているため、庁内外の関係部署・関係機関との連携が一層求められています。							
11	・主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	D関係機関との連携を強化し、担い手の確保を検討していきます。								
8	. 主な取組名称③	バリアフリーの推進	12. 取組(進捗)状況	В						
9	. 主な成果	○交通事業者がバス車両を買い替える際にツーステップバスやワンステップバスからノンステップバスに移行しており、導入率は目標設定時より6.3%向上し、目標値を達成しました。ノンステップバスの普及により、高齢者や障がい者などを含むすべての人の外出促進が期待できます。 ○厳根駅のバリアフリーに向けて、駅構外の人道跨線橋へのエレベーター設置に関する詳細設計・地質調査を行っております。また、バリアフリー化に係る協議会を国・JR・市の三者で設置しました。								
10	・主な課題	○巌根駅のバリアフリー化に当たっては、多額の費用が発生します。								
11	踏まえた今後の取組	○ノンステップバスやワンステップバスの導入について引き続き交通事業者に対し要請し、より充実を図ります。 ○巌根駅のバリアフリー化に向けた、駅構外の人道跨線橋へのエレベーター設置等について、円滑に工事が行えるよう、引き続きJRと協議・調整をするとともに、財源の確保を図ります。								

(様式1)		第2次基本計画(施策)進行管理票												
1. 施策	传名	基本方向01 基本政策	策02 施策04 高 齢	諸支援の充実 	2	. 取り	まとめ担当課	高	齢者福祉	上課				
3. 目標	票	地域包括ケアシステムの深化・	推進を目指し、介	護が必要になっ ^っ	ても住み慣	れた地	域で安心して暮	暮らし続けること	ができる	るまちづ	くりの実現			
		指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2実績	責値	R3実績値	R4実績値	目相	票値		グラ	フ	
4. 施策 関す	長目標の実現に する指標	特別養護老人ホームの待機者数	318人 (H31年1月1 日時点)	319人	313人				15	6人	350 318 319 300 250 200 250 150 0 H30 R1	313 220		
		認知症サポーター受講者数	1,043人 (H29年度実績 値)	865人	589人				1,3	00人	1, 400 1, 200 1, 000 800 1043 1043 600 400 659 200 0 H29 H30	1150 	1200 1250 1300 1250 1250 1250 1250 1250 1250 1250 12	
					R	2当初	予算額(千円)	R 2最終予算額	(千円)	R 2 決	算見込額(千円)	(千円) 7. 施策目標の		
						,,,	174, 840		74, 590		174, 590		達成(進捗) 状況	
		認知症総合支援事業					6, 965		3, 764		3, 180			
5. 施第 要し	後達成のために した事業費	老人クラブ補助事業、(公社)	木更津市シルバー	人材センター補助	助事業		8, 680		7, 970		7, 724		В	
		一般介護予防事業					5, 483		3, 451		2, 893			
		地域医療介護総合確保基金事業	補助金、外国人介	護人材対策事業			87, 940		39, 433	39, 433				
			計				283, 908	2	29, 208		227, 820			
		年度	R 1	R2			R3	R4			合計			
6. 毎年	F度の予算額及び 算見込額の推移	最終予算額(千円)	411, 445	2	29, 208						640,653			
.,,(,,	170,20,471	決算見込額(千円)	410, 960	2	27, 820						638, 780			

8. 主な取組名称①	高齢者への包括的支援	12. 取組(進捗)状況	В						
9. 主な成果	 ○高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターの機能を強化するため、ケアプランナーとしての職員を増員しました。 ○認知症サポーター養成講座を11回開催したことにより、589人の方に受講していただき、地域における認知症の理解を深まれる。	高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターの機能を強化するため、ケアプランナーとしての職員を増員しました。 忍知症サポーター養成講座を11回開催したことにより、589人の方に受講していただき、地域における認知症の理解を深めるための普及啓発を推進することができました。							
10. 主な課題	認知症サポーター受講者数は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、認知症サポーター養成講座の機会が極端に少なくなったため止む無く減少しました。 開催した認知症サポーター養成講座の中には、リモートで実施したケースもありました。様々な状況下でも開催方法などを工夫しながら、認知症の方とその家族を支援する 野を広げる必要があります。								
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○認知症サポーター養成講座や認知症初期集中支援事業の周知・啓発をさらに図ります。○医療・介護の関係機関と連携し地域包括ケアシステムの深化・推進を目指すとともに、高齢者の総合相談窓口である地域	域包括支援センターの更な	る機能強化を図ります。						

8	. 主な取組名称②	高齢者の社会参加の促進	12. 取組(進捗)状況	В				
9		○高齢者の生きがいや健康づくりを推進するためシニアクラブの活動に対し支援しました。 ○高齢者が積極的に社会参加できるように木更津市シルバー人材センターの運営に対し支援しました。						
10	・主な課題)高齢者の人口は増加していますが、シニアクラブのクラブ数、会員数ともに減少傾向にあります。)高齢者が積極的に社会参加することができる機会を提供する団体として、シルバー人材センターの安定した継続的運営が必要となります。						
11								

8. 主な取組名	称③	介護予防の推進	12. 取組(進捗)状況	В						
9. 主な成果		○介護予防教室として、身近な公民館における自立生活体操の248回にわたる開催(3か月超(6月及び1月21日〜3月末)は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止) の開催により、延べ968人の高齢者が参加し、介護予防に取り組むことができました。 ○地域住民が主体の通いの場である「きさらづ筋力アップ体操」では、34団体における自主的な介護予防の取組を推進しています。								
10. 主な課題		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、介護予防体操の開催中止や開催自粛など介護予防の機会が少なくなったことで、高齢者のフレイル(体・心の衰えや社会的なつなりが弱くなった状態)の進行が懸念されます。 外出自粛等の下でも地域における介護予防の取組を維持・継続をするため、正しい感染症対策を伝えるとともに、屋外での身体活動など多面的な介護予防の知識の普及啓発 必要です。								
11. 主な成果・ 踏まえた今 の方向性	後の取組	地域包括支援センターなどを通じて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮した介護予防の取組について適切な支援を行います。 ・歯科衛生士や理学療法士などの専門職等による健康教育等の実施を図り、介護予防の機会への参加や介護予防の取組の継続を支援することにより、高齢者が生涯にわたる健 づくりと介護予防を推進します。								
8. 主な取組名	称④	介護保険サービスの充実と適正な給付	12. 取組(進捗)状況	В						
9. 主な成果		○各公民館や窓口にて、パンフレットや事業所一覧の配布を行いました。 ○介護給付適正化調査員の実績として、ケアプラン点検、医療情報との突合、縦覧点検を行いました。 ○介護給付費通知については、令和2年度に4度の送付を行いました。 ○介護保険事業計画に基づき、計画的な施設整備を図っており、令和2年度は3事業所が開設されました。 ○外国人介護人材の受入推進に向け、新型コロナウイルス感染症の現状を鑑み、ベトナム国ダナン市で予定していた現地での介護人材面接会に替え、リモートによる面接会を実施し、2事業所計4名の採用が決定しました。								
10. 主な課題		○介護保険事業計画に基づき、施設整備事業者の選定を行います。 ○外国人介護人材の受入推進を図ります。								
11. 主な成果・ 踏まえた今 の方向性	課題を後の取組	□ ○窓口や各公民館にパンフレットや事業所一覧の定期的な配布を行い、今後も介護給付適正化調査員とともに適切なケアプラン等の点検を行っていきます。 ○介護保険事業計画に基づき、施設整備を図ります。 ○外国人介護人材も含め介護人材の確保、育成するための取組を推進します。								

1. 施策名 基本方向01 基本政策02 施策05 障がい者支援の充実 2. 取りまとめ担当認	障がい福祉課
---	--------

3. 目標	障がい者の人権を尊重し、乳幼児 援や経済的な支援に取り組むとと	期から高齢期に もに、家族、地	至るライフステ- 域社会、関係団体	ージのすべての段 本、行政が連携し	と と は と は に おいて の 人が	域社会のなかで 相互に認めあう	自立して自分ら ことができるま	しく暮らせるように、福祉サービスによる支 ちづくりをめざします。
	指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2実績値	R 3実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ
	介護給付利用者数	529人 (平成29年度 末時点)	555人	541人			600人	620 600 580 560 550 541 540 529 500 480 H29 H30 R1 R2 R3 R4
4. 施策目標の実現に 関する指標	訓練等給付事業の利用者数	368人 (平成29年度 末時点)	383人	450人			400人	500 450 450 460
	日中一時支援利用者数	129人 (平成29年度 末時点)	130人	97人			150人	160
	児童発達支援利用者数	128人 (平成29年度 末時点)	148人	249人			170人	300 249 250 260

			事業名		R 2 当初予算額(千円)	R 2最終予算額(千円)	R 2 決算見込額(千円)		7. 施策目標の 達成(進捗)		
		障害者自立支援等給付事	業		2,000,000	2,071,000	2, 033, 177		状況		
		その他支援事業				33, 386	29, 710		В		
	5. 施策達成のために 要した事業費	障害児通所等支援事業			480,000	593, 166	588, 935		Ь		
			計	2, 514, 000	2, 697, 552	2, 651, 822					
Г		年度	R 4	Δ≡⊥							
	6. 毎年度の予算額及び		R 1	R 2	R 3	K 4	合計				
	決算見込額の推移	最終予算額(千円)	2, 188, 613	2, 697, 552			4, 886, 165				
		決算見込額(千円)	2, 174, 520	2, 651, 822			4, 826, 342				
Γ											
	8. 主な取組名称①	障がい者への理解促進と	相談支援の充実				12. 取組(進捗)状況		В		
	9. 主な成果	○障がいのある人、またはその家族からのさまざまな相談に対応するため、令和2年4月から基幹相談支援センターを設置し、相談支援の充実を図りました。									
	10. 主な課題	○障がいのある人もない. 理解を図ることが必要で	人も地域で共生した社会? す。	を構築するためには、現	状において障がいのある	る人への差別や偏見がある	るなか、その解消に向け、	さらに唇	啓発活動を行い相互		
	11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○地域の課題については	当事者団体をはじめ各関係	系機関で構成する地域自	立支援協議会を活用し、	解決に向け協議します。					

8	3. 主な取組名称②	社会参加の促進	12. 取組(進捗)状況	В					
Ġ).主な成果	○在宅生活の障がいのある人で就労を希望する人は就労訓練、就労が困難な人は生活指導や作業訓練などを行い自立を支援しました。 ○地域活動支援センター機能強化や日中一時支援事業などの地域生活支援事業を実施し、障がいのある人の余暇活動支援など社会参加を促進しました。							
1). 主な課題	O就労については、職場において障がいのある人への理解促進が求められているところですが、障がい特性からコミュニケーションが円滑に行われないことがあるため、対人 関係を理由に就労の継続を断念することがあります。							
1	1. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	就労訓練を経て就労した障がい者に対して、就労が継続し定着できるよう支援します。							
8	3. 主な取組名称③	生活自立の支援	12. 取組(進捗)状況	Α					
Ġ). 主な成果	○障がいのある人の生活を支援するため、日常生活用具や補装具の支給、自立支援医療費等の支援を行いました。 ○発達が気になる子に対し相談支援、言語訓練・運動訓練等早期療育を実施し、障がいの軽減や生活能力の向上を図りました。 ○障がいのある人やその介護者に障害者手当、障害児特別扶養手当等各種手当の支給により経済的負担の軽減を図りました。 ○DV等を受けた障がいのある人の避難を迅速に行い、身の安全を確保するなど虐待防止センターの機能強化を図りました。 ○介護者への相談支援を行うとともに、児童発達支援や放課後デイサービスの提供により障害児通所支援を行いました。							
1). 主な課題	〇障がいのある人の重度化や介護者の高齢化により、「親亡き後」の生活に不安を抱いている現状があり、その解消に向いります。	○障がいのある人の重度化や介護者の高齢化により、「親亡き後」の生活に不安を抱いている現状があり、その解消に向け在宅福祉サービスや居住支援の充実を図る必要があります。						
1	1. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○障がいのある人のグループホームの体験利用や緊急時の受入確保など体制づくりの機能として、地域生活支援拠点等の動	を備を推進します。						

1. 施策名	基本方向01 基本政策	603 施策06 防炎	災対策の推進	fā	i機管理課			
3. 目標	市、関係機関及び市民の総力を結 ます。	集し、平時からタ	え、市民の生命、	身体及び財産を災害から守ることをめざし				
	指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2実績値	R 3実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ
4. 施策目標の実現に 関する指標	自主防災組織のカバー率	47.7% (平成29年度)	49.8%	50.9%			70%	80.0
	防災訓練実施地区の割合	37.5% (平成30年度)	37. 5%	37. 5%			100%	100.0

	事業名	R 2 当初予算額(千円)	R 2 最終予算額(千円)	R 2決算見込額(千円)
	災害用備蓄用品購入	17, 192	16, 408	16, 408
	地域防災計画等策定業務委託	7,000	6, 688	6,688
	国土強靭化地域計画策定等業務委託	9, 900	5, 391	5, 390
5. 施策達成のために	避難所感染症対策事業	3, 696	26, 320	26, 320
要した事業費	〇同報系無線デジタル化整備事業(計画事業P3、進捗状況〇)	256, 030	222, 526	222, 525
	〇住宅・建築物耐震診断事業(計画事業P4、進捗状況〇)	2,050	2, 116	2, 112
	〇住宅・建築物耐震改修事業(計画事業P5、進捗状況〇)	2,000	1,800	1,600
	○宅地耐震化推進事業(防災・安全)(計画事業P6、進捗状況△)	10,000	0	0
	計	307, 868	281, 249	281,043

	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計	
6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	270, 951	281, 249			552, 200	
	決算見込額(千円)	238, 776	281, 043			519,819	

7.	施策目標の 達成(進捗) 状況
	В

8. 主な取締	組名称①	防災対策の強化	12. 取組(進捗)状況	В							
9. 主な成界	木	〇避難所の生活環境の改善や停電時における避難所運営対策のため、非常用発電機、非常用照明、間仕切りパーテーションを購入するとともに、避難所における新型コロナウイルス感染症対策のため、段ボール製・ポップアップ式の間仕切りパーテーション、感染予防に効果のある簡易トイレを購入しました。 〇風水害で開設を予定している全避難所で3回、また、市有施設の全避難所で、地震を想定した避難所開設訓練を1回実施するなど、災害発生時に対応するため、市職員による訓練を実施しました。									
10. 主な課題	題	〇市主催の関係機関参加型防災訓練については、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を見合わせました。									
11. 主な成り 踏まえた の方向性	た今後の取組	○引き続き飲料水や保存食等の備蓄を行うとともに、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、市職員による避難所開設訓練を実施するなど、平時から災害に対する備えを行います。									
8. 主な取締	組名称②	災害に強い基盤づくり	12. 取組(進捗)状況	В							
9. 主な成気	果	○防災行政無線については、令和元〜2年度の継続事業で、子局33局のデジタル化整備を実施しました。また、令和2〜3年度の継続事業で、子局66局のデジタル化整備を実施しています。 ○発災時の人命保護や被害の最小化を図るため、「木更津市国土強靭化地域計画」を策定しました。 ○令和2年度の木造住宅耐震化促進事業にて4回の無料耐震相談会を開催し、17件の一般診断を実施するとともに、耐震診断後、一定期間経過しても耐震改修を行っていない者に対して、文書等による耐震改修促進を実施しました。									
10. 主な課題		○情報伝達手段が多様化しているため、それに見合った対応を行う必要があります。 ○市民の耐震化意識の向上のため、令和2年度に行った普及啓発事業のフォローアップを行う必要があります。									
		〇令和4年11月末までに市内全ての子局のデジタル化整備を実施するとともに、情報伝達手段の多重化と発信内容の充実を図ります。 〇令和3年度は、5回の無料耐震相談会開催と15件の一般診断及び7件の耐震改修事業の実施を目標に、木造住宅耐震化促進事業を推進します。									

8. 主な取組名称③	防災意識の向上	12. 取組(進捗)状況	В							
9. 主な成果	〇自主防災組織については、新たに9団体が設立されました。 〇風水害、土砂災害、地震などの自然災害へのリスクの理解を図るため、「木更津市Web版防災ハザードマップ」を作成し、市ホームページで公開しました。									
10. 主な課題	〇市民対象の講演や自主防災実務者講習会(千葉県災害対策コーディネーター養成講座)については、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を見合わせました。 〇自主防災組織は新たに9団体が設立されましたが、カバー率は県内平均を下回っている状況です。									
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○令和3年度に紙版の「木更津市防災ハザードマップ」を全戸配布します。 ○自主防災組織が未設立の地区に対して、設立を促進します。 ○新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、自主防災実務者講習会を開催するとともに、広報きさらづをはじめとした広報媒体を活用し、市民の防災・減災に対する意 識の啓発を図ります。									
8. 主な取組名称④	災害発生時の迅速な対応	12. 取組(進捗)状況	В							
9. 主な成果	〇令和元年における台風や大雨における本市や防災関係機関の災害対応の課題を踏まえ、木更津市地域の防災体制及び災害対策の充実を図るため、「木更津市地域防災計画」 を改訂するとともに、「木更津市業務継続計画(風水害編)を作成しました。 〇参加条件に見合った職員が講習に参加したことで、新たに被災建築物応急危険度判定士を増員しました。									
10. 主な課題	○市内各地区で災害発生時のリスクが異なりますが、現時点では把握できていない状況です。○災害発生時の被害の拡大防止のため、今後も被災建築物応急危険度判定士を育成するための周知を図る必要があります。									
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○災害リスク等の地域特性や防災活動状況等を地区ごとに整理し、課題の分析・評価、課題解決に向けた方策等を記載した。 ○引き続き被災建築物応急危険度判定士を育成するための周知を図ります。	こ「木更津市地区別防災指	計」の策定に着手します。							

1. 施策名	基本方向01 基本施策03 施策07 消防・救急救助体制の充実	2. 取りまとめ担当課	消防総務課	

3. 目標	火災や事故のほか、近年増加して	災や事故のほか、近年増加している大規模災害などから、市民の安心・安全な暮らしを守るため、消防力の強化や救急救助体制の充実を目指します。										
	指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2実績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ				
4. 施策目標の実現に 関する指標	救急車現場到着所要時間の短縮	9.3分 (平成29年)	9.6分 (令和1年)	9.7分 (令和2年)			8.5分	10.0 9.3 9.6 9.7 9.6 9.7 9.0 9.1 8.9 8.7 8.6 8.5 8.0 - 実績値 - 目標値 7.5 H29 H30 R1 R2 R3 R4				
	消防団員充足率	90.8% (平成29年)	83.0% (令和1年)	76.5% (令和2年)			100%	700				

	事業名	R 2 当初予算額(千円)	R 2 最終予算額(千円)	R 2決算見込額(千円)
	救急救助業務	4, 690	8, 083	8, 011
	救急救助資機材購入	10,804	6, 767	6, 767
	消防活動資機材購入	3, 059	2, 943	2, 943
	〇消防職員防火衣一式更新事業(計画事業P7、進捗状況〇)	9, 693	9, 456	9, 455
	(新型コロナ対策)救急救助資機材購入	4, 867	31,754	31, 753
5. 施策達成のために	消防団業務活動	3, 210	2,872	2, 871
要した事業費	(新型コロナ対策)消防団活動用資機材購入	9, 900	13, 492	13, 492
	消防団活動用資機材購入	2, 300	1,947	1, 947
	〇消防団新基準活動服等購入(計画事業P8、進捗状況〇)	6, 737	6, 737	6, 737
	〇高規格救急自動車購入(計画事業 P 9 、進捗状況〇)	30,000	30, 580	30, 580

7. 施策目標の 達成(進捗) 状況

〇小型動力ポンプ付積載車購入(計画事業 P10、進捗状況〇)	19,000	18,920	18, 920
〇災害用多目的支援車購入(計画事業 P11、進捗状況〇)	60,000	59,950	59, 950
計	164, 260	193, 501	193, 426

	年度	R 1	R 2	R 3	合計	
6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	90, 046	193, 501			283, 547
	決算見込額(千円)	89, 913	193, 426			283, 339

8. 主な取組名称①	消防力の整備充実	12. 取組(進捗)状況	А					
9. 主な成果	○令和2年12月に市民の安心・安全を図るため、多くの救助資機材及び人員を搬送できる機能を有した「災害用多目的支援車」を整備しました。 ○令和2年12月に消防職員の防火衣39着を「総務省消防庁の消防隊員用個人防火装備に係るガイドライン」に即した防火衣に更新整備しました。 ○令和3年2月に老朽化していた救急自動車1台を最新の車両及び資機材に更新整備しました。 ○令和3年2月に整備した空気呼吸器一式は、隊員の安全性を高めるとともに、要救助者の救出時に市民に対して安心・安全を与えるものとなります。 ○これらの更新等整備により、隊員の安全性を確保し、より性能の高い車両及び装備になったことから、火災等の各種災害現場において安全かつ迅速に災害活動ができるようになりました。							
10. 主な課題	○市民の安心・安全のため、令和4年度に予定している救助工作車の更新整備をはじめ、老朽化又は必要な車両・消防活動す。	助資機材等の整備を継続	的に整備する必要がありま					
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○市民が安心して生活できる地域社会を作るために車両・消防活動資機材等を積極的に整備し、消防力の更なる充実強化な ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を図ります。						

8. 主な取組名称②	救急救助体制の強化	12. 取組(進捗)状況	В						
9. 主な成果	○令和3年2月に2020東京オリンピック等消防特別警戒に必要な化学防護服などの資器材整備、更には新型コロナウイル、アイソレーター」をはじめとした様々な感染対策資器材を整備しました。これらの救急救助資機材を整備することにより、○令和3年1月及び3月に、化学物質等を使用したテロなどの災害に対応するため、CBRNE(化学、生物、放射性物質専門家の評価、訓練アンケート、反省会を実施し、今後の消防活動及び各種災害対応マニュアルの改正に係る検討に活かで	- 救急救助体制の強化が[質、核、爆発物)災害対[図られました。						
10. 主な課題	○令和2年の救急出動(6,824件)は、主にコロナ禍を理由に救急車の要請が少なくなり、令和元年の救急出動(7,458件)通報事例が多く、感染対策に係る装備に時間を要したことにより「救急車現場到着所要時間の短縮」の目標指数を達成でき を医療機関へ搬送する時間の短縮を図るために令和2年2月に策定した「木更津市救急活動時間短縮マニュアル」に基づ く、救急活動時間全体の短縮を図り、傷病者の負担軽減につながる救急活動に努める必要があります。	きなかった要因としてあり	ずられます。今後、傷病者						
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○複雑多様化する各種救急救助活動に対応するために、必要な資機材を整備し、更なる救急救助体制の強化を図ります。 ○「木更津市救急活動時間短縮マニュアル」等に基づき「救急隊現場到着所要時間の短縮」だけではなく、救急活動時間全体の短縮を図り、傷病者の負担軽減につながる救 急活動に努めていきます。 ○様々なイベント・YouTube等を通じて救急車の適正利用について啓発します。								
8. 主な取組名称③	火災予防体制の充実強化	12. 取組(進捗)状況	В						
9. 主な成果	○住宅用火災警報器の普及促進については、ジェイコム千葉のテレビ番組「オーガニックシティきさらづ」、かずさFMの動画配信等に課員が出演し、住宅用火災警報器の普及促進の啓発を行いました。なお、例年実施している住宅用火災警報 染拡大防止に配慮して中止しました。 ○違反対象物の違反是正については、自動火災報知設備未設置の重大違反がある飲食店、ホテル等が年度当初は27件ありまた。一方、老朽化等により違反状態となっている地下燃料タンク1件は是正に至っていないため、違反是正に向け指導を利ル等の事業所への立入検査は67件実施し、ガソリン等の危険物を扱う事業所への立入検査は53件実施しています。 ○火災原因調査の体制の充実強化については、県消防学校火災調査科に職員2名が入校し、調査技術を習得しました。その	暇器の設置率訪問調査は、 ましたが、徹底した指導! 継続してまいります。なる	新型コロナウイルスの感 こより全て是正されまし お、飲食店、物販店、ホテ						
	査技術向上を図りました。								
10. 主な課題	国技術向工を図りました。 ○住宅用火災警報器の普及促進については、いまだに未設置の住宅があることから、様々な機会又は広報媒体を活用して る必要があります。 ○違反状態の地下燃料タンク1件については、継続して違反是正に向け指導していく必要があります。	主宅用火災警報器の重要に	生及び必要性の啓発に努め						

8. 主な取組名称④	消防団の充実強化	12. 取組(進捗)状況	С						
9. 主な成果	○令和3年2月に第4分団第4部(万石)及び第6分団第2部(中島高須)の老朽化した小型動力ポンプ付積載車を更新し、消防団員の活動能力を高め、防災強化体制を充 実しました。 ○令和3年2月に新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため「シールド付きヘルメット」及び「感染症対策レインスーツ」を全団員分整備しました。 ○これらの救急救助資機材を整備することにより、救急救助体制の強化が図られました。								
10. 主な課題	○様々なイベント等を通じて、消防団の重要性について市民の理解を深め、減少傾向にある団員の確保に努める必要があり ○消防団員数の減少が著しい中、大規模災害時等の災害に対応するため、消防団活動の強化や役割を特化した新たな機能 ○老朽化した消防団装備及び車両の更新を行い、消防団の充実強化に努める必要があります。	○様々なイベント等を通じて、消防団の重要性について市民の理解を深め、減少傾向にある団員の確保に努める必要があります。 ○消防団員数の減少が著しい中、大規模災害時等の災害に対応するため、消防団活動の強化や役割を特化した新たな機能別分団の発足に努める必要があります。 ○老朽化した消防団装備及び車両の更新を行い、消防団の充実強化に努める必要があります。							
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	 ○大規模災害等に対応するため、役割を特化した機能別分団大規模災害団員(仮称)の発足を令和4年度までに目指しまで ○消防団員の活動時の安全と充実を図ることを目的として、継続的に消防団装備及び車両の更新を実施します。	ं							

6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移 年度

最終予算額 (千円)

決算見込額 (千円)

R 1

24, 144

23,896

	第 2 次基本計画(施東)進行官理崇											
1. 施策名	基本方向01 基本政策04 施策08 防犯体制の充実 2			2. 取	りまとめ担当課	市国	活動支	援課				
3. 目標	市民の防犯意識を高め、犯罪の未然防止を図ることで、安全で安心して暮					まちづくりの実現	見をめざします。					
	指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2	実績値	R3実績値	R 4 実績値	目相	票値		グラフ	
4. 施策目標の実現に関する指標	防犯カメラ <mark>の</mark> 設置台数	18台 (平成29年 度)	20台	21台				22台		23 22 21 20 20 19 18 18 19 17 18 H30 R1	21 20 R2	22 21 一 実績値
	事業名				R 2当社	切予算額(千円)	R 2最終予算額	(千円)	R 2決算	算見込額(千円)		7. 施策目標の 達成(進捗) 状況
	防犯カメラ設置事業					660		660		660		状況
	防犯ボックス運営事業	防犯ボックス運営事業				592		1,012		904		В
5. 施策達成のために 要した事業費	L E D防犯灯整備事業	L E D防犯灯整備事業				18, 243	18, 243			18, 242		ם
	防犯灯設置事業補助金	防犯灯設置事業補助金				1,960		1,380		1,371		
		計	·			21, 455	7	21, 295		21, 177		

R 2

21, 295

21, 177

R 3

R 4

合計

45, 439

45,073

8. 主な取組名称①	防犯活動の推進	12. 取組(進捗)状況	В				
9. 主な成果	〇自主防犯活動団体(35団体)に対して、防犯ベスト等の防犯活動に必要な物資の支援を行いました。 ○青パト車を使用し、職員、防犯指導員合わせて年間760回の防犯パトロールを実施しました。						
10. 主な課題)防犯団体の構成員や防犯指導員の高齢化が問題となっています。)防犯団体の活動が活発な地区とそうでない地区の偏りが生じています。						
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性) 今和2年度から防犯ボックスを設置したことにより、地域の防犯パトロール及び児童、高齢者の見守り活動を行うことで地域防犯力の向上が図れます。)PRや、防犯団体や学校等との防犯パトロールをさらに強化し、地域で一体となって安心・安全なまちづくりの実現を目指します。						
8. 主な取組名称②	防犯設備の整備	12. 取組(進捗)状況	В				
	防犯設備の整備 ───────────────────────────────────	12. 取組(進捗)状況	В				
9. 主な成果			В				

1. 施策名	基本方向01 基本政策04 施策09 交通安全対策の充実			2. 取(りまとめ担当課	市民	民活動支援課		
3. 目標	道路交通環境の整備や交通安全意	交通環境の整備や交通安全意識の高揚等の交通安全対策を推進し、交通事故発生件数の減少をめざします。							
	指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2実績値	R3実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ	
4. 施策目標の実現に 関する指標	交通安全教室の参加者数	4,884人 (平成29年 度)	4, 331人	1,622人			5,860人	8,000 6744 5200 6,000 4884 5200 5600 5860 4,000 5000 4331 1622 2,000 1,000 6 129 H30 R1 R2 R3 R4	

	事業名	R 2 当初予算額(千円)	R 2最終予算額(千円)	R 2決算見込額(千円)
	〇市道122号線歩道改良事業(計画事業 P12、進捗状況〇)	14, 500	14, 500	14, 073
	〇パークベイプロジェクト推進事業(富士見通り歩道改良) (計画事業 P13、進捗状況〇)	66,000	11,088	11,088
	道路交差点名表示板設置事業	1,900	0	0
5. 施策達成のために	駐車場管理費(西口)	33, 942	29, 115	28, 252
要した事業費	交通安全教室指導事業費	648	216	0
	木更津市営自転車駐車場の管理	18, 355	18, 355	18, 172
	放置自転車等対策事業	15	15	5
	交通災害共済事業	5	5	2
	計	135, 365	73, 294	71,592

	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	96, 697	73, 294			169, 991
	決算見込額(千円)	92, 327	71, 592			163, 919

7.	施策目標の 達成(進捗) 状況
	В

8. 主	とは取組名称①	交通環境の整備	12. 取組(進捗)状況	В						
9. 主	上な成果	○市道122号線歩道改良事業については、歩道改良工事(L=125m)を実施しました。 ○パークベイプロジェクト推進事業(富士見通り歩道改良)については、歩道詳細設計(L=1,320m)、電線地中化詳細設計(L=1,230m)を実施しました。 ○金田第一駐車場の再整備については、土地区画整理事業者と今後の整備計画について、協議を行いました。 ○西口駐車場については、防災設備の修繕を行い、また、建物点検を委託業務で行いました。								
10. 主	とな課題	5道122号線歩道改良事業については、歩行者の側溝転落が危惧されることから、早期の整備完了が望まれます。 パークベイプロジェクト推進事業(富士見通り歩道改良)については、整備期間が遅延しないよう、関係機関との協議が必要になります。 3路交差点名表示板設置事については、交差点名表示板を設置した後、カーナビ等の連動に時間を要します。 3田第一駐車場の再整備については、土地区画整理事業の進捗及び周辺の交通渋滞の状況に合わせ、検討する必要があります。 3口駐車場については、適正な維持管理を行うため、修繕計画等を見直す必要があります。								
踏	とな成果・課題を 踏まえた今後の取組 D方向性	記述事場については、適正な維持管理を行うため、修繕計画等を見直す必要があります。 記道122号線歩道改良事業については、次期基本計画において、整備費用の計上に努めます。 パークベイプロジェクト推進事業(富士見通り歩道改良)については、整備期間が遅延しないよう、関係機関との協議、調整を実施し計画通り事業の進捗を図ります。 試路交差点名表示板設置事については、一般財団法人日本デジタル道路地図協会と連携し、速やかなカーナビ連動をすることにより、道間違えによるUターン事故を減ら 交通安全に努めます。 設田第一駐車場の再整備については、引き続き土地区画整理事業者と今後の整備計画等について、協議を行っていきます。 記口駐車場については、施設の状況を踏まえ、修繕計画等を見直していきます。								
8. 主	Eな取組名称②	交通安全の推進と意識の高揚	12. 取組(進捗)状況	В						
9. 主	上な成果	○保育園や小中学校等に向け実施した交通安全教室については、新型コロナウイルス蔓延防止のため実施回数を減らしまりの大・東京では、全体では、全体では、全体では、全体では、全体では、全体では、全体では、全体	 した。(合計23回、1,622 <i>)</i> り友輪株式会社に管理運営	 						
10. 主	上な課題	○少子化により安全教室の実施回数の確保が難しい。また、学校行事との日程調整が難しく安定した実施が見込まれない ○放置自転車については、放置件数は減少していますが、木更津駅東口における放置は依然として確認されることから、だ 去が必要となります。	場合があります。 放置場所が固定化しないよ	うにするためにも迅速な撤						
踏	Eな成果・課題を 踏まえた今後の取組 D方向性	○自動車学校や警察、学校等との連携を強化し、交通安全教室の実施回数の確保、対象人数の増加に努めます。○放置自転車については、撤去作業の迅速化を図ります。								
8. 主	上な取組名称③	被害者救済制度の充実	12. 取組(進捗)状況	В						
9. 主	Eな成果	○交通災害共済については、集団会員および一般会員に分けて募集を行い、交通事故に遭った加入者から、見舞金請求がる○交通事故相談については、4・5月を除いて毎月2日間、相談日を設けて相談希望者の相談に応じました。 (※5月は	あった際には遅滞なく対応 は、コロナウイルス蔓延防」	しました。 しました。 上のため中止)						
10. 主	とな課題	○交通災害共済については、少子化等により年々加入者は減少していますが、加入率向上に努める必要があります。また、より交通事故防止の啓発に努める必要があります。	、昨今、交通事故発生件数	が増加していることから、						
踏	Eな成果・課題を 沓まえた今後の取組 り方向性	○交通災害共済については、加入者の増加促進、交通事故防止の啓発に努めます。○交通事故相談については、今後も相談希望者の相談に適切に応じます。								

1.	施策名	基本方向01 基本政策04 施策10 消費者支援の充実				2.取り	まとめ担当課	市民	活動支	援課 			
3.	目標	市民が消費生活に関する正す。	民が消費生活に関する正しい知識と判断力を身につけ、消費者トラブルを未然に防ぐために、消費者教育の充実を図るとともに、関係団体とのさらなる連携強化をめざしま ・							連携強化をめざしま			
		指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2実	績値	R3実績値	R4実績値	目相	票値		グラフ	1
4.	4. 施策目標の実現に 関する指標	中学校及び公民館等におけ 前講座の開催回数	る出 19回 (平成29年 度)	19回	4 🗈	<u> </u>			25	2 2 1	30.0 24 25.0 19 20.0 21 15.0 21 10.0 5.0 0.0 H29 H30	22 19	23 24 25 来標值 日標值 R2 R3 R4
			事業名		F	R 2 当初]予算額(千円)	R 2最終予算額	(千円)	R 2決算	見込額(千円)		7. 施策目標の 達成(進捗)
		消費生活相談員報酬					6, 546		6, 286		6, 266		送风 (進捗) 状況
5.	5. 施策達成のために 要した事業費	消費生活センター事業					2, 677		2,552		1,693		В
			<u>計</u>				9, 223		8,838		7, 959		
		年度	R 1	R2			R 3	R 4			合計		
6.	毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	10, 593		8, 838						19, 431		
		決算見込額(千円)	9, 014		7, 959						16, 973		
8.	主な取組名称①	消費者の自立支援								12. 取組	(進捗)状況		В
9.	主な成果	○地産地消やフェアトレー ○訪問販売や電話 d e 詐欺	ー ドをはじめとするエシ: の被害防止のため、訪!	カル消費の推進を 問販売お断りシー	を図るた <i>め</i> ールを作成		 に一般消費者向 布を行いました]けに試食を交え こ。	た体験型	 型のトーク	 ショーを行いま	した。	
10.	主な課題	○新型コロナウィルス感染 ○市民に対して消費生活セ ○若年層への効果的な情報 す。	ンター及び消費者ホッ	トライン (188)	の更なる	周知を	図る必要があり	ます。					「欠となっていま
11.	主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○多様な機関と連携し、負	担なく情報共有が可能。	となるシステム(の構築を目	指すと	ともに、引き続	た 幅広い世代へ	の啓発流	舌動を行っ	てまいります。		

1. 施策名 基本方向02 基本政策01 施策11 子育て支援の充実 2. 取りまとめ担当課 子育て支援課

3. 目標	子ども一人ひとりの特性にあった健やかな成長を見守り、子どもを安心して産み育てる環境をつくることで、子育て世代にとって魅力あるまちづくりをめざします。							
	指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2実績値	R3実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ
4. 施策目標の実現に 関する指標	この地域で子育てをしたいと思 う人の割合	91.9% (そう思う: 56.3%どちら かといえばそ う思う: 35.6%) (平 成29年度)	94.0% (そう思う 59.9%、どち らかといえば そう思う 34.1%)	94.2% (そう思う 60.3%、どち らかといえば そう思う 33.9%)			95%	96.0 95.0 94.0 93.0 91.9 92.0 91.0 92.9 90.0 91.2 92.9 94.9 95.9 94.9 95.9 94.9 95.9 96.0 97.0 98.0 99.0
	ファミリーサポートセンター事 業会員数	105人 (平成29年 度)	418人 (令和元年 度)	448人			400人	500 418 448. 400 300 325 350 375 400 300 105 100 105 平純億 目標億 180 R1 R2 R3 R4
	保育園の待機児童数	83人 (平成30年4 月1日時点)	69人 (平成31年4 月1日時点)	62人 (令和2年4 月1日時点)	90人 (令和3年4 月1日時点)		0人	100 83 90 88 83 69 62 東積值 40 ■ 東積值 20 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

	事業名	R 2 当初予算額(千円)	R 2 最終予算額(千円)	R 2決算見込額(千円)
	〇保育士確保対策事業(計画事業P14、進捗状況O)	60,000	45, 038	41, 276
	〇民間保育園等施設整備補助金(計画事業P15、進捗状況〇)	389, 195	174, 362	171,925
	〇請西保育園防音対策工事(計画事業P16、進捗状況〇)	27, 220	23, 481	23, 481
5 梅等達成のために	子育て世代包括支援センター事業	5, 312	4, 919	3,803
	新生児・妊産婦訪問指導員報酬(R1)、新生児・産婦・乳児家庭全戸訪問事業(R2~)	4, 741	4, 940	4, 492
	発達相談事業	3, 092	2, 982	2,967

7. 施策目標の 達成 (進捗) 状況 **B**

		第 2 	1 (旭泉) 進刊自任宗		
特別保育事業(ファミリ	ー・サポート・センター	事業)	3,560	3, 560	3, 306
保育所等における業務効率	率化推進事業補助金		1,000	1,000	800
認可外保育施設利用者助	成金		12, 265	6, 501	6, 501
計			506, 385	266, 783	258, 551
年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計

	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計	
6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	288,035	266, 783			554, 818	
	決算見込額(千円)	281,635	258, 551			540, 186	

	8. 主な取組名称①	妊娠・出産・子育て期への切れ目のない支援の充実	12. 取組(進捗)状況	А
	9. 主な成果	○発達相談事業の一つである保育園等巡回相談は、巡回相談希望園は37園と、前年度26園から大幅に増加し、市内の保育 ○新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、オンラインを活用したプレママ講座(初産婦対象)、ママ広場(経産婦 ○発達が気になる幼児及びその保護者対象の小集団の親子教室については、緊急事態宣言下中は個別相談へと切り替え、	対象)を月1回実施しまし	た。
1	0. 主な課題	○妊娠中の栄養指導の強化を図る必要があります。○新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、里帰り出産を中止するなど、産後の支援者の乏しい妊婦が増加していま○医療機関におけるマタニティ教室の中止等から、妊娠・出産に対する知識、情報の不足などによる、妊婦の不安が増大○発達相談事業後の受け皿が不足しているため、障がい福祉課や幼児言語教室等の関係各課と連携した支援先の確保や支	しています。	があります。
1	踏まえた今後の取組	○プレママ教室をコース化し栄養士の監修の下、栄養指導の内容を盛りこみ、妊婦に対する保健指導の充実を図ります。 ○コロナ禍においても、引き続き必要な支援が母子に提供できるように配慮していきます。 ○発達支援の必要な児への支援について、引き続き関係各課や機関と連携を図り、検討していきます。		

8. 主な取組名称②	保育・幼児教育の充実	12. 取組(進捗)状況	В		
9. 主な成果	○保育園の待機児童解消に向け、保育所等整備交付金等を活用した保育園の整備を進め、保育の受け入れ体制の充実及び保育環境の改善を図りました。 ○令和2年4月に認可保育施設うみまち保育園を創設し、年度当初の待機児童減少に努め、岩根保育園の改築、金田幼稚園の認定こども園化に向けた創設等の助成を行い、受入児童数の増加を図りました。 ○公立保育園において保育士確保対策事業などの民間活力を活用し、保育士不足の解消を図り、質の高い保育を目指すことに努めました。 ○共働き家庭等の児童の居場所となる放課後児童クラブの運営に対し補助を行い、児童の健全育成を図りました。 ○幼児教育・保育の無償化に伴い、幼稚園、認可外保育施設、一時預かり事業等を利用する児童の認定を行い、保育料等の軽減に努めました。 ○木更津市立保育園民営化方針に基づき、令和3年4月より木更津市立吾妻保育園の民営化を実施しました。				
	○令和2年度には新規保育施設を創設する等、待機児童対策に取り組んでいますが、入園希望者は年々増加しており、待 ○市立保育園の民営化に向けて、移管先事業者や保護者、地域との合意形成を図る必要があります。	機児童の解消には至ってい	ません。		
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○待機児童の解消に向け、更なる民間保育施設等の整備や保育士の確保及び処遇改善を図ります。○市立保育園の民営化を円滑に進めていくため、市、事業者及び保育園保護者との間で三者協議会を設置し、移管に伴う	合意形成を図ります。			

8. 主な取組名称③	 子育て家庭・ひとり親への経済的支援の充実 	12. 取組(進捗)状況	В			
9. 主な成果	○子育て世帯に対し、児童手当の給付や子ども医療費の助成による経済的な支援を行いました。 ○母子家庭や父子家庭等の状況に応じ、自立に向けた相談支援、就職に向けた資格取得のための支援、児童扶養手当の給付やひとり親家庭等医療費の助成による経済的な支援 を行いました。また、ひとり親家庭等医療費助成においては、令和2年11月分診療分から医療費の給付方法を従来の償還払い方式から現物給付方式へ移行しました。 ○未熟児として出生した子どもに対して、未熟児養育医療制度に基づく経済的な支援を行いました。 ○新型コロナ感染症の影響を受けている子育て世帯(児童手当受給者)及びひとり親世帯に対し、臨時特別給付金を支給しました。					
10. 主な課題	○ひとり親家庭に対する経済的支援について、更なる周知を図ります。					
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○子育ての不安や就労問題など様々な事情を抱えているひとり親に対し、経済的負担の軽減を図り、一人ひとりに寄り添った支援に取り組みます。					
8. 主な取組名称④	母子保健の充実	12. 取組(進捗)状況	А			
9. 主な成果	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □					
10. 主な課題	○妊娠中の栄養指導の強化を図る必要があります。○妊娠期からの家族ぐるみでの基本的な生活習慣確立に向けた保健指導の拡充を図る必要があります。					
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○プレママ教室をコース化し栄養士の監修の下、栄養指導の内容を盛りこみ、妊婦に対する保健指導の充実を図ります。○基本的な生活習慣確立に向けて、関係機関と連携・協働した保健指導を実施します。					

8	. 主な取組名称⑤	児童虐待・DV等の予防及び対策	12. 取組(進捗)状況	А				
9		○広報きさらづ6月号へ相談窓口の掲載を行ったほか、カードやステッカーの設置等により啓発活動を行いました。この啓発により、DV防止及び被害者への相談先の周知を図り、特に立場の弱い女性の権利擁護を図りました。 図り、特に立場の弱い女性の権利擁護を図りました。 ○児童虐待に関しては、「木更津市児童虐待対応マニュアル」を作成し、要保護児童対策地域協議会構成機関、庁内関係課、幼稚園、保育園、小中学校等に対して説明をしながら配布しました。 がら配布しました。 ○個別支援会議は29事例(32人)に対して41回開催し、事例に応じた関係機関を召集し、情報共有や課題を明確にし、具体的な支援方針・役割分担を決定しました。適宜、情報共有を行い、支援方針の見直しを行いました。						
10	・主な課題	○市内保育施設長会議、小中学校校長会・教頭会・養護教育部会等で連携強化に関する説明会を行うほか、情報の共有化が図れるよう個別支援会議を開催し、役割分担を明確 にした上で連携していきます。 ○通告や相談に対し適切な助言をし、問題解決できるよう努めており、今後も継続して対応していきます。						
11	. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○関係機関との連携を強化し、子どもに対する虐待、配偶者やパートナーからの暴力等に対応するため、相談に対して適切な助言をして、問題の解決を図ります。						
8	. 主な取組名称⑥	市民活動・民間活力による子育て支援の推進	12. 取組(進捗)状況	A				
9		○ファミリーサポートセンター事業の会員数が前年比で30人増加しました。 ○令和2年2月から、こどもの森を活用して「ちょこっと預かり」(短時間お預かりサービス)を開始しました。						
10	・主な課題	○「ちょこっと預かり」の周知が広報やホームページ等のためか、利用者が少ないことが課題です。						
11	. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○「ちょこっと預かり」の会場を金田地域交流センターでも実施し、拡充していくとともに周知の徹底を図ります。						

(様式1)

第2次基本計画(施策)進行管理票

1. 施策名	基本方向2 基本政策02 施策12 学校教育の充実	2. 取りまとめ担当課	学校教育課	
--------	---------------------------	-------------	-------	--

3. 目標 家庭、地域社会、学校・行政の協働によるトライアングル子育て運動を基本理念に、「確かな学力」を備え、心身共に健康で、「生きる力」を身につけた児童生徒の育成を図り、家庭や地域から信頼される魅力ある学校づくりをめざします。

	指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2実績値	R3実績値	R 4実績値	目標値	グラフ
4. 施策目標の実現に 関する指標	学校評価満足度	小学校: 86.4% 中学校: 81.3% (平成29年 度)	小学校: 84.2% 中学校: 83.3%	小学校 86.8% 中学校 87.4%			小学校:90% 中学校:90%	100.0 95.0 90.0 96.4 85.3 84.2 90 90.0 86.4 85.3 84.2 90 90.0 80.0 81.3 82.8 83.3 90.0 90
	学校支援ボランティア登録者数	1,915人 (平成29年 度)	1,915人	1,628人			2,000人	2.500

事業名	R 2 当初予算額(千円)	R 2 最終予算額(千円)	R 2 決算見込額(千円)
学校適応指導相談員報酬	6, 925	7, 325	6,071
外国語指導助手(ALT)報酬	99, 407	105, 383	103, 275
幼児言語指導・発達個別相談員報酬	3, 006	3, 846	3,006
学校適応指導教室事業	464	352	338
教育相談教室事業	1, 180	1, 175	1,170
研修会運営	250	15	13
副読本制作事業	3, 228	3, 228	3, 227
算数・数学検定事業	826	573	479
幼児言語教室運営事業	961	823	775
外国語指導助手(ALT)配置事業	3, 389	1, 729	1,675
まなび支援センター維持補修	20	306	299

7. 施策目標の 達成(進捗) 状況

第2次基本計画(施策)進行管理票

	小学校施設管理	29,668	26, 068	25,852
	小学校維持補修事業	15, 730	15, 730	15,659
	小学校施設改修事業	6, 029	6, 029	6,026
	〇小学校トイレ改修工事(計画事業 P17、進捗状況 A)	38, 500	0	0
	〇金田小学校校舎増築事業(計画事業 P20、進捗状況〇)	286, 160	261, 975	261, 768
	〇金田小学校屋内運動場非構造部材対策工事(計画事業 P21、進捗状況〇)	20, 427	20, 427	18, 293
	〇金田小学校給食室改修工事(計画事業 P 22、進捗状況〇)	5,000	5, 000	3, 025
5. 施策達成のために 要した事業費	〇木更津市立小学校GIGAスクール校内通信ネットワーク整備事業 (計画事業P24、進捗状況〇)	387, 484	387, 484	256, 300
	中学校施設管理費	19, 704	17, 491	17, 276
	中学校維持補修事業	12,900	12, 900	12,874
	中学校施設改修事業	4, 400	4, 400	4, 394
	○中学校トイレ改修工事(計画事業 P18、進捗状況△)	40,500	0	0
	〇太田中学校校舎増築事業(計画事業 P19、進捗状況〇)	252, 643	230, 464	230, 464
	〇木更津第二中学校駐輪場設置工事(計画事業 P23、進捗状況×)	5,030	0	0
	○木更津市立中学校GIGAスクール校内通信ネットワーク整備事業 (計画事業P25、進捗状況○)	236, 656	236, 656	165, 440
	心の教室相談員報酬	7, 255	7, 405	7, 288
	スクール・サポート・ティーチャー報酬	45, 423	45, 822	42, 993
	特別支援教育体制整備推進事業	285	285	150
	心の教育推進協議会事業	269	194	139
	学校支援ボランティア活動推進事業	843	598	576
	学校評価のガイドラインに基づく評価実践研究事業	150	150	149
	特別支援学級設置事業(小学校)	320	320	319
	環境教育等推進事業	596	0	0
	実用英語検定補助金	2, 235	1, 665	1, 649
	特別支援学級設置事業(中学校)	160	160	160
	○オーガニック米普及推進事業(学校給食を活用した有機米供給促進事業) (計画事業 P 26、進捗状況○)	3, 078	2, 011	2,010
	計	1,541,101	1, 407, 989	1, 193, 132

	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	628, 517	1, 407, 989			2, 036, 506
	決算見込額(千円)	377, 175	1, 193, 132			1, 570, 307

	3. 主な取組名称①	教育内容の充実	12. 取組(進捗)状況	В
•	9. 主な成果	〇ALTを23名雇用し、小中学校へ配置しました。小学校外国語活動の授業に100%の平均配置率を確保し、ALTとのテ図りました。また、中学校においても、ALTの活用を積極的に進め、コミュニケーション能力の育成に力を発揮しました。子どもたちの確かな学力育成取得に向けて、英語検定受験料の補助や、算数・数学検定の実施、就業密着体験学習など「〇エコクッキングは新型コロナウィルス感染症の影響で中止となりましたが、生活習慣病の予防やがん教育に関する授業、育・安全指導の充実を図りました。 〇新学習指導要領に準拠させるために、小学校社会科副読本「わたしたちの木更津」の全面改訂を行い、令和3年度の小学	き。 こよるキャリア教育推進に 保健体育の授業などの工	努めました。
1	0. 主な課題	○中学校においては、令和3年度から新学習指導要領の全面実施となったため、さらなるALTの適正配置と活用の促進I ○エコクッキングにおいては、新型コロナウィルス感染症対策を徹底し、動画等を活用しながら事業を進めていきます。 ○新学習指導要領に基づき、主体的で深い学びが得られるよう、全面改訂した副読本の活用や教育内容・教育環境の見直!		0
1		○ALTを現状数確保するとともに、適正配置に努めます。また、中学校も含め、ALTの活用をさらに進めます。 ○確かな学力を育てるために、学習習慣の形成や国際理解教育、情報教育を推進します。		

8. 主な取組名称②	教育環境の整備	12. 取組(進捗)状況	В			
9. 主な成果	○日常的に発生する学校教育施設の不具合を適時補修するため、小学校は150件の修繕及び16件の工事、中学校は146件の修繕及び15件の工事を行ったことにより、安全で快適な学習環境の維持管理を図りました。 ○金田小学校及び太田中学校の児童生徒数増加に伴う、校舎増築事業及び備品等の購入を行いました。 ○その他の学校については、机椅子整備計画に基づき整備を行うとともに、学校からの要望等に応じ整備を進めました。 ○新しい学習指導要領による「高速大容量の通信ネットワーク」及び「1人1台端末」に対応するため、小中学校GIGAスクール校内通信ネットワーク整備事業を行い、小学校17校と中学校12校の学習環境の向上を図りました。 ○学校給食に提供した千葉県産食材の使用に努め、農薬化学肥料を使用していない米を全小中学校に16日間提供し,地産地消による学校給食の提供を推進しました。					
10. 主な課題	○施設等の不具合が発生し多数の施設管理者から修繕、工事等の実施依頼が集中した際には、速やかに改修工事等を行えずび小・中学校トイレ改修工事については、コロナの影響によりに工事着手できない事業も見受けられました。 ○近年では大規模な自然災害が多く発生していることから、災害時における対応方法などについて、施設管理者と事前共れ ○教室数の不足などにより今後の整備が必要となる学校を明確にし、計画的な整備を行っていくための個別施設計画を策災 ○地元産食材の拡大については、関係者と食材や時期を協議し、給食用の食材生産者が必要であると認識しました。	有を図る必要があるものと	考えます。			
踏まえた今後の取組 の方向性	○修繕、工事等の実施依頼が集中した際には、被害状況を的確に把握し、軽微な被害のものについては応急的な修理において事の実施に努めます。 ○木更津第二中学校駐輪場設置工事及び小・中学校トイレ改修工事については、令和3年度に工事完了に向け努めていき。 ○自然災害の発生が予想される場合には、被害発生前に施設管理者及び業者側と密に連絡を取り、被害時に迅速な対応を行る関係各課等で適宜調整を図りながら計画的な学校整備を進めるための個別施設計画を策定していきます。 ○備品の老朽化、児童生徒数の変動に伴い学校の要望を踏まえ引き続き備品等の整備を行います。 ○地元産食材の使用に向け、納入可能品目が拡大できるよう、協力業者の調査及び方法等を研究します。	ます。				

8. 主な取組名称③	特別支援教育の推進	12. 取組(進捗)状況	В
9. 主な成果	〇市内の幼稚園、保育園、認定こども園等にて1,086名の年長児の言語検査を実施し、273名の保護者へ検査結果を通知し 〇主に年長児を中心とした在籍者128名に対し1,267回の言語指導を行い、来所相談及び電話相談を545回実施し、保護者の 〇保護者の承諾を得て通所児72名について、ことばの練習の進度やお子さんの様子など入学予定校への引継ぎを行い、ス 〇市内小学校の通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒に対し、スクール・サポート・ティーチャーを1名:)不安解消に努めました。 ムーズにスタートできるよ	う努めました。
10. 主な課題	○新型コロナウイルス感染症の影響により、言語検査の開始時期が遅かったため、例年に比べ指導回数が減ってしまいま ○発音練習よりも発音以外の課題や集団生活での心配面があるケース、他機関との併用を望むケースが増え、また、保護 むことがありました。特に、特別支援を勧める必要のあるケースについては、保護者の気持ちに寄り添いながら慎重に取 ○希望する学校すべてに、スクール・サポート・ティーチャーの配置をできるよう取り組みます。	者対応に時間を要するケー	スが増えており、対応に悩
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	〇初診については、より早く通所する必要のあるお子さんが確実に通所できるように、保護者への働きかけを各園へお願す。また、緊急を要しない年中児以下の相談の場合はネウボラの子育て相談を紹介していきます。 〇様々な課題を持つお子さんや保護者に対応するため、定期的に事例研修を行いながら専門知識を高めていきます。またようにし、必要に応じて複数の職員で対応していきます。		
8. 主な取組名称④	生徒指導等の充実	12. 取組(進捗)状況	В
9. 主な成果	〇さまざまな問題を抱えた児童生徒と保護者・学校関係者を対象に、教育相談教室を56回開催し、101件のケースに対し近して、解決のための方向性をアドバイスいただきました。 〇学校適応指導教室あさひ学級では27名の児童生徒に対し、学校復帰に向けた適応指導を進めました。 〇道徳の学習や、生徒指導・教育相談、スクールカウンセラー・心の教室相談員の効果的な活用をし、心の教育の推進と		
10. 主な課題	○教育相談教室では、時期によっては希望者が多く、適切な時期にご案内できないことがありました。 ○あさひ学級では、集団への抵抗が強いことから、通級日数が伸び悩むケースが多くありました。		
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	〇教育相談教室に関しては、計画的な時期設定に努めるとともに、相談内容によって適切な相談者をお勧めできるよう、 〇あさひ学級においては、個の特性や家庭環境に配慮しながら、スモールステップで適応指導を進めていきます。 〇いじめの根絶や不登校の解消を図るため、心の教育や生徒指導等を充実していきます。	よりよいマネージメントに	努めます。
8. 主な取組名称⑤	開かれた学校づくりの推進	12. 取組(進捗)状況	С
9. 主な成果	〇新型コロナウィルス感染症の影響により、学校支援ボランティア研修会及び推進委員会、学校支援ボランティア交流集た。	会を開催することができず	、登録人数が減少しまし
10. 主な課題	○「新しい生様式」を踏まえ、オンライン開催等で効果的な研修方法や内容を検討します。		
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○学校・家庭・地域の連携し、情報交換を密にしながら、「新しい生活習慣」に基づいた活動を検討します。		

(様式1)

第2次基本計画(施策)進行管理票

1. 施策名	基本方向02 基本政策03 施策13 青少年の健全育成	2. 取りまとめ担当課	生涯学習課	

3. 目標 |青少年の健やかな成長を社会全体で支える仕組みを整備し、ひとりの人間として自立した、こころ豊かな人間性と主体的な判断力をもつ青少年を育みます。 現状値 (目標設定時) 指標名 R1実績値 R2実績値 R3実績値 R4実績値 目標値 グラフ 3, 000 2,500 — 2,149 — 2,200 — 2,250 — 2,300 — 2,350 — 2,400 B---B---B---B----227人 2,149人 1,589人 2,400人 1,500 (平成29年 (令和2年 (令和2年 キャンプ場利用者数 (令和元年 1,000 度) 度) 度) 度) 実績値 500 --- 目標値 4. 施策目標の実現に H30 R1 R3 R4 関する指標 6教室 6教室 6教室 (平成30年 (令和2年 放課後子ども教室の開設数 (令和元年 8教室 度) 度) 度) ━━━ 実績値 ━ ■ ■ 目標値 0

	事業名	R 2 当初予算額(千円)	R 2最終予算額(千円)	R 2決算見込額(千円)
5. 施策達成のために 要した事業費	青少年問題協議会委員報酬	128	56	56
	青少年事業費	320	270	137
	生き生き子ども地域活動促進事業	900	900	412
	放課後子供教室推進事業	2, 381	1, 253	263
	成人式事業	629	629	26
	各種団体運営補助金	2, 794	2, 699	2,030
	キャンプ場指定管理料	5, 089	5, 089	4, 395
	青少年指導関係運営協議会委員報酬	96	92	88
	青少年指導関係費	1, 175	1,067	1,047
	社会教育指導員報酬	3, 327	3, 311	3, 122
	青少年補導員委嘱事務費	105	105	105
	計	16, 944	15, 471	11, 681

7. 施策目標の 達成(進捗)状況 В

R4

R3

H30

R1

		年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	16, 420	15, 471			31, 891
		決算見込額(千円)	15, 436	11, 681			27, 117

	8. 主な取組名称①	青少年育成推進体制の充実と地域の教育力の向上	12. 取組(進捗)状況	В
	9. 主な成果	○市内6教室ある放課後子ども教室(うち1教室が同じ学校敷地内にある学童クラブと連携している一体型)は、新型コローでない状況となりましたが、唯一、屋外公園で活動している教室のみ活動を実施しました。 ○中学校区を単位とする地区住民会議において、環境整備等のボランティア活動、稲刈り体験教室といった野外体験や地域の市及び県から委嘱され、青少年育成活動に携わる青少年相談員が4市で連携し、君津地区の全公立小学校の児童がコロスする「万羽鶴に願いをのせて」の活動を行いました。	域交流活動を行いました。	
1	0. 主な課題	○青少年の健全育成のため、学校PTAや各地区の公民館、まちづくり協議会、市政協力員、青少年育成団体(青少年相記です。	炎員や子供会等)などの地	域ぐるみの協力連携が必要
•	1. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○子どもたちの居場所づくりや地域の教育力の向上を図るために、担い手となるボランティアの育成に取り組みます。		

8. 主な取組名称②	青少年育成事業の推進	12. 取組(進捗)状況	В		
9. 主な成果	○新型コロナウィルス感染症拡大の影響により、キャンプ場の開設期間が短かったことも要因となり、利用者が減少し、体験学習する機会を促進することが難しかったが、 キャンプ場PR動画を作成し、広くキャンプ場を周知することができました。 ○新成人で構成する実行委員会を組織し、式典の運営や式典後のアトラクションを企画しましたが、新型コロナウィルス感染症拡大の影響により、成人式が中止となりまし た。代替企画として、市長をはじめとするお祝いメッセージ動画の配信、中学校の恩師からのメッセージを掲載したしおりの配布を行いました。				
10. 主な課題	○青少年育成事業を推進するうえで、ボランティアや地域の担い手不足が課題です。 ○開設から30年以上経過したキャンプ場の老朽化した施設の改修やトイレの洋式化などが必要です。				
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性					

8	. 主な取組名称③	青少年を取り巻く環境浄化と非行防止	12. 取組(進捗)状況	А		
9	. 主な成果	○青少年及び保護者等からの電話相談が74件、来所相談が9件、メール相談が26件あり、さまざまな問題に悩む青少年及びその保護者等への支援を行いました。 ○12月には青少年健全育成キャンペーンとして、愛の一声運動を木更津市青少年補導員連絡協議会と合同で木更津駅前で実施し、情報モラルの啓発物を配布しました。 ○青少年指導関係運営協議会を3回実施し、関係機関、団体及び有識者との連携を図りました。 ○令和2年4月に木更津市青少年補導員を77名、令和2年6月に木更津市青少年指導関係運営協議会委員を14名委嘱しました。				
10	・主な課題	○さまざまな問題に悩む青少年やその保護者の支援を行い、青少年の非行防止と健全育成を図るため、関係機関、団体及び有識者との連携のもと実施します。				
11	T 0.33/1 DNGC	○関係諸機関等と連携して青少年やその保護者の支援及び青少年の非行防止活動を継続します。 ○ICTを安全に活用するための啓発活動及び注意喚起を行うことでネットリテラシーの向上に努め、インターネット上の	D諸問題を未然に防ぐ取組	を進めます。		

1. 施策名	基本方向03 基本政策01	施策14 社会	教育の充実	2. 取	りまとめ担当課	<u> </u>	上涯学習課	
3. 目標	市民一人ひとりが生涯にわたり自	ら学び、健康で	生きがいのあるst	生活を送ることだ	ができるよう生涯	学習社会の実現	見をめざします。	
	指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2実績値	R3実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ
	出前講座の実施回数	未実施 (平成30年度)	7回	6回			100回	120 100 80 80 40 7 50 7 8 0 H30 R1 R2 R3 R4
4. 施策目標の実現に 関する指標	図書館入館者数	120,666人	109, 444人	62, 233人			130,000人	140,000 120,666 117,304 109,444 100,000 125,000 130,000 80,000 62,233 60,000 40,000 20,000 125,000 130,000 13
								500 431 436

82回

事業名	R 2 当初予算額(千円)	R 2最終予算額(千円)	R 2決算見込額(千円)
きさらづ出前講座事業	40	40	40
図書館維持管理	12, 178	3, 298	3, 296
図書購入	12,000	18, 200	18, 199
図書館電算システム関係	8, 923	8, 923	8, 922
各種行事	420	166	33

363回

431回 (平成30年 度)

家庭教育支援事業の実施回数

7. 施策目標の 達成(進捗) 状況 **B**

実績値

- - - 目標値

450 回

100

	各種教室等開催	3, 426	2, 049	1, 488
5. 施策達成のために 要した事業費	サタデースクール事業	950	471	411
	高齢者教室開催費	504	13	13
	公民館各種設備整備	5,400	5, 400	5, 338
	公民館管理運営	12, 340	12, 340	12, 162
	公民館維持補修	9,030	9,030	8, 995
	図書館維持管理	1, 281	1, 246	1, 245
	図書館施設維持補修事業	200	200	200
	計	66, 692	61, 376	60, 342

		年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
	6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	29,073	61, 376			90, 449
		決算見込額(千円)	28, 642	60, 342			88, 984

8.	主な取組名称①	生涯学習・社会教育推進体制の充実	12. 取組(進捗)状況	А	
9.	主な成果	○社会教育委員会議を定例会4回(うち1回は書面会議、1回はZoom+会議方式)を開催し、社会教育機関の運営などを協議しました。 ○生涯学習推進協議会を2回、書面にて会議を開催し、生涯学習関係事業等について協議しました。			
10.	主な課題	○市民の学習活動を支援するため、さらなる職員の専門性向上に取り組むことが必要です。○今後の社会教育施設のあり方について検討することが必要です。			
j	主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○広く市民の声を踏まえ、関係部署と協議しながら、将来的な生涯学習・社会教育推進体制の方向性や、公民館等社会教育	育施設のあり方を検討しま	す。	

8	3. 主な取組名称②	生涯学習・社会教育活動の充実	12. 取組(進捗)状況	В		
Ģ	9. 主な成果	○生涯学習フェスティバルの代替として、オンライン(Zoom)を活用した事業を実施し、コロナ禍における新たなツールとしてのオンラインの可能性・有効性を確認する ことができました。 ○出前講座については、感染症の影響で利用する団体に限りがありましたが、利用団体には大変好評であり、市政について理解を深めてもらうことができました。				
1	0. 主な課題	○家庭教育支援の拡充を図るために開催している家庭教育推進協議会や、市民の多様な学習要求に応える目的で開催している市民公開講座については、感染症の影響で実施することができませんでした。開催方法を見直すことが必要です。 ○出前講座については、市民の認知度を高めるための広報活動の強化が更なる課題です。				
1	1. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○社会の変化に対応した効果的・効率的な事業が展開できる体制づくりに取り組みます。				

8	3. 主な取組名称③	図書館サービスの充実	12. 取組(進捗)状況	В			
Ğ). 主な成果	○資料の収集は、木更津市立図書館資料収集要綱の規定に基づき実施し、年度当初に具体的な購入の割合を定め、12,091冊の資料を収集、整備、提供しました。 ○各種データベースについては、館内の4台の閲覧用パソコンを活用し、ヨミダス、D1-Law、官報、国立国会図書館デジタルコレクションなどの情報提供を行うとともに、県内外の公共図書館や大学図書館の情報資産を活用した司書による専門的なレファレンスサービス(調査・研究)の充実に努めました。 ○点字図書については、きさらづ点訳の会との協働により、新たに23タイトルの追加を行いました。 ○録音図書については、サピエ図書館よりダウンロードし、39タイトルの追加を行いました。 ○大活字本については、97冊の追加を行いました。 ○マルチメディアデイジー図書については、伊藤忠記念財団より無償で提供される「わいわい文庫」から72タイトルの追加を行いました。 ○マルチメディアデイジー図書については、伊藤忠記念財団より無償で提供される「わいわい文庫」から72タイトルの追加を行いました。 ○小中学校の図書主任担当者会議等へ出席し、図書館の利用案内を説明するとともに、読書相談、調べもの学習や授業の補助となる本を一定期間まとめて貸し出す「特別貸出」(調べ学習支援2,423冊)を実施し、教職員や読書相談員との連携を進めました。 ○電子図書サービスについては、令和3年1月13日からサービスを開始し、同年3月末日現在の登録者数は411名で、貸出冊数は924タイトルとなっています。 ○公民館図書室に配本サービスを実施し、地域の読書環境の充実とサービスの向上が図られました。					
1	J. 土な詸選	○読書相談員や担当教員による読書活動への取組みについては、その姿勢に温度差が感じられる状況にあるため、読書プラス取組みが必要です。 ○調べ学習において、各学校で単元が重なり、同時に同様の図書が必要となることから、学校間の調整が必要です。また、の活用など、学校、学校教育課と連携し、検討することが必要です。 ○電子図書サービスについては、年代により登録者数が非常に少ない世代に向けた魅力あるコンテンツを充実させていく過 ○コロナ禍に対応しつつ地域のニーズに即した資料の提供や計画的な配本サービスが求められます。	貸出方法や返却方法につ				
1	1. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○資料の収集は、引き続き同要綱の規定に基づき実施し、年度当初に具体的な購入の割合を定め、年間1万冊程度の資料で 資料については、購入するほか、相互貸借により対応を図っていきます。 また、引き続き司書による専門的なレファレン ○引き続き点字図書、録音図書、大活字本、マルチメディアデイジー図書等を計画的に収集し、読書にハンディキャップです。 ○引き続き小中学校に対し特別貸出を実施するとともに、小中学校の図書主任担当者会議等へ出席し、教職員や読書相談員 ○公民館においては、家庭教育学級をはじめ公民館事業と連携した取組を通して読書推進、利用者の拡大を図ります。	スサービス(調査・研究) Dある利用者に対するサー	を実施していきます。 ビスの充実を進めていきま			

8.	主な取組名称④	公民館活動の充実	12. 取組(進捗)状況	С
9.	主な成果	○子育て、家庭教育支援については、関係機関等と連携しながら各成長段階に応じた家庭教育学級を全公民館で地域の実代の未就学児を対象とした支援事業については、コロナ禍により対面方式での実施を見送りましたが、デジタル技術を活用 u t u b e チャンネル上にて『スクスク動画』に取組へと繋げました。○生活課題や地域課題の解決に向けた学習機会を全公民館で提供し、学習成果を地域づくりに活かすことの出来る事業を入○地域自治の推進をはかるため、区長会や地域の関係機関・団体等と連携・協力してまちづくり協議会の設立や既存地区(○コロナ禍により多くの対面式事業の実施に制限が生じましたが、その解決のためにICTを活用した事業に試験的に取術導入の足掛かりを得ることができました。	し、新しい生活様式に対応 展開することができました D活動に対する支援を行い	。 ました。
10.	主な課題	○地域活動を主体的に担える人材を育成し、学習成果を確実に地域づくりに繋げていくために、生活課題や地域の課題に ○まちづくり協議会の事務局として運営や活動を支援するとともに、未設置地区の早期設立に向けて、市民活動支援課と ○コロナ禍により対面式事業が制限されている中で公民館活動を推進するために、また、ポストコロナのデジタル社会を ル技術を積極的に活用した事業に取り組んでいく必要があります。	連携を密に図りながら取り	組む必要があります。
11.	主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○あらゆる年齢層に多様な学習機会を提供していくために、デジタル技術の更なる活用と地域への浸透を図りながら、生態がでいく中で、持続可能な地域を創出する機運を高めていきます。	きがいづくりや地域のつな	がりづくり、人づくりを進
8.	主な取組名称⑤	生涯学習・社会教育施設の整備	12. 取組(進捗)状況	А
9.	主な成果	○安全で快適な学習環境を提供するため、75件の修繕及び12件の工事を行い、公民館や図書館の適正な維持管理に努めるの計画的な更新を行ったことにより、出前講座を開催するために必要となる開催場所の確保や図書館のさらなる利用促進 遅滞なく、かつ迅速に行うことにより、学習環境の充実が図られ、安全かつ快適な『学習機会の場』を多くの方々へ提供	を図ることができました。	事を行い、老朽化した備品 また、本取組に係る整備を
10.	主な課題	○施設等の不具合が発生し、多数の施設管理者から修繕、工事等の実施依頼が集中した際には、請負会社の人手が足りず、ました。また、近年では大規模な自然災害が多く発生していることから、災害時における対応方法などについて、施設管 ○引き続き、老朽化した備品の管理・更新に取り組む必要があります。 ○コロナ禍への対応として、施設の感染症対策のための整備を継続していく必要があります。	速やかに改修工事等を行 理者と事前共有を図る必要	えないケースも見受けられ があるものと考えます。
11.	主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○修繕、工事等の実施依頼が集中した際には、被害状況を的確に把握し、軽微な被害のものについては応急的な修理にお 工事の実施に努めていきます。また、日頃より、気候に係る情報の収集に努め、悪天候により自然災害の発生が予想され に連絡を取り、被害時に迅速な対応を行えるよう調整を図っていきます。		

第 2 次其未計画 (施策) 進行管理要

(182(1)			第2次	基本計画	(施策)	進行管理票						
1. 施策名	基本方向03 基本政策02 施策15 スポーツ・レクリエーションの振興 2.取りまとめ担当課						スカ	パーツ振り	興課			
3. 目標	市民が日常的にスポーツに親しみ、スポーツ活動に参画できる環境づくりを推進し、ライフステージに応じた元気でいきいきと暮らすことだ します。								らすことができる	活力ある	るまちの実現をめざ	
	指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2 ៛		R3実績値	R4実績値	目標	標値		グラフ	7
4. 施策目標の実現に 関する指標	市民(20歳以上)の週1回以上の スポーツ実施率	45% (平成29年度)	45% (令和元年度)	45 (令和 2	5% 2年度)			65 (令和 <i>4</i>		70 60 45 45 45 40 20 10 10 H29 H30	45 ±	45 65 45 - 東橋値 - 4 - 日稲値 R2 R3 R4
	市営スポーツ・レクリエーショ ン施設の利用者数	225,047人 (平成29年度)	210,298人 (令和元年度)	103.2 (令和2	228人 2年度)			275,((令和 <i>4</i>		300,000 250,000 250,000 150,000 100,000 0 H29 H30	1 210, 298 R1	275,000 275,000 103,228 - 李結俊 - 個 目標値 R2 R3 R4
					R 2 当初		R 2最終予算額	(千円)	R 2決算	草見込額(千円)		7. 施策目標の
	○ちばアクアラインマラソン事業	(計画事業 P 27	、進捗状況×)			17,000		0		0		7. 施策目標の 達成(進捗) 状況
	○江川総合運動場拡張整備事業(計画事業P28、	進捗状況()			52, 494		40, 431		40, 334		В
5. 施策達成のために 要した事業費	スポーツによる地域活性化推進事	業				4, 207		304		303		В
	全国大会等出場奨励金事業					2,000		250		230		
	体育施設耐震対策事業費					36, 364	;	36, 364		4, 210		

4, 210	
45,077	
285, 778	

	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	208, 429	77, 349			285,778
	決算見込額(千円)	414, 919	45, 077			459, 996

計

112,065

77, 349

8. 主な取組名称①	スポーツ・レクリエーション活動の推進	12. 取組(進捗)状況	В
9. 主な成果	○成人のスポーツ実施率の向上に向け、「子育て世代」を対象に運動してもらうきっかけを作る動画を製作し、SNS等 ○競技力向上を図るため、選手強化の支援に努め、全国大会出場者に全国大会等出場奨励金を交付しました。 ○「ちばアクアラインマラソン2020」は新型コロナウイルスの影響により中止となりましたが、千葉県が製作したアクア 図りました。		
10. 主な課題	 ○参加者のアンケートを検証し、より充実した内容で親子運動あそび教室を開催します。 ○市民スポーツ交流大会に関しては、種目を「ボッチャ」に変更したことで、指導者や審判の育成が課題となっています	o	
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○親子運動あそび教室開催時だけではなく、継続して運動に取り組むよう、市民に働きかけていきます。 ○より多くの市民に参加してもらえるよう、体験機会の提供やより一層の情報発信を行います。また、指導者の育成にも	取り組んでいきます。	
8. 主な取組名称②	スポーツ・レクリエーション施設の整備	12. 取組(進捗)状況	А
9. 主な成果	○江川総合運動場拡張整備に係る野球場及びサッカー場の実施設計業務委託につきましては、令和3年3月に完了してお○市営野球場一塁側防球ネット改修工事の完了また市営野球場耐震補強等工事に着手しました。 ○小中学校の施設開放事業につきましては、コロナ禍での対応となったため、新型コロナウイルス感染症予防のための施ことができました。		とし、安全な施設利用を図る
10. 主な課題	○江川総合運動場拡張整備に係る整備の設計がまとまりましたので工事着手に向け事業を進めてまいります。 ○市営体育施設について、老朽化が進んでおり、計画的に修繕及び改修を行ってまいります。 ○小中学校の施設開放事業につきましては、引き続きコロナ禍での利用となっており、施設利用ガイドラインの徹底に努	めてまいります。	
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○令和3年度より江川総合運動場拡張整備に係る野球場及び共用施設、令和4年度よりサッカー場の整備に着手し、令和 ○市営野球場耐震補強等工事について、関係機関と密に連携を取り、早期完了に努めてまいります。 ○小中学校の施設開放事業の利用団体にコロナ禍での、適正な利用の徹底を促します。	5年度の供用開始をめざし	ます。
8. 主な取組名称③	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした地域づくりの推進	12. 取組(進捗)状況	В
9. 主な成果	○ナイジェリアホストタウンのPR展示等を通じ、ナイジェリア文化を広く市民に周知し、国際文化の理解に繋がりまし○オーガニックシティフェスティバルやオリパラ推進校でのスポーツ体験や教室等を実施し、市民、児童等が新しいスポ繋がりました。	た。 ーツに触れる機会を創出し	 ,、スポーツへの関心向上に -
10. 主な課題	○事前キャンプにおける新型コロナウイルス感染症の対策と受入体制の構築が課題となっています。 ○コロナ禍における選手等と市民との交流が課題となっています。		
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○ナイジェリア選手団が安心して事前キャンプを行うことができるよう、また、市民が安心して選手団を迎えることがで 機運醸成と、今後のまちづくり・人づくりに寄与するレガシーを創出していきます。	きるよう万全の対策を講じ	るとともに、大会に向けた

1. 施策名	基本方向03 基本政策03 施策16 市民文化の充実	2. 取りまとめ担当課	文化課
•		•	<u> </u>

9,024人 (平成30年度)

	歴史・文化・芸術にふれあう機会 継ぐことをめざします。	・文化・芸術にふれあう機会を市民に提供し、市民が芸術文化活動を行う環境を整備することで、ふるさと意識や愛着を育み、地域の文化遺産や伝統芸能を次世代に引き でことをめざします。									
	指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2 実績値	R3実績値	R4実績値	目標値	グラフ			
	芸術文化に親しむまちづくり振 興事業コンサート・アートイベ ント実施数・入場者数	3回・900人 (平成30年度)	3回・895人	4日間・59人			4回·1,200人	1,400 1,200 1,000 900 800 900 900 1000 1100 実績値			

4. 施策目標の実現に 関する指標

郷土博物館金のすず 入館者数

								2,000.0 —	H29	H30
	事業名		R 2 当社	切予算額(千円)	R 2最終予算額	(千円)	R 2決算	章見込額	(千円)
○博物館空調設備改修事業(計画	事業P29、進捗状	況()		147, 560	14	10,658		-	139, 78	0

0人

7. 施策目標の 達成(進捗) 状況
В

--- 目標値

12000

実績値

- ■ 目標値 R3 R4

14, 000. 0 12, 000. 0

10,000.0

8,000.0

6, 000. 0

4, 000. 0

12,000人

5. 施策達成のためI 要した事業費	=
-----------------------	---

〇博物館空調設備改修事業(計画事業 P 29、進捗状況〇)	147, 560	140,658	139,780
〇上総金鈴塚古墳出土品再整理報告書等刊行事業(計画事業 P30、進捗状況〇)	1, 943	579	576
上総金鈴塚古墳出土品国宝化推進事業	481	427	425
木更津市史編さん事業	24, 934	20, 917	20,076
芸術文化に親しむまちづくり振興事業	1, 833	413	406
計	176, 751	162,994	161, 263

	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	137, 215	162, 994			300, 209
	決算見込額(千円)	69, 901	161, 263			231, 164

0人

	8. 主な取組名称①	芸術文化活動の推進 12. 取組(進捗)状況 B						
,	9. 主な成果	○中規模ホールの整備については、平成30年度に策定した基本構想及び令和元年度に策定した基本計画に基づき、他の公共施設との複合化について検討を行いました。						
1	0. 主な課題	〇市民会館中ホールは音響反射板や照明(スポットライト)器具がなく、音楽コンサートや演劇等のイベントには適していません。また、舞台、出演者控室、ロビーが狭小で あり、出演者数及び入場者数に限りがあります。 〇中規模ホールの整備については、管理運営計画の策定、国庫補助事業等の特定財源の確保や、他の施設との連携等が課題です。						
1	1. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	〇イベントごとに音響反射板・照明器具のレンタルあるいはアカデミアホールの活用を考えます。 〇中規模ホールの整備については、基本構想及び基本計画を踏まえ、引き続き他の公共施設等との複合化、財源等についての検討、調整を行います。						
	8. 主な取組名称②	ふるさと文化の継承	12. 取組(進捗)状況	В				
	9. 主な成果	○金鈴塚古墳出土品再整理報告書の普及版の原稿執筆を実施しました。 ○郷土博物館金のすずの空調工事については、令和2年12月に竣工しました。 ○令和元年度に実施した公開シンポジウム記録集を刊行、頒布しました。						
1	0. 主な課題	○郷土博物館金のすずの空調施設については、安定かつ適切な温湿度管理を引続き保てるよう、機器の運用方法を習熟することが課題です。						
1	1. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○再整理報告書普及版の刊行、博物館における展示および教育普及事業等を通して、郷土の至宝の周知に努めます。○恒温恒湿型の空調機器を導入したことにより、文化財の保存状況の向上が期待できます。○市民にとって金鈴塚古墳の出土品が「市の宝」であるという意識の向上を目指します。						

1. 施领	策名	基本方向03 基本政	策04 施策17 人 ²				リまとめ担当課	市团	尼活動支	援課			
3. 目标	標	人権尊重への理解を深め、人権	問題に対する正し	い知識を広める。	ことにより	J、一 <i>J</i>	くひとりの多様性	を認め合い、と	もに支え	え合う社会をは	かざします。		
		指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2実	績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目村	票値		グラフ	7
4. 施领	策目標の実現に する指標	小中学校での人権教室等の実施 校数	5 校 (平成29年 度)	6校	24	交			6校 ⁸ 7 6 5 4 3 2 1 0		8 7 6 6 6 6 6 6 6 6 6 4 5 2 2 2 1		
		人権教育研修会の参加者数	19名 (平成29年 度)	0名	214	名		50名 50 40 50 30 19 20 10 0 H29		34	50 0 R1	- 日本 - 実統値 - 日本値 R2 R3 R4	
			事業名			R 2当初	切予算額(千円)	R 2最終予算額	(千円)	R 2決算見辺	額(千円)		7. 施策目標の
		法律相談業務委託費					1, 276		1,276		1,276		達成(進捗) 状況
		公聴相談諸経費					1, 266		1,209		1,209		В
5.施第 要l	策達成のために した事業費	社会教育振興事業					30		30		30		В
												1	
			計 ————————————————————————————————————				2, 572		2,515		2, 515]	
		年度	R 1	R2			R 3	R 4		合計]	
6. 毎年 決算	年度の予算額及び 算見込額の推移	最終予算額(千円)	2, 532		2,515						5,047		
		決算見込額(千円)	2, 489		2, 515						5,004		

8. 主な取組名称①	人権意識の高揚	12. 取組(進捗)状況	В
9. 主な成果	○市民の暮らしの中で起こる、離婚・相続等の家庭内の問題や、地域での近隣間の揉め事などに対し、人権・行政合同相談○人権擁護委員が小中学校6校で人権紙芝居、人権教室、人権講話等を実施し、児童・生徒835名の参加がありました。	淡75件及び法律相談222件を	を実施しました。
10. 主な課題	○インターネット上での人権侵害やいじめ、虐待等の様々な人権問題・差別意識を解消するため、人権に対する正しい知 ○性的指向及び性自認を理由とした偏見や差別等の解消に向け、啓発活動を行い理解促進を図る必要があります。	識を広める必要があります	0
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○学校、地域、家庭、職場など、市民の暮らしの中で起こる人権問題等に対処するため、引き続き各種相談支援を行いま○女性、子ども、高齢者、障がい者、同和問題、外国人などの様々な人権問題について、正しい知識と理解促進に向けたる		す。

(様式1)			第2次基	本計画(施策)進行管理票						
1. 施策名	基本方向03 基本	政策04 施策18 男女	共同参画の推進	2.	取りまとめ担当課	地力	5創生推進	課			
3. 目標	男女が互いに認め合い、共	に活躍できる豊かで活	力のある社会の	実現							
	指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2実績値	直 R3実績値	R4実績値	目標(直		グラフ	1
4. 施策目標の実現に 関する指標	男女共同参画フォーラムの 者数	参加 189人 (平成29年 度)	82人	924人 (オンライ: 動画 視聴人数を む)			210)	1.000 — 800 — 600 — 400 — 200 —	実績値 ■ 目標値 189 82 H30 R1	924 R2	210 R3 R4
	市が設置する審議会等の女員の割合	性委 28.2% (平成29年 度)	27.5% (令和元年 度)	28.0% (令和2年度	(1)		40%	30.0	2 27. 7 29 H30		28 40 ***********************************
		事業名		R 2	当初予算額(千円)	R 2最終予算額	(千円) F	R 2決算見込額	(千円)		7. 施策目標の
	男女共同参画推進事業				217		217		60		達成(進捗) 状況
	男女共同参画推進委員会委	員報酬			120		52		0		В
5. 施策達成のために 要した事業費											Ь
		計			337		269		60		
	年度	R 1	R2		R 3	R4		合計			
6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	317	- NZ	269	11.3	11.4		HDI	586		
	決算見込額(千円)	199		60					259		
						1					

8. 主な取組名称①	男女共同参画の意識づくり・条件づくり	12. 取組(進捗)状況	В
9. 主な成果	○固定的な男女の役割分担意識の解消に向けて、継続的な広報・啓発活動に努め、令和2年12月と令和3年3月に男女共「	- 司参画フォーラムを実施し	ました。
10. 主な課題	○第4次男女共同参画計画における将来像「男女が互いに認め合い、共に活躍できる豊かで活力のある社会」に向け様々がは固定的な男女の役割分担意識の是正と慣行の見直しを図っています。 ○フォーラムの開催にあたっては、意識の改革と制度・観光の見直しに向けたメニューを選定し、様々な媒体による周知が参加しやすいメニューの選定と周知方法の検討を進める必要があります。		
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○男女共同参画をより一層推進するため、フォーラムの開催にあたり様々な角度からのアプロ―チにより、参加しやすい。 ○市職員の男女共同参画施策に関する意識高揚を図る働きかけとして職員向けのセミナーを行い、市が設置する審議会や	メニューの選定を行います と職等における女性割合の	。 増加を推進します。

1. 施策名	基本方向04 基	本政策01 施策19 企	業誘致の推進	2. I	取りまとめ担当課	ē	全業振興 語	果			
3. 目標	産業集積拠点である「かず 性化をめざします。	· `さアカデミアパーク」、	、「かずさアクラ	アシティ」(st	金田地区)及び「~	インターチェンシ	ブ周辺地区	(人の効果的な企	≧業誘致に取り約	目み、地域経済の活	
	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2実績値	R3実績値	R4実績値	目標	[値	グラフ		
4. 施策目標の実現に 関する指標	産業立地促進条例に基づく 奨励金の新規交付件数 (増設を含む)	立地 1件 (平成29年 度)	1件	0件			11	2 ————————————————————————————————————	2 実績値 ■ 目標値 2 1 1 1 1 0 1 1 1 0 H29 H30 R1 R2 R3 R4		
	かずさインキュベーション ター及び民間主導の研究開 設への開業件数	/セン 1件]発施 (平成29年 度)	1件	0件			11	2	1 1 H30 R1	字積值 — 目標值 1 1 1 1 22 R3 R4	
		事業名		R 2	2予算額(千円)	R 2予算額(千円)	R 2決算見込額(千円)	7. 施策目標の	
	〇企業誘致奨励金(計画事	業P31、進捗状況O)			62, 238		62, 238	60	0, 875	7. 施策目標の 達成(進捗) 状況	
5. 施策達成のために 要した事業費										Α	
		計			62, 238		62, 238	60	0, 875		
	年度	R 1	R 2		R 3	R4		合計			
6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	82,488		62, 238				144	4, 726		
· ·	決算見込額(千円)	80, 799		60, 875				14	1, 674		

8. 主な取組名称①	企業誘致の推進	12. 取組(進捗)状況	А			
9. 主な成果	○木更津市産業立地促進条例に基づき、立地奨励金を3社(継続交付企業3社)に交付するとともに、新規交付企業を2:○令和2年3月に改正した木更津市企業誘致方針及び令和2年4月に改正した木更津市産業立地促進条例に基づき、企業○コストコホールセールジャパン株式会社が金田西地区の同社木更津倉庫店隣接地を千葉県から落札し、本社移転を発表	誘致を進めました。				
10. 主な課題	○「かずさアカデミアパーク」及び「金田地区」においては、未分譲用地の早期立地と未操業用地の早期利活用が求めら ○「インターチェンジ周辺地区」においては、引き続き都市計画に基づく適切な誘導を行うとともに、地権者の合意形成 が求められています。 ○産業用地が不足していることから、民間主導による産業用地の創出について検討を進めていく必要があります。	れています。 や情報収集などにより産業	(用地としての可能性の検討			
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○新たな木更津市企業誘致方針に基づき、「かずさアカデミアパーク」、「金田西地区」及び「インターチェンジ周辺地に、「産業用地の不足に対応した企業誘致」を進めます。 ○引き続き企業訪問や情報発信などにより本市の企業立地の優位性をPRするとともに、立地奨励金制度等を活用した企業である。					
8. 主な取組名称②	かずさアカデミアパークを拠点とした新産業等の創出	12. 取組(進捗)状況	В			
9. 主な成果	 ○賃貸型研究開発施設「かずさインキュベーションセンター」での入居企業との交流会を通じ、情報収集等に努めました。 	,				
10. 主な課題	○かずさインキュベーションセンター入居企業等に対し、飛躍的かつ円滑に事業が進むよう、様々な支援制度をいち早く情報提供する等、更なる支援を行う必要があります。 ○かずさDNA研究所やNITE等の研究機関や、企業・大学等と連携が可能な企業の誘致に取り組む必要があります。					
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○かずさインキュベーションセンターの利用促進や、研究機関・企業・大学等と連携が可能な企業の誘致を図るとともによう、様々な支援制度の情報提供や立地済み企業との情報交換の場の提供等のサポートを行い、新産業の創出を支援しま	、現在立地を検討している す。	6企業の立地の後押しとなる			

1. 施策名 基本方向04 基本政策02 施策20 農業の振興 2. 取りまとめ担当課 農林水産課

3. 目標	農業を支える"ひとづくり"を基	本とし、農地集活	約による、持続す	可能な地域農業 <i>0</i>)発展と安定をめ)ざします。 						
	指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2実績値	R3実績値	R4実績値	目標値	グラフ				
	農地保全活動面積	849ha (平成30年 度)	938ha	996ha			948ha	1,050 1,000 950 950 900 849 908 908 908 948 908 948 908 948 950 860 889 908 918 918 918 918 918 918 918 91				
4. 施策目標の実現に 関する指標	新規就農者数	3組 (平成30年 度)	3組	3組			5組	6 5 4 3 3 3 4 2 3 3 4 2 3 3 3 4 1 0 H30 R1 R2 R3 R4				
	有害鳥獣による農作物被害額	1,120万円 (平成29年 度)	2,700万円 (平成30年 度)	2,264万円 (令和元年 度)			1,000万円	3,000 2,700 2,500 2,264 2,000 1,500 1,120 1,100 1,050 1,000 500				
	学校給食における有機米の提供 割合	未実施 (平成30年 度)	2. 2%	11. 8%			5.0%	15.0% 12.0% 12.0% 13.0% 14.0% 15.0% 16.0% 17.0% 18.0% 18.0% 18.0% 19.0%				

			事業名		R 2 当初予算額(千円)	R 2最終予算額(千円)	R 2決算見込額(千円)		7. 施策目標の	
		多面的機能支払交付金事	 業		87, 721	83, 048	83, 018		達成(進捗) 状況	
		〇農業次世代人材投資事	業交付金事業(計画事業	P32、進捗状況〇)	9, 750	3, 750	3,750		В	
į	5. 施策達成のために 要した事業費	農作物被害対策事業			12,809	19, 015	17, 587		Ь	
		○オーガニック米普及推進事業	美(有機米生産促進事業) (計	画事業P33、進捗状況〇)	1,500	2, 108	2, 108			
		きさらづアグリフーズ推	進事業		3,000	2, 388	2, 084			
			計		114, 780	110, 309	108, 547			
		年度	R 1	R 2	R3	R 4	合計			
6	毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	142, 678	110, 309			252, 987			
	700 DOC 2000 PER 1000	決算見込額(千円)	137, 403	108, 547			245, 950			
		<u> </u>								
8	3. 主な取組名称①	農村環境の整備	環境の整備 12. 取組(進捗)状況 A							
Ċ	9. 主な成果	○多面的機能支払交付金	の活用団体が20団体(R	1)から22団体(R 2)	こ増えて、農地保全活動	面積が57ha増加しました				
1	0. 主な課題	 ○水路、農道等の地域資	源の保全管理に対する農	家の負担が増加していま	चं 。					
1	1. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○農村の有する多面的機	能の低下を防ぐため、多	面的機能支払交付金の活	用団体を更に増加させま	₹す。				
8	3. 主な取組名称②	地域農業経営体の育成					12. 取組(進捗)状況		В	
Ġ).主な成果	○有害獣の捕獲強化によ○就農相談や巡回指導な	り、農作物被害を軽減す どの実施により、新規就 -	るため、獣肉処理加工施 農者の就農支援を行うこ	設を活用した、捕獲強化 とで、担い手の育成支援	ー こへの取組を充実させまし 髪を充実させました。 -	した。 			
1	0. 主な課題	○農業生産額の低迷や所 ○農作物被害額が年々右	得の減少により、農業経 肩上りに増加傾向である	当の効率化による経営の ため、耕作意欲の低下に	安定化が求められていまよる離農により遊休農地	 きす。 也も増加傾向にあります。 -				
1	1. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○ I C T を活用した、効 ○地域農業を支える担い	率的な鳥獣害対策による 手への支援、新規就農の	捕獲強化を推進し、農作 育成や農地集約による農	物被害の低減に向け進め 業経営の効率化に向けた	つていきます。 E取組を推進します。				

8. 主な取組名称③	高品質高付加価値農産物の生産拡大	12. 取組(進捗)状況	А
9. 主な成果	○道の駅「木更津 うまくたの里」を中心に、市内生産者と連携した新たな商品開発を進めました。 ○本市の基幹作物である米のブランド化や良食味米の生産促進に向けて、木更津市農業協同組合との連携のもと、令和2年た。 ○木更津産農産物の付加価値化や飲食店におけるオーガニックブランドの創出を図るため、有機JAS認証等の取得を支持		析コンクールを開催しまし
10. 主な課題	○新型コロナウイルス感染症の影響により、人の移動や経済活動が大きく制限される中、本市農産物をPRする機会や場が ○全国的な米の消費減退や新型コロナウイルス感染症の影響による、外食産業を中心とした需要の減少から米の価格低下が	が減少しています。 が危惧されています。	
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○千葉県6次産業化サポートセンターや木更津市産業・創業支援センター「らづ-Biz」等の支援機関と連携し、道の駅る6次産業化の取組を推進します。 ○木更津市農業協同組合と連携して、米の食味にこだわった「木更津産米」食味分析コンクールを開催します。 ○木更津産農産物の付加価値化や飲食店におけるオーガニックブランドの創出を図るため、有機JAS認証等の取得を支持	. –	E産者の所得向上に寄与す
8. 主な取組名称④	都市と農村の交流促進	12. 取組(進捗)状況	В
9. 主な成果	○新型コロナウイルス感染症の影響により、人の移動やイベント等の開催が制限される中、国等が示す感染対策マニュアルフェスティバル2020」を開催し、本市農産物のPRや販売促進、味噌づくり体験等を通じた食育活動を推進しました。	レを遵守した上で、「木更	津市オーガニックシティ
10. 主な課題	 ○未だ収束を見通すことが困難な新型コロナウイルス感染症の影響により、人の移動やイベント等の開催が制限される中、 	交流機会の創出は困難な	状況にあります。
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○新型コロナウイルス感染症の収束への動向を注視しつつ、本年秋の「木更津市オーガニックシティフェスティバル2021」 した農泊(農山漁村滞在型旅行)の推進に向けて、関係機関等との協議・調整を進めます。	の開催や道の駅「木更津	うまくたの里」を拠点と
8. 主な取組名称⑤	有機農業の推進	12. 取組(進捗)状況	А
9. 主な成果	○市内公立小中学校の学校給食提供に向けて、市内8名(前年度比3名増)の生産者の協力のもと、有機米(有機JASま方法により生産された米)の生産を促進しました。 ○収穫された米のうち、約14.5トンを11月2日からの16日間、市内全公立小中学校の学校給食に提供するとともに、提供社市職員による給食の試食会を実施しました。		
10. 主な課題	○木更津産米の付加価値向上に向けて、学校給食提供に向けた有機米の生産に係る取組を広く域内外にPRすることが必要の雑草防除対策や収量の確保など、有機米の栽培技術の確立及び指導体制の充実が求められています。	要です。	
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○専門家の指導や関係機関・団体との連携のもと、本市における有機米栽培技術の早期確立を目指します。 ○有機米の栽培面積の拡大に向けて、市内生産者への一層の協力を働きかけます。		

1. 施策名	基本方向04	基本政策02 施策21	林業の振興			まとめ担当課	農	農林水産	課			
3. 目標	森林の整備や保全を効果的	・計画的に実施し、優	良な森林を造成で	することで	で、将来	にわたり森林資	源を守り、有効	に活用で	できる環境づく	りをめざし	ます。	
	指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2実	績値	R3実績値	R 4 実績値	目相	票値		グラフ	7
4. 施策目標の実現I 関する指標	森林経営計画の計画対象森 積	林面 204ha (平成30年 度)	224ha	227h	na			270	5ha 300 — 250 — 200 — 150 — 50 — 0	204 224 204 224	240 227	258 276 258 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —
	里山活動団体数	2団体 (平成30年 度)	2団体	2団(体			4 5	五 五 五 五 五 2 1 0	3 3 2 2 2 H30 R1	3 R2	4 4 4
		事業名		F	R 2 当初]予算額(千円)	R 2最終予算額	(千円)	R 2決算見込額	頂(千円)		7. 施策目標の
	林業振興補助金					8, 200		7,825		4, 322		達成(進捗) 状況
	森林環境整備事業					9, 381		9, 361		9, 361		В
5. 施策達成のため 要した事業費	森林整備基金積立金				9, 624			8, 991		8, 990		Ь
	林道維持管理事業					4, 133	4, 133			4, 128		
		計				31, 338		30, 310		26, 801		
	年度	R 1	R2			R 3	R 4		合計			
6. 毎年度の予算額 決算見込額の推	及び 最終予算額(千円)	18, 398		30, 310						48, 708		
	決算見込額(千円)	15,897		26, 801						42,698		

8.	主な取組名称①	林業の促進	12. 取組(進捗)状況	В					
9.	主な成果	○森林の健全な成長を促進するため、千葉県森林組合が間伐材搬出、被害森林(サンブスギ)の再生(被害木の伐倒・搬出、跡地の植栽)を実施しました。○「木更津市森林整備方針及び事業計画書」を9月に策定し、山林所有者に対し、経営と管理に関する意向調査を実施しました。○災害によるインフラ施設への被害防止に危険木の予防伐採を実施しました。○从道通行の安全確保のため、除草委託、補修工事を実施しました。							
10.	主な課題	○災害によるインフラ施設への被害を未然に防止する危険木の予防伐採を進めるため、関係機関や森林所有者との連携を動	整えることが課題です。						
11.	主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	〇「木更津市森林整備方針及び事業計画書」(令和2年9月策定)に基づき、千葉県と連携しながら森林整備事業を推進し	ます。						
8.	主な取組名称②	ひとと森林の共生	12. 取組(進捗)状況	В					
		ひとと森林の共生 		В					
9.	主な成果			В					

(様式1)

第2次基本計画(施策)進行管理票

1. 施策名	基本方向04 基本政策02 施策22 水産業の振興	2. 取りまとめ担当課	農林水産課	

3. 目標	水産物の安定した生産・供給体制	を整え、漁業の	産物の安定した生産・供給体制を整え、漁業の担い手の育成・確保や漁場環境の保全を図り、本市の伝統的な産業である水産業の活力再生をめざします。											
	指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2実績値	R3実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ						
4. 施策目標の実現に 関する指標	アサリの年間生産量	41t (平成29年 度)	70t	未確定			200t	250 200 150 100 41 50 9 9 9 9 9 9 9 9 9 170 170 170 170 170 170 170 170 170 170						
	潮干狩り入場者数	21.8万人 (平成30年 度)	18.8万人	3.2万人			25万人	25 21.8 25 15 10 25 15 10 25 15 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10						

	事業名	R 2 当初予算額(千円)	R 2決算予算額(千円)	R 2決算見込額(千円)
	〇水産物供給基盤機能保全事業(計画事業 P34、進捗状況〇)	10, 200	8, 536	8, 536
	〇アサリ増産体制促進事業(計画事業P35、進捗状況×)	8, 976	0	0
	○アサリ秋冬期減耗対策支援促進事業(計画事業P36、進捗状況△)	1,833	360	229
	〇アサリ稚貝越冬緊急対策事業(計画事業 P37、進捗状況O)	3, 900	2, 127	2, 127
	〇のり漁場油濁監視事業 (計画事業 P38、進捗状況〇)	1, 623	1, 491	1,490
5. 施策達成のために	〇流通改善施設整備事業(計画事業P39、進捗状況O)	4, 550	4, 550	4, 537
要した事業費	〇海岸保全施設整備事業(計画事業 P 40、進捗状況〇)	6,000	6,000	4, 150
	〇漁港関連整備事業(計画事業 P41、進捗状況〇)	13, 512	14, 805	14, 805
	〇海難予防施設設置事業(計画事業 P42、進捗状況〇)	2, 364	2, 364	2, 213
	〇共同利用施設設置事業(計画事業 P43、進捗状況〇)	11,064	10, 020	10,020
	潮干狩環境整備支援事業	12, 500	2, 284	1,736

7. 施策目標の 達成 (進捗) 状況 **B** (様式1)

	第2次基本計劃(施東)進行官程票											
		水産多面的機能発揮対策	事業		40, 042	40,000	40,000					
		計		116, 564	92, 537	89, 843						
							A =1	1				
	毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計					
6		最終予算額(千円)	83, 830	92, 537			176, 367					
		決算見込額(千円)	82, 347	89, 843			172, 190					
		I										
8	. 主な取組名称①	漁業振興の促進	2. 取組(進捗)状況 B									
9	.主な成果	○アサリの稚貝の購入が全国的に困難な状況の中、地場のアサリを保護・育成を図るため、囲い網・被覆網による食害防止対策やスズカモの駆除について、県と連携し支援しました。 ○水産多面的機能発揮対策事業による干潟漁場の環境と生態系を保全する活動について、県と連携し助成しました。										
10). 主な課題	○アサリの稚貝の購入が困難であり、漁場の稚貝においては発生はするものの、多くのアサリが越冬することができず斃死してしまうため、さまざまな対策を関係機関と検討 します。										
11	. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○漁業生産基盤の強化と したことから、今後も引	魚業者の収入確保と安定 き続き水産業の振興を図	した漁協運営体制への転 ります。	換を図るため、令和3年	E4月から市内6漁協のP	内5漁協が一つに合併し、!	新たな体制によりスタート				
8	. 主な取組名称②	漁業生産基盤の促進					12. 取組(進捗)状況	В				
9	.主な成果	○漁港施設の管理を体系的港2号防波堤保全工事(○漁港区域内の防潮堤に	電気防食工事) L = 135n	nを実施しました。		6化を図りつつ、更新コス	ストの平準化・縮減を図る	ため、金田(中島地区)漁				
10). 主な課題	○限られた予算内で計画的	ーーーーー 的に保全工事を進めます	•								
11	. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○今後は現在組合から要 <u>い</u>	望のある航路整備(浚渫)を主に整備を進め、漁	船の安全と操業性の向上	た図ります。						

8	3. 主な取組名称③	観光漁業の推進	12. 取組(進捗)	犬況	В						
9). 主な成果	新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発出により、潮干狩り場が臨時休業する中、市内観光施設等へのチラシ設置やポスターの掲出、週末木更津計画を活用した情報発信 等のPR活動を実施し、宣言解除後の来訪者確保に努めました。									
10		潮干狩り入場者の増加を図るため、東京湾の広大な自然干潟を利用した本市の潮干狩りの魅力を引き続きPRするとともに、集客力のある市内の大型集客施設から回遊していただける取組のより一層の推進が必要です。									
1	1. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	海のイベントとして「ちば文化資産」に選定されている本市潮干狩りの一層の魅力発信に向けて、県等と連携したイベントの開催 PR活動を推進します。	単一では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	」との選	動など、引き続き効果的な						

1. 施策名	基本方向04 基本政策02 施策23 商工業の振興 2. 取りまとめ担当			産	業振興語	課						
3. 目標	中小企業や起業・創業者への支援	の充実を図り、i	商工業の基盤の多	安定を促進	し、地	或経済の発展を	どめざします。ま	た、卸売	市場の再整	備に向けた取	組を推進	進します。
	指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2実線	責値	R3実績値	R 4 実績値	目標	票値		グラフ	1
	産業・創業支援センター「らづ-Biz」の支援を受けた創業件数	6件 (平成29年 度)	27件	8件				20	件 作 0	20 20 20 6 H29 H30	27 20 R1	20 20 20 美術値 8 - 日 持値 R2 R3 R4
4. 施策目標の実現に 関する指標	電子地域通貨「アクアコイン」 の加盟店数	410店 (平成31年1 月末時点)	565店	663店				1,50	10)占 6	00	600 565	1,500 1,300 900 663 実績値 - 4 日標値 R2 R3 R4
	製造品出荷額等の額	2,144億 8,143万円 (平成28年調 査)	2,070憶 9,189万円 (平成29年調 査)	2,761亿 5,719万 (平成30 查)	刑			2, 250	30. 25. 20. 15.	000, 000 000, 000 000, 000 000, 000 000, 000 000, 000	20, 709, 189 22, 50 00, 000	22,500,000 実績値 目標値
		事業名		R	2当初	予算額(千円)	R 2最終予算額	(千円)	R 2決算見	込額(千円)		7. 施策目標の
	○空き店舗活用支援事業補助金(進捗状況△)			4, 000		4, 000		2, 413		達成(進捗) 状況
5. 施策達成のために	○アクアコイン普及推進事業(計	画事業P45、進	捗状況〇)			8, 645		8,648		8, 569		В
要した事業費	産業・創業支援センター管理運営	 費				40,870		40, 480		39, 533		Б
		計				53, 515	į	53, 128		50, 515		

	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	54, 343	53, 128			107, 471
	決算見込額(千円)	54, 029	50, 515			104, 544

8	3. 主な取組名称①	中小企業の支援と創業の促進	12. 取組(進捗)状況	A							
ç		○経営相談、企業・創業相談を木更津市産業・創業支援センターを拠点として行い、相談件数は1,727件あり、創業塾を2期実施し、計45名の参加がありました。 ○資金調達支援、利子補給による負担軽減を市の融資制度により行い、新規融資実行件数は75件、新規融資実行額は763,900千円でした。 ○経営革新支援として、経営革新計画の承認を受けた事業者に対し、経営革新計画承認事業者奨励金を交付しました。対象事業者は3事業者で、交付金額は15万円でした。									
1	0. 主な課題	○経営相談の課題として、木更津市産業・創業支援支援センター自身の認知度を向上させ、更なる新規相談者を増加させることが課題です。○資金調達支援の課題として、資金調達の際の保証料の補助や、償還期間の延長についての要望が挙がっています。○経営革新支援の課題として、経営革新計画の承認を受けた事業者が、当初見込み通りの件数でしたので、引き続き市内事業者へ周知を図ります。									
1	踏まえた今後の取組										

8	. 主な取組名称②	商業の活性化	12. 取組(進捗)状況	В							
Ç	・主な成果	○木更津駅周辺の空き店舗を活用した取組として、空き店舗活用支援事業補助金を3事業者に対し、計2,413千円の交付を行いました。 ○電子地域通貨「アクアコイン」は、令和2年度末時点で、インストール数15,909件、加盟店数663店、累計利用額が565,637千円となり、着実にアクアコインの普及推進を図ることができました。									
1		○空き店舗活用支援事業補助金の課題として、新型コロナウイルス感染症の影響で新規出店を見送る傾向にありました。 ○アクアコインをきっかけとした資金の域内循環をより高めるため、アクアコイン利用額の増加が課題となっています。 ○アクアコイン加盟店数が目標に達していないため、加盟店数を伸ばすことが課題です。									
1		○空き店舗活用支援事業補助金については、補助金利用者と登録店舗数を増やすために、登録済みの空き店舗を紹介する 作成して情報発信を積極的に行います。 ○広く市民や事業者等に周知を行うとともに、利用者の日常的な消費ニーズに合致する店舗の加盟促進を図り、利用額の ○君津信用組合及び木更津商工会議所とともに、引き続き、加盟店増加にむけた営業活動に取り組むとともに、タイムリー に対応したオンライン決済機能など、加盟店にメリットが感じられる機能を付与し、より多くの店舗の加盟促進を図ります。	曽加を図ります。 −に店舗のお得情報等を発								

8.	主な取組名称③	工業の活性化	12. 取組(進捗)状況	А							
9.	主な成果	○4市や各商工会議所等で組織する「かずさアカデミアパーク経済対策協議会」が行うアカデミアパーク進出企業と地元1ルスの影響により、令和2年度は開催できませんでしたが、個別企業同士の連携支援は随時行いました。また、アカデミスページをリニューアルし、広報活動の充実を行うとともに、その後の事業者同士の取引の足掛かりとなる支援に繋げました○市が認定を行うことで、事業者の設備投資を支援(税制支援や金融支援など)する先端設備導入計画については、令和2性向上に努めました。	アパーク内の企業の情報発	信支援を行う協議会ホーム							
10.	主な課題	○令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、工業の活性化に向けた交流会形式の連携支援が出来なかったため、新たな方法考える必要があります。 □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○									
11.	主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○新型コロナウイルス感染症の影響下での、効果的な支援を行うため、オンラインなどWEBを活用した支援策を検討・実施していきます。 ○引き続き、中小企業の生産性革命・集中投資の実現のため、先端設備導入計画に基づく、事業者支援を展開していきます。									
8.	主な取組名称④	卸売市場の再整備	12. 取組(進捗)状況	С							
9.	主な成果	○再整備の方向性の一つである民間活力導入について、先進的市場である横浜南部市場や、海に面している立地の開発事例 ル等複合施設を視察し調査研究に役立てました。	別として千葉市千葉みなと	地区にある旅客船ターミナ							
10.	主な課題	〇再整備の段階としては、基本方針・経営展望策定後の1年目であり、民間活力の導入を前提とした地質調査等の基礎調査や事業者選定を事業スケジュールとしていました が、全国的な卸売市場における取扱量の減少等の状況の変化に対応するため、再整備の規模、対象施設の見直し等が必要です。									
11.	主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○全国的な事例を参考に、本市場に最適な再整備の手法について引き続き検討していきます。									

1. 施策名	基本方向04 基本政策0	2. 取	りまとめ担当課	產	E業振興課 ————			
3. 目標	多様なニーズに対応した就労支援	の充実を図ると	ともに、働きやす	すい就労環境の実	≷現をめざします	- 0		
	指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2実績値	R3実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ
4. 施策目標の実現に 関する指標	各種セミナー・講座等の参加者 数	90人 (平成29年 度)	57人	73人			150人	160 140 120 90 100 80 80 58 57 60 40 20 0 H29 H30 R1 R2 R3 R4

	事業名	R 2 当初予算額(千円)	R 2最終予算額(千円)	R 2決算見込額(千円)
	子育て期女性の就労支援事業	1,002	0	0
	君津郡市職業訓練協会負担金	241	241	241
5. 施策達成のために 要した事業費	勤労者退職金等共済掛金補助金	250	250	246
	計	1, 493	491	487

487	
	1
 040	

7. 施策目標の 達成(進捗) 状況

В

	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	578	491			1,069
	決算見込額(千円)	531	487			1,018

8. 主な取組名称①	雇用の安定と拡大	12. 取組(進捗)状況	В
9. 主な成果	○月1回定期開催される自立支援調整会議(自立支援課主催)にて、社会福祉協議会などの関係機関と、様々な相談ケースとができました。千葉県ジョブサポートセンターとの共催によるセミナー開催やハローワークをはじめとする関係機関とのり、市民の就業・再就業にかかる支援をすることができました。 (1)就活基礎セミナー(ジョブカフェ、広報11月号掲載) 開催回数:1回 参加者数:6人(2)中高年向け再就職支援セミナー&個別相談会(ジョブサポ、広報11月号掲載) 開催回数:1回 参加者数:31人(3)シニア向け再就職支援セミナー&個別相談会(ジョブサポ、広報11月号掲載) 開催回数:1回 参加者数:36人(3)シニア向け再就職支援セミナー&個別相談会(ジョブサポ、広報11月号掲載) 開催回数:1回 参加者数:36人(3)シニア向け再就職支援セミナー&個別相談会(ジョブサポ、広報11月号掲載) 開催回数:1回 参加者数:36人(3)シニア向け再就職支援を実施し、中小企業や30分者退職金共済掛金補助金について、事業所数13か所、利用者数58名、交付金額246千円の支援を実施し、中小企業やことができました。 (3)本事中共同職業訓練校に対して、負担金241千円を交付し、令和元年度の修了生は建築科が4名(うち本市2名)、造は建築科が4名(うち本市2名)、造園科が3名(うち本市1名)であり、優秀な技能者の輩出と育成を図ることができま	の会議を通して情報共有を 個人商店等の従業員の福利 園科が6名(うち本市1名	図ることで、連携強化を図
10. 主な課題	○ジョブサポとの共催の中高年とシニア向けセミナーは定員を上回るほどの参加申込みがあり、多くの人の相談時間を設け内の有効求人倍率は、令和2年12月は1.4倍となり、全国の1.13倍を超える高水準で推移していますが、前年度のハローワしくなっている状況であると推測されます。 ○勤労者退職金共済掛金補助金について、想定の範囲内での申請額となりました。(予算額250千円、実績246千円) ○君津郡市共同職業訓練校の訓練生募集等の資料を窓口にて配架したり広報紙に掲載をしていますが、市ホームページではなっていました。	ーク木更津管内は1.69倍で	したので、雇用状況は厳
踏まえた今後の取組	○ジョブサポとの共催事業について、セミナーの他、新規に月1回程度の出張相談会を実施し、多くの方へ柔軟に対応をし ○勤労者退職金共済掛金補助金について、平成29~30年度は予算額を上回る申請があったため、今後の動向を注視していま ○君津郡市共同職業訓練校の訓練生募集が開始されるときに、市ホームページ上でも更新をして市民の目につくような対応	きます。	

1. 施策名	基本方向04 基本政策03 施策25 観光の振興		2.取	りまとめ担当課	崔	見光振興課				
3. 目標	「木更津市観光振興計画」に基づ MOと連携した観光地域づくりを	き、本市が有す めざします。ま	る自然や歴史文化 た、関係機関と近	比等の魅力ある 連携し、市内へ	観光資源を活用し のMICE誘致を	」た観光客誘致を ☑行います。	行うことで、	まちの賑わいを	創出すると	ともに、木更津版D
	指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2実績値	R3実績値	R4実績値	目標値		グラ [・]	フ
	観光パンフレット掲載のクーポ ン利用率	4.6%	8.4%	5. 5%			10%	12.0% — 10.0% — 8.0% — 4.6% — 4.6% — 2.0% — 0.0% — H29	7.0% 8.4% 7.0%	10% 5.5% 上 上 実績値 - 4 - 目標値 R2 R3 R4
4. 施策目標の実現に関する指標	短火ヤナフカ」 わこナー 会加田		0 団体		15団体 15団体 15 回 10 5 — 0		25 20 15	24 - 0 R1 R2	実績値 - 4 - 目標値 15 - R3 R4	
	国際会議の開催件数	3件	2件	0件			5件 (令和元年 ~ 4年度累記		2 2 R1 R2	実績値 - 目標値 1 1 R3 R4
		事業名		R 2当	初予算額(千円)	R 2最終予算額	(千円) R:	2決算見込額(千	円)	7. 施策目標の 達成 (推批)
	週末木更津計画推進事業				3, 030		2, 298	2,	170	達成(進捗) 状況
「 ************************************		みなとまち木更津推進協議会事業負担金				2, 754			832	В
5. 施策達成のために 要した事業費	木更津版DMO運営費補助金				24, 000 22, 613			483		
	国際会議観光都市関係費				2, 684		1, 120	1,	100	

35, 714

28, 785

27,585

計

	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	35, 598	28, 785			64, 383
	決算見込額(千円)	31, 160	27, 585			58, 745

8.	主な取組名称①	観光客の回遊策の充実	12. 取組(進捗)状況	В								
9.	主な成果	○新型コロナウイルス感染拡大に伴い、「木更津港まつり」や「KISARAZU PARK BAY FESTIVAL」 等で利用可能なクーポンを掲載した観光パンフレット「週末木更津計画」を年3回発行し、三井アウトレットパーク木更深への観光客のまちなかへの回遊を図りました。 ○その他、新型コロナウイルス感染対策を講じ、木更津バルや木更津ナチュラルバルを開催しました。	など様々なイベントが中」 までPRイベントを2回開	ととなる中、市内の飲食店 催するなど、大型集客施設								
10.	主な課題	○新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点からイベント開催にあたり多くの制限があるため、ウィズコロナ・アコ 意工夫が求められています。	フターコロナに対応した事	業の実施方法等について創								
11.	主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	〇新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収束するまでは、既存の実施方法に限らない、より効果の見込める方法で本市 P R を継続し、アフターコロナに向けて観光客の回遊 策の充実を図ります。										
				1								
8.	主な取組名称②	観光客受入体制の整備	12. 取組(進捗)状況	В								
9.	主な成果	○観光地域づくり法人(きさらづDMO)と地域事業者が連携し、シーカヤック体験やサイクルイベントなど本市の里海・里山の観光資源を活用したツアー商品の造成に取り組みました。										
10.	主な課題	〇より魅力あるツアー商品へと磨き上げを行うことが必要です。										
11.	主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○ウィズコロナに対応した新たな観光コンテンツを造成するとともに、市・きさらづDMO・観光産業関連団体等の連携にとで受入体制の整備を進めます。	こより情報発信力やおもて	なしスキルの向上を図るこ								
			<u></u>									
8.	主な取組名称③	国際会議等のMICE誘致	12. 取組(進捗)状況	С								
9.	主な成果	□ ○ 5ば国際コンベンションビューローと県内国際会議観光都市(4市:千葉・木更津・成田・浦安)が連携し、MICE適地「千葉」を効果的にPRするツールとしてプロ モーションビデオを制作しました。 □ ○ 令和2年度に開催中止となった国際会議を令和4年度に再誘致することができました。										
10.	主な課題	○新型コロナウイルス感染症の影響により、国際会議の開催方法がオンラインにシフトする傾向にあるため、誘致活動が関係	<u></u> 難しくなっています。									
11.	主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○多くの国際会議が中止または延期されているため、新型コロナウイルス感染症終息後の誘致活動を見据え、充実したエクを、ちば国際コンベンションビューローやMICE施設とともに検討していきます。	クスカーションコースや効	果的な情報発信方法など								

1. 施策名	基本方向04 基本政策	604 施策26 広坛	域交流の推進	2.	. 取りまとめ担当課	t	也域政策	果		
3. 目標	広域道路ネットワークの結節点です。	ある地理的優位	性と、地域資源 <i>0</i>	D発掘・活月	用及び魅力の発信を対	通じて、県内及び	対岸地域	ばからの交流人 に	コを増やし、賑わ	いの創出をめざしま
	指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2実績	植 R3実績値	R 4 実績値	目標	標値	グラ	フ
	大型クルーズ船の寄港数	1隻	1隻	0隻			12	2	字積值 - 4 - 目標値 2 1 1 129 H30 R1	12 6 3 8 R2 R3 R4
4. 施策目標の実現に関する指標	木更津金田バスターミナル (チ バスタアクア金田) の高速バス 乗り入れ路線数 11路線 11路線		11路線	ą	15路線		6 — 4 — 2 — 0 —	16		
	道の駅の利用者数(レジ通過者数)	33. 4万人 (平成29年10 月20日開業~ 平成30年3月31 日)	36.3万人	34. 4万)	Λ.		60万人 60万人 20 10 0		70	
	事業名				2当初予算額(千円)	R 2最終予算額	(千円)	R 2決算見込額	頁(千円)	7. 施策目標の
	東京湾アクアラインを活用した地	域づくり推進事	 業		10		10		10	達成(進捗) 状況
5. 施策達成のために	○みなとの賑わい創出事業(大型クル・	のみなとの賑わい創出事業(大型クルーズ船の誘致)(計画事業 P46、進捗状況△)					2, 402		2, 402	В
要した事業費	〇パークベイプロジェクト推進事業(鳥居		計画事業 P 47、進捗	状況△)	216, 070		543		504	D

231,080

2,955

2,916

計

		年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
6	毎年度の予算額及び決算見込額の推移	最終予算額(千円)	43, 681	2, 955			46, 636
		決算見込額(千円)	39,000	2, 916			41, 916

	3. 主な取組名称①	東京湾アクアラインを活用した地域づくりの推進	12. 取組(進捗)状況	В					
		○アクアラインマラソンの開催年ではない場合の活動は、海ほたる等でイベントを開催していますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の状況が続き、日々感染者が 増加傾向である現状を踏まえ、PR活動は実施しないこととなりました。							
1	0. 主な課題	○令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響等でPR活動を実施できなかったため、令和3年度のPR活動内容を協議会員と検討していく必要があります。							
1		○東京湾アクアラインの通行料金引き下げの効果を本市経済の活性化や地域振興に結び付けていくため、引き続きアクアラるなどしてPR活動を行っていき、アクアラインマラソンの開催年ではない場合においても、海ほたる等でイベントを開作す。							

8	. 主な取組名称②	みなとまち木更津の再生	12. 取組](進捗)状況	В
Ğ	.主な成果	○新型コロナウイルス感染拡大により国内外のクルーズ船運航が大きな影響を受ける中、木更津港や周辺観光地域を紹介知名度向上を図りました。 ○最大級のクルーズ商談会である「Seatrade Cruise Groval 2021」で配布される海外雑誌に掲載し〇各クルーズ船社の新型コロナウイルス対策を紹介するWebページの作成や、クルーズ船に関するアンケートを実施しるパークベイプロジェクトにおける鳥居崎海浜公園の整備について、公募設置管理制度(Park-PFI)を活用し、民た。 ○4月以降の新型コロナウイルス感染症の感染拡大を起因とする飲食業等への影響もあり、開業スケジュールを変更して、〇12月にテナントの出店計画の取りまとめが整ったことから、令和3年3月に事業者と公園施設の整備に関する契約を締結のパークベイプロジェクト推進事業(富士見通り歩道改良)については、歩道詳細設計(L=1,320m)、電線地中化詳細設	、木更津 忍知向上を 間集客施記 対応しました ましました	港の知名度向上 [。] を図りました。 设を含む事業者に した。 こ。	を図りました。
1). 主な課題	○新型コロナウイルス感染症の収束が不透明な中、国内外のクルーズ船運航は大きな影響をうけているため、今後の状況で分析型コロナウイルス感染症に対応したクルーズ船の受入体制の整備が必要です。 ○木更津港の知名度は向上しているが他港に比べ低いため、更なるポートセールスが必要です。 ○横浜港や東京港とは違った木更津港の独自性を出す必要があります。 ○スケジュールの変更に伴い、工事に係る令和2年度予算を繰り越して対応します。 ○工事に係る法令許可の取得、周辺事業者との調整、地域への周知等を経て、工事に着手、開業を目指します。 ○パークベイプロジェクト推進事業(富士見通り歩道改良)については、整備期間が遅延しないよう、関係機関との協議が			o
1	. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○港湾管理者や関係者と調整を行い、新型コロナウイルスに対応したクルーズ船の受入体制を整えます。 ○国内クルーズ船の入港数を増加させるとともに、国外船の入港も目指していきます。 ○木更津港へのクルーズ船の寄港を推進し、観光の振興や地元産業への経済波及を目指します。 ○事業者と連携し、開業に向けて整備を進めつつ、円滑な事業推進のため情報の周知に努めます。 ○パークベイプロジェクト推進事業(富士見通り歩道改良)については、整備期間が遅延しないよう、関係機関との協議、	調整を乳	実施し計画通り事	業の進捗を図ります。

3	3. 主な取組名称③	木更津金田バスターミナルの活用	12. 取組(進捗)状況	С							
(〇木更津金田バスターミナルについては、平成28年6月供用開始以降、高速バス路線数の増加や発券窓口サービスの充実により、令和元年度の年間利用者は約73万人となり、 市民の通勤通学の足として利便性の向上に貢献しました。									
1	0. 主な課題	○新型コロナウイルス感染症の影響により、外出自粛やテレワークの推進など、新たな生活様式の浸透に伴い、高速バスの需要が減少しており、運休や減便により事業を継続している状況であり、利用需要の観点から木更津金田バスターミナルへの乗り入れ路線数の増加には至っていません。 ○金田地区のにぎわいが増している一方で、周辺道路の渋滞が課題となっています。									
1		〇高速バスについて適切な感染対策を講じていることを周知するとともに、社会・人流の変化に合った継続的な利用者増加を図るため、運転手不足や運行ダイヤの調整等の課題を考慮した上で、利用状況に合わせた段階的な乗り入れを視野に入れつつ、バス事業者と便数や運賃等について協議を進めるとともに、関係機関と連携し、周辺の交通渋滞の緩和に向けて取り組みます。									
_											
1	3. 主な取組名称④	新たな交流拠点としての道の駅の活用	12. 取組(進捗)状況	Α							
•). 主な成果	○「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大による相次ぐ「非常事態宣言」の発令により、人の移動や経済活動が大きく制度は 時休業しましたが、国の「Go To トラベル事業」等の効果も後押しし、前年度を上回る売上を達成しました。	関される中、市の協力要	請に基づき、18営業日を臨							
1	0. 主な課題	〇「新型コロナウイルス感染症」の影響により、人の移動や経済活動が大きく制限される中、市内生産者の安定的な出荷先として、また、6次産業化の拠点施設として、市内 生産者や指定管理者等との連携のもと、農業振興・観光振興に向けた取組を継続的に推進していくことが求められています。									
1	1. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○「新型コロナウイルス感染症」の収束が未だ見えない中、新たな魅力の創出として、農業体験や収穫体験をはじめ、食育の推進につながる農泊(農山漁村滞在型旅行)を多 様な主体との連携のもと推進します。									

1. 施策名	基本方向04 基本政策04 施策27 国際交流の推進 2				取りまとめ担当課	地力	方創生推	進課			
3. 目標	姉妹・友好都市との交流を	を深めるとともに、国際に	生豊かな人材を育	育み、外国 <i>)</i>	人も共に暮らしやすい	ハまちづくりをめ	ざします	す。			
	指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R2実績	値 R3実績値	R 4 実績値	目相	票値		グラフ	7
4. 施策目標の実現に 関する指標	国際交流事業の実施件数	224件 (平成30年度)	171件	243件			1,0 (累	1,200 1,000 800 600 400 200 0	字續値 224 17 H30 R1		1,000
	市民ボランティア登録者数	96人 (平成30年度)	113人	113人			15 (累	0人 (計) (記計) (記計) (記) (20 (20 (60 (40 (20 (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7)	96 113 96 A	113	150 150 一 実績値 目標値 R3 R4
		事業名		R	2 当初予算額(千円)	R 2最終予算額	(千円)	R 2決算見込物	額(千円)		7. 施策目標の
	国際施策推進事業				8, 140		7, 051		6,925		達成(進捗) 状況
	木更津市国際交流協会補助	力金			900 900		600			В	
5. 施策達成のために 要した事業費											Б
		<u>計</u>			9, 040		7, 951		7, 525		
	年度	R 1	R 2		R 3	R 4		合計			
6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	8, 765		7, 951					16, 716		
	決算見込額(千円)	8, 648		7, 525					16, 173		

	8. 主な取組名称①	国際交流活動の推進	12. 取組(進捗)状況	В
	9. 主な成果	〇市民レベルの国際交流を促進するため、木更津市国際交流協会を支援・連携を図りながら、国際交流活動の充実や市民ボランティアの育成に努めました。 〇オーシャンサイド市と姉妹都市提携30周年を迎え、両市の文化・教育・経済等の交流を通じて、今後も引き続き相互理解と友好を深めていくことを目的として確認書を締結 しました。 〇国際施策における多文化共生社会の地域づくりを推進するため、外国人市民対象アンケートを行い、「外国人市民への情報提供ガイドライン」を策定しました。		
1		○新型コロナウイルス感染症の影響により多くの事業が実施できなかったが、市民レベルの活発な国際交流やボランティア活動への積極的な参加を促進するため、木更津市国 際交流協会とさらなる連携を図る必要があります。 ○市内在住外国人の増加により、災害時や感染症などの緊急時における情報発信手段等の充実をより一層図る必要があります。		
1	1. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○国際交流への理解を促進するため、木更津市国際交流協会とさらなる連携を図っていきます。 ○市内在住外国人の生活実態や意識、ニーズ等を把握するため、外国人市民のコミュニティへの訪問及び聞き取り調査等を実施し多文化共生の地域づくりを促進します。		

決算見込額(千円)

(18761)		第 2 次基本計画(施策)進行管理票										
1. 施策名	基本方向05 基	本政策01 施策28 土地	利用の適正化	2.	取りまとめ担当課	1	都市政策	課				
3. 目標	少子高齢化の進行に伴う社 における地区計画制度、地	会経済状況の急激な変で 積調査)を活用するほ	化に対応するため か、新たな制度	め、既存制原 (立地適正位	度(都市計画基礎調 と計画)を積極的に	査、都市計画基礎 導入・活用し、計	き調査の約 計画的なこ	吉果等を踏まだ 上地利用の実施	えた都市計画 見をめざしま	iの見直し す。	J、市街化調整区域	
	指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2実績	値 R3実績値	R4実績値	目相	票値		グラフ		
4. 施策目標の実現に 関する指標	市街化調整区域において地画を都市計画決定した箇所		1 箇所	2箇所	:		5箇所 (累計) 2 1		1 1 H30 R1	5 2 1 1 1 - 実績値 目標値 H3O R1 R2 R3 R4		
	地籍調査事業進捗率	10.2% (平成29年 度)	13. 3%	14. 1%			19	25.0 20.0 15.0 10.0 5.0	10. 2 11. 7 10. 2 H29 H30	13. 3	14. 1 19. 9 — 実領値 — — 目標値 R2 R3 R4	
		事業名		R	2 当初予算額(千円)	R 2最終予算額	(千円)	R 2決算見達	込額(千円)	1	7. 施策目標の	
	立地適正化計画策定事業				8, 200	8, 129		8, 129		達成(進捗) 状況		
	地籍調査事業				129, 996	1	02,508		99, 158		Α	
5. 施策達成のために 要した事業費												
		言†					10, 637		107, 287			
							.,]		
6 毎年度の予算額及び	年度	R 1	R2	10 (05	R 3	R 4		合	計 201.010	1		
6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	93, 573	1	10, 637					204, 210			

200,048

107, 287

92,761

11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性

8	. 主な取組名称①	計画的土地利用の実現 12. 取組(進捗)状況 A							
9	・主な成果	○目標を実現するための具体計画として、立地適正化計画を令和3年3月に定めました。 ○令和2年8月21日に地区計画(木更津スポーツヴィレッジ中郷地区)の都市計画決定をしました。							
10	・主な課題	〇立地適正化計画について、防災指針を令和3年度・4年度の2か年で計画します。							
11	. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	〇立地適正化計画の防災指針について、庁内関係部課と緊密な調整を行い、令和4年度末までに取りまとめます。 〇立地適正化計画について、開発行為及び建築行為の届出制度により土地利用の動向を把握し、今後の都市計画に役立つ基礎データとして活用していきます。							
8	. 主な取組名称②	土地の有効利用の促進	12. 取組(進捗)状況	В					
9	・主な成果	〇境界立会い及び測量が終了した土地の測量データ等を地権者に提供して、売買等土地の権利異動の手続きに役立てています。							
10	・主な課題	〇地籍調査は住民説明会から始まって、境界の立会い、測量、地籍図及び地籍簿の作成、所有者の閲覧、県の検査、国の承認等を経て、最後に法務局へ納品と、完了に至るまでに5年から7年と、大変長い年月を要します。							

〇調査を実施中、当該地区の売買等の権利異動を妨げないために、今後も必要に応じて測量データ等を地権者に提供することにより、円滑な土地取引を促進します。 〇調査に要する期間の短縮に努め、より一層施策の効果の拡大を図ります。 1. 施策名

第2次基本計画(施策)進行管理票

2. 取りまとめ担当課

市街地整備課

0. 0 H30

0. 6 0. 5

0.4

0.3

0.2 —

0.0

0.5ha

基本方向05 基本政策02 施策29 市街地整備の充実

0 h a

(未実施)

木更津駅周辺において土地利用 の共同化・高度化がなされた地 区面積

20717						•		
3. 目標	都市的利便性や快適性を高める都	市基盤の計画的	な整備と維持を図	図ることにより、	定住人口や交流	入口の増加をめ	ざします。	
	指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2実績値	R3実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ
	金田西地区の使用収益開始エリ ア面積	12.1%	17. 8%	30. 6%			100%	100.0 80.0 60.0 40.0 30.6 20.0 12.1 17.8 20.0 H30 R1 R2 R3 R4
4. 施策目標の実現に 関する指標	請西千束台地区の使用収益開始 エリア面積	58.5%	100%	100%			100%	100.0 80.0 100 100 100 100 100 40.0 58.5 20.0 実績値

0.4ha

		事業名	R 2 当初予算額(千円)	R 2最終予算額(千円)	R 2決算見込額(千円)
		〇金田西特定土地区画整理事業負担金(計画事業 P48、進捗状況△)	876, 505	748, 325	719, 175
	り. 旭宋连成のために	〇街なか居住マンション建設補助事業(計画事業P49、進捗状況O)	113, 360	61,900	61, 157
	要した事業費	〇街なか居住マンション取得助成事業 (計画事業 P50、進捗状況〇)	58, 500	49,000	48,500
		計	1, 048, 365	859, 225	828, 832

0.4ha

7. 施策目標の 達成(進捗) 状況 **B**

実績値 - - 目標値

R3

0.5

	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	1, 170, 596	859, 225			2, 029, 821
	決算見込額(千円)	1, 101, 338	828, 832			1, 930, 170

8. 主な取組名称①	市街地の整備	12. 取組(進捗)状況	В
9. 主な成果	○金田西地区については、負担金を支出し、12.8%使用収益面積が拡大しました。 ○請西千束台地区については、すべての事業が完了し、使用収益面積が100%になりました。 ○木更津駅周辺においては、土地利用の共同化・高度化を図るため、令和3年度末の工事完成に向けて「街なか居住マンミ築工事)することができました。 ○令和2年度「街なか居住マンション取得助成事業」を実施したところ、令和元年度末に完成(木更津1丁目地区、富士野名から助成申請があり、現在245名が新しく完成したマンションに居住しております。 ○木更津市中心市街地活性化基本計画掲載事業である、公共施設整備(トイレ)が2件完了しました。		
10. 主な課題	○金田西特定土地区画整理事業の早期完了に向けて、県と連携・協力していく必要があります。 ○街なかマンション建設事業を検証するため、木更津駅周辺へのマンション建設の需要等を量るとともに、マンション(オデータの調査・分析を進めます。 ○新型コロナウイルス等の影響で、木更津市中心市街地活性化基本計画掲載事業の一部に遅れが生じているため、計画期間ます。		
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○金田西特定土地区画整理事業の令和5年度完了に向けて取り組んでいきます。 ○木更津駅周辺へのマンション建設の需要及びマンション取得者の調査・分析結果を踏まえ、今後の「街なか居住マンショ 助成事業」の継続等を含め、今後の事業展開について検討します。 ○中心市街地活性化基本計画掲載事業の着実な実施に努め、官民連携で引き続き中心市街地活性化事業に取り組んでいきま		街なか居住マンション取得

1.	施策名	基本方向05 基本i	政策02 施策30 公園	・緑地の充実		2.取	Jまとめ担当課	市	街地整備	請課			
3.	目標	良好な都市環境を維持するた	・め、計画的な公園緑 ^は	地の整備と保全(に努め、対	地域住民	発等の生活環境 <i>の</i>)向上をめざしま	す。				
		指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2集	ミ績値	R 3実績値	R4実績値	目相	票値		グラフ	,
4	施策目標の実現に 関する指標	公園供用面積	121.13ha	127. 1ha	127.	2ha		124. 7ha		7ha 1	128.0 127.1 127.2 126.0 124.0 124.0 122.0 121.0 124.7 120.0 118.0 中29 H30 R1 R2 R3 R4		124.7
			事業名			R 2 当初	7予算額(千円)	R 2最終予算額	(千円)	R 2決算見	込額(千円)		7. 施策目標の 達成(進捗)
		○公園整備事業(計画事業P51、進捗状況〇) 					101, 370		45, 525		45, 146		状況
5	施策達成のために 要した事業費	○中の島大橋改修事業(計画事業P53、進捗状況公)					61, 067 99, 000		24, 538 385		24, 163		В
		○下ツ西八同以(ドチ木 (日岡 井木) 33、 た)グ (小)(ム)					99,000		303		303		
		計					261, 437		70, 448		69, 694		
		年度	R 1	R2			R3	R 4		4	h 카]	
6	毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	66,000		70, 448		N 3	K4		136, 448			
	决异兄 还积切推 炒	決算見込額(千円)	45, 414		69, 694						115, 108		
8	主な取組名称①	公園の整備と緑化の推進			1					12. 取組(進捗)状況		В
9.	主な成果	○金田東1号近隣公園については、一部を整備し供用を開始しました。											
10	主な課題	○現在施行中の金田東1号近 して反映されるまでに時間差	現在施行中の金田東1号近隣公園については、規模の大きい施設のため整備完了までに期間(令和4年度完了予定)を要し、施策目標の実現に関する指標(公園共用面積)と て反映されるまでに時間差があります。										
11.	主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	- ○公園予定地周辺の住宅の張	園予定地周辺の住宅の張り付き状況、地域の特性及び地域住民の要望等を勘案し、公園整備を実施のうえ、早期供用開始を図ります。										

1. 施策名	基本方向05 基本政策	基本方向05 基本政策02 施策31 住環境の整備			りまとめ担当課		住宅課		
3. 目標 住宅に対する様々な世代のニーズや環境への配慮等を踏まえ、生活の基盤である住宅とその周辺の居住環境について快適性や安全性の向上を図り、誰もが安心して「住みだまち」「住み続けたいまち」をめざします。									
	指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2実績値	R3実績値	R4実績値	目標値	グラフ	
4. 施策目標の実現に 関する指標	空家バンクを通じた空家の利活 用戸数	4戸 (平成30年 度)	3戸	5戸			40戸 (年間8戸)	10 8 8 8 8 8 8 8 8 4 4 5 — 実績値 2 3 — 目標値 0 H30 R1 R2 R3 R4	

	事業名	R 2 当初予算額(千円)	R 2最終予算額(千円)	R 2決算見込額(千円)
	〇木造住宅リフォーム事業(計画事業 P54、進捗状況O)	1, 200	240	240
	〇市営住宅長寿命化計画整備事業(計画事業P55、進捗状況O)	30,000	36, 589	35, 390
5. 施策達成のために 要した事業費	〇空家リフォーム助成事業補助金(計画事業P56、進捗状況〇)	6,000	4, 000	3,000
	計	37, 200	40, 829	38, 630

	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	43,000	40,829			83, 829
	決算見込額(千円)	30, 560	38,630			69, 190

7.	施策目標の 達成(進捗) 状況
	В

8. 主な取組名称①	住環境の向上	12. 取組(進捗)状況	В						
9. 主な成果	○無料耐震相談会については、20件の相談、君津地域耐震改修促進協議会主催の相談会で8件の計28件の相談を行いました。 ○木造住宅耐震診断事業については、17件の一般耐震診断を実施し、耐震改修・リフォーム一部補助について5件の申請がありました。 ○建築物省エネ法の改正についてパンフレットの配布、窓口での相談等を行いました。 ○空家パンク制度により、空家のリフォーム助成制度(4件)が活用されました。								
10. 主な課題	○市民に対して、耐震改修・リフォーム一部補助の更なる周知が必要です。 ○建築物省エネ法についての更なる周知が必要です。 ○空家バンク制度及び空家のリフォーム助成制度の活用が十分に利用されていないことから周知を図る必要があります。								
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	〇引き続き木造住宅耐震化促進事業の推進に努めます。 〇引き続き窓口での案内等を円滑に行っていきます。 〇固定資産税の納税通知書に空家バンク制度及び空家のリフォーム助成制度のチラシを同封するなど引き続き市民への周知に努めます。								
8. 主な取組名称②	市営住宅の管理及び整備	12. 取組(進捗)状況	А						

i	3. 主な取組名称②	市営住宅の管理及び整備	12. 取組(進捗)状況	Α						
	9. 主な成果	〇居住性の向上を図るため、長須賀団地3棟18戸について便所等改修(水洗化)工事を実施しました。 〇国費調整の結果、令和3年度分の事業を前倒しし、同団地の5棟26戸の追加別途工事を実施しています。 〇用途廃止団地入居10世帯(祇園団地1世帯、清見台団地1世帯、久津間団地4世帯、岩根団地4世帯)の移転、退去を実施しました。								
-	0. 主な課題	○老朽化の進行している市営住宅について、従前の対症療法型の修繕から、予防保全的な維持管理及び耐久性の向上を図る	老朽化の進行している市営住宅について、従前の対症療法型の修繕から、予防保全的な維持管理及び耐久性の向上を図る改善を実施する必要があります。							
	1. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性									

1. 施策名		基本方向05 基本	政策02 施策32 良好な	宗観形成の推進		2. 取	りまとめ担当課	者	都市政策	課			
3. 目標		良好な景観を形成するこ	とで、快適でうるおいの	ある生活環境と、	生活や	産業に村	艮ざした本市の個	固性や文化の創出	出をめざ	します。			
	4. 施策目標の実現に 関する指標	指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2	実績値	R3実績値	R 4 実績値	目相	票値		グラフ	
4. 施策目標 <i>0</i> 関する指標		景観計画区域内行為届出的	52件 (平成28年~ 平成29年度)	23 (23)	23 (23) (28) (48) (100件 (累計) (100				23 25 R1	48 50 R2	75 75 一 実額値		
			事業名			R 2当社	刀予算額(千円)	R 2最終予算額	(千円)	R 2決算見込額	〔(千円)	7. 施策目標の 達成(進捗) 状況	
		景観形成推進事業					0		0		0		状況
		景観形成推進事業補助金					200		150		150		Α
5. 施策達成の要した事業	かために 業費												
			計				200		150		150		
		年度	R 1	R 2			R 3	R4		合計			
6. 毎年度の予 決算見込額	予算額及び 額の推移	最終予算額(千円)	4, 105		150						4, 255		
	次昇兄込額の推移 <u></u>	決算見込額(千円)	4, 105		150						4, 255		

8	. 主な取組名称①	好な景観形成の推進 12. 取組(進捗)状況 A									
9	・主な成果	○木更津市景観条例に基づき、市内の良好な景観形成に資する事業を実施する市民団体3団体に対して、限度額5万円の補助	金を交付しました。								
10	・主な課題	○申請件数の増加により、1団体への交付金額の減少が考えられます。 ○新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、各団体の事業規模の縮小などが懸念されます。									
11	. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○引き続き多くの市民の方に利用していただくため、当該補助金に対する周知を図ります。 ○今後、申請件数が増えることを鑑み、適切な予算を確保し、良好な景観形成の推進に取り組んでいきます。									
8	. 主な取組名称②	良好な景観形成の誘導	12. 取組(進捗)状況	В							
9	・主な成果	○木更津駅みなと口景観形成重点地区の指定に向け、地元住民等と視覚的イメージを共有するため、説明会などで頂いた意見パース図を作成し、地元住民等に公表しました。	や歩道再整備計画を反映し	た目指すべき将来イメージ							
10		○重点地区の指定に向け、景観計画(案)を基にした将来イメージ図を参考に、きめ細やかな基準等の作成を行うため、地元住民等の意見を反映させるための調整、庁内関係部署等 との調整が必要です。									
10	・主な課題	○里川地区の指定に向け、京観計画(条)を基にした行来すメージ図を参考に、さめ神やかな基準等の作成を行うため、地元住民との調整が必要です。	氏寺の恵見を反映させるた	のの調整、ケハ関係部者寺							

. 施策名 基本方向05 基本政策03 施策33 交通体系の充実	2. 取りまとめ担当課 土木課	
----------------------------------	-----------------	--

圏央道など広域幹線道路の交通量の変化に合わせ、拠点市街地を結ぶ主要幹線道路の整備や、公共交通の充実を図ることにより、日常生活における移動をよりスムーズなもの とするほか、市域内外からのアクセス性を高め、回遊性のある交通ネットワークの構築をめざします。 3. 目標 現状値 R1実績値 R2実績値 R3実績値 R4実績値 指標名 目標値 グラフ (目標設定時) 100.0 実績値 - ■ 目標値 80.0 60.0 未実施 (平成30年度) 橋梁の点検進捗度 22% 74% 40.0 20 0 R4 3,000 2, 580 2, 182 2, 329 4. 施策目標の実現に 2.500 関する指標 2, 186 2, 190 2, 189 2, 196 2, 203 2,181,778人 2,329,302人 2,579,783人 路線バス利用者数 2,203,000人 (平成29年度) (平成30年度) (令和元年度) ━━━ 実績値 ━ ■ ■ 目標値 R3 H30 まちづくり協議会・NPO法人 等による新たな交通システムの 1件 (平成30年度) 4件 1件 2件 導入件数

	事業名	R 2 当初予算額(千円)	R 2最終予算額(千円)	R 2決算見込額
○橋りょう長寿命	化修繕事業(計画事業P57、進捗状況〇)	76,000	106, 290	10
○道路ストック定	期点検事業(計画事業P58、進捗状況×)	3,000	0	
○道路ストック修	繕事業(計画事業 P59、進捗状況〇)	92,000	33, 811	
○新火葬場周辺市	道整備事業(計画事業P60、進捗状況△)	245, 515	77, 844	
○江川総合運動場	周辺市道整備事業(計画事業 P 61、進捗状況△)	61,552	39, 430	

7. 施策目標の 達成(進捗) 状況 **A**

実績値 - - 目標値

	〇市道6431号線道路改良事業(計画事業P62、進捗状況〇)	153, 408	154, 029	151, 021
5. 施策達成のために 要した事業費	〇中野畑沢線整備事業(桜井工区)(計画事業 P63、進捗状況△)	38, 848	34, 344	34, 344
	〇中野畑沢線整備事業(県営事業)(計画事業 P64、進捗状況△)	39, 707	25, 592	9, 159
	〇下郡大稲線整備事業(計画事業 P 65、進捗状況〇)	8,000	7, 370	7, 370
	〇草敷潮見線整備事業(請西工区)(計画事業 P66、進捗状況〇)	55, 646	55, 646	55, 645
	地域公共交通再編事業	1, 919	1,906	1,717
	車両購入	3, 152	1,603	1,601
	生活路線バス維持対策費補助金	53, 564	62, 526	49, 441
	計	832, 311	600, 391	561,647

	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	637, 017	600, 391			1, 237, 408
	決算見込額(千円)	319, 457	561, 647			881, 104

8. 主な取組名称①	道路網の整備	12. 取組(進捗)状況	А
9. 主な成果	○平成25年3月に策定した橋梁長寿命化修繕計画の改定を行い、今後の修繕工事の計画(短期及び中長期計画)を策定しま設定しており、実績値(R2)は22%となりました。 ○平成28年12月に策定した木更津市舗装修繕計画の改定を行い、FWD調査を実施しました。 ○新火葬場周辺市道整備事業については、物件調査、用地測量、不動産鑑定、用地取得及び物件補償を実施し、本路線の整備事業については、開地測量、不動産鑑定、国有地取得のための分筆登記及び道路改良工事(□本道6431号線道路改良事業については、道路改良工事(□本31号線道路改良事業については、道路改良工事(□本31号線道路改良事業については、道路改良工事(□本31号線道路改良事業については、道路改良工事(□本31号線道路改良事業(□本31号線道路改良事業(□、□、□、□、□、□、□、□、□、□、□、□、□、□、□、□、□、□、□、	を備に向けて事業の進捗を (L=136m)を実施しまし 8線の整備に向けて事業の	図りました。 いた。 進捗を図りました。
10. 主な課題	○国費の予算配分に事業の進捗が左右されるため、計画的な定期点検を実施することが困難となっています。○幹線道路整備については、用地取得が難航し計画的に整備することが困難となっています。		
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○令和2年度から245橋の2巡目の定期点検を開始するため、改訂した橋梁長寿命化修繕計画に沿った点検数の実施に向け ○幹線道路整備については、今後も用地取得を実施し、計画的に工事を実施するよう努めます。	て、優先的に事業を推進し	,ます。

8	. 主な取組名称②	公共輸送の充実	12. 取組(進捗)状況	В
ç	. 主な成果	○「路線バス利用者数」については、利用者のニーズに合わせた路線の変更の他、バリアフリー化の促進、運転手の接遇のれた公共交通の利用促進に関する各種取組の成果と考えられます。 ○地域の需要に応じた新たな交通システムとして、地域住民や交通事業者等と協議を重ね、富来田地区において令和2年でた。 ○木更津市地域公共交通網形成計画及び木更津市地域公共交通再編実施計画に基づき、バス路線を効率的で利便性の高い利3年度にバス路線の再編を実施できるよう計画の具体化に取り組みました。 ○平成30年12月に路線バスの大幅な減便が行われた波岡地区等(八幡台、羽鳥野、上鳥田、中鳥田、下鳥田、大久保、真が住民意見交換会を踏まえつつ、令和3年度に運行内容の見直しが実施できるよう具体的な運行形態についてバス事業者と下を実施しました。	7月から自家用有償旅客運 5のとするため、地域住民 新)について、令和元年度	送の実証運行を開始しまし や交通事業者と協議し、令 に実施した住民アンケート
1). 主な課題	○巌根駅への総武線快速停車については、JRに対する請願事項であることから多額の経費が見込まれます。		
1	踏まえた今後の取組	○地域によって交通に関する課題が異なることから、引き続き地域住民や交通事業者等と協議を重ね、地域特性に応じた3 ○新たな交通システムを持続可能なものとするため、実証実験を通じて地域のニーズを把握するとともに、地域の自主性3 ○巌根駅への総武線快速停車について、基本調査の結果を踏まえたうえで、整備に関する課題や負担割合等を含めたJR&	を尊重した効率的な運行を	目指します。

1	施策名	基本方向05 基本政策03 施策34 港湾機能の充実					リまとめ担当課	盾	E業振興	課			
3	目標	重要港湾である木更津港の監 実を目指します。	を備を進めることで、	内港地区における	る海辺の	にぎわい	\空間づくりやオ	東津南部地区に	おける特	物流機能の強化	並びに大型	クルーズ	船の受入環境の充
		指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2身	 美 横 値	R3実績値	R4実績値	目相	票値	グラフ		
4	施策目標の実現に 関する指標	県港湾計画の進捗率 (内港整備分)	12% (平成30年度 実績値)	12%	12%				36% 36% 36% 36% 36%		18 12 12 12 12 H30 R1	24 12 R2	36 30 30 30 30 30 30 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40
		事業名				R 2当初	刃予算額(千円)	R 2最終予算額	(千円)	R 2決算見込	額(千円)		7. 施策目標の 達成(進捗)
5	. 施策達成のために 要した事業費	○木更津港湾整備事業県負担	金(計画事業 P 67、	進捗状況△)			225, 027		92, 623		73, 313		状況
5													В
		計					225, 027		92, 623		73, 313	_	
		年度	R 1	R 2			R3	R4		合計	+		
6	毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	55, 187		92,623					147, 810			
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	決算見込額(千円)	52, 689		73, 313						126,002		
8	主な取組名称①	港湾環境の整備								12. 取組(進持	步)状況		В
9	主な成果	○老朽化が進む岸壁、橋梁な	どの施設改修を行う	とともに、吾妻」	地区の小	型桟橋係	経留施設の整備を	を行い、物流事業	者等の網	Y 経済活動を支え	る事業を進	めました	0
10	主な課題	○千葉県が行う港湾計画に基	よづき、港湾関係団体 -	等の理解を得なが	がら整備	促進を図	 図ります。 						
11	主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○引き続き県の「木更津港港 ○老朽化が一層進む岸壁、橋 ○事業の進捗については、県	「梁の計画的な改修を	進め、港湾物流権	機能の確何	保、ひし	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	E支えてまいりま E実現するため、	す。 事業の(足進を図ります	0		

1.	施策名	基本方向05	基本政策04 施策35 上	水道の充実	2. 取	2. 取りまとめ担当課 企画課						
3.	目標	市民生活や経済活動に欠かします。	vすことのできないライ [・]	フラインとして、「	かずさ水道	広域連合企業団」	が行う安全・安	小な水道	水の安定供給と	、継続可能	能な経営	は基盤の強化を支援
		指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値 F	R 2実績値	R3実績値	R4実績値	目標値		グラフ		
4.	4. 施策目標の実現に 関する指標											
			事業名		R 2当	初予算額(千円)	R 2最終予算額	(千円)	R 2決算見込額	(千円)		7. 施策目標の
_	16-front 10 m / 11 / 1	かずさ水道広域連合企業団		582		443		443		達成(進捗) 状況		
5.	. 施策達成のために 要した事業費	かずさ水道広域連合企業団	出資金			94, 568		93, 737		80,737		Α
			計			95, 150		94, 180		81, 180		
		年度	R 1	R 2		R 3	R4		合計			
6.	毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	29, 459	94,	180					123, 639		
		決算見込額(千円)	29, 359	81,	180					110,539		
8.	主な取組名称①	安定した水道水の供給と紹	経営基盤の強化 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					1	2. 取組(進捗)状況		A
9.	主な成果	〇水道事業に関する適正な 〇かずさ水道広域連合企業 災害対策(耐震化事業)に	な維持管理や更新事業を 対し、安定した水流 になる経費や資本的事業	実施するため、専門 原確保や経営基盤の こ係る職員に対する	技術を有す。 強化を支援 児童手当の	る職員を含め31名 するため、収益的 合付に要する経費	名(うち再任用3 内事業に係る職員 貴、統廃合事業等	名) をか に対する に要する	ずさ水道広域連 児童手当の給付 経費を出資しま	合企業団/ に要するA した。	へ派遣し 経費を負	ました。 !担するとともに、
10.	主な課題	〇かずさ水道広域連合企業	美団の円滑な運営等に協力	力するため、引き続	き構成団体 ⁻	で運営に関して協	協議していく必要	がありま	す。			
11.	主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	〇安全・安心な水道水の安 業や統廃合事業等に対し、	で定供給と持続可能な経 継続的に出資金及び負担	営基盤の強化を支援 担金を支出します。	するため、	引き続き専門技術	前を有する職員を	かずさ水	道広域連合企業	団へ派遣	するとと	さい 用水供給事

基本方向05 基本政策04 施策36 下水道等の整備				りまとめ担当課	下	水道推進室			
積極的な下水道整備を推進するこ	とにより、生活	環境の改善を図	り、快適で住み	よいまちをめざ	します。				
指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2 実績値	R3実績値	R4実績値	目標値		グラフ	1
下水道普及率 53.0% (平成29年 55.2% 度)		55. 7%			57. 5%	58. 0 57. 0 56. 0 55. 0 54. 5 55. 0 53. 0 53. 0 52. 0 51. 0 50. 0 H29 H30	54. 8	55.7 57.5 56.6 55.7 58.6 F2 R3 R4	
)	事業名		R 2当社	切予算額(千円)	R 2最終予算額	(千円) R 2 ½	央算見込額(千円)		7. 施策目標の 達成 (進捗)
排水路整備事業				15,800		15,760	14, 916		達成(進捗) 状況
岩根ポンプ場改修事業 施策達成のために 要した事業費 汚水処理施設維持補修事業						18, 729	17, 353		В
						3, 488	3, 435		D
	積極的な下水道整備を推進するこ 指標名 下水道普及率 排水路整備事業 岩根ポンプ場改修事業	積極的な下水道整備を推進することにより、生活 指標名 現状値 (目標設定時) 下水道普及率 (平成29年 度) 事業名 排水路整備事業 岩根ポンプ場改修事業	積極的な下水道整備を推進することにより、生活環境の改善を図 指標名 現状値 (目標設定時) R 1 実績値 下水道普及率 (平成29年 度) 55.2% 事業名 排水路整備事業 岩根ポンプ場改修事業	積極的な下水道整備を推進することにより、生活環境の改善を図り、快適で住み 指標名 (具標設定時) R 1 実績値 R 2 実績値 下水道普及率 (平成29年 度) 55.2% 55.7% R 2 当社 排水路整備事業	積極的な下水道整備を推進することにより、生活環境の改善を図り、快適で住みよいまちをめざ 指標名 (目標設定時) R 1 実績値 R 2 実績値 R 3 実績値 下水道普及率 (平成29年 度) 55.2% 55.7% (平成29年 度) 15,800 排水路整備事業 15,800 19,700	積極的な下水道整備を推進することにより、生活環境の改善を図り、快適で住みよいまちをめざします。 指標名 現状値 (目標設定時) R 1 実績値 R 2 実績値 R 3 実績値 R 4 実績値 下水道普及率 (平成29年 度) 55.2% 55.7%	積極的な下水道整備を推進することにより、生活環境の改善を図り、快適で住みよいまちをめざします。 指標名 (現状値 (目標設定時) R 1 実績値 R 2 実績値 R 3 実績値 R 4 実績値 目標値 下水道普及率 (平成29年 度) 55.2% 55.7% 57.5% 57.5% 57.5% 57.5% 15.7	積極的な下水道整備を推進することにより、生活環境の改善を図り、快適で住みよいまちをめざします。 指標名 現状値 (目標設定時) R 1 実績値 R 2 実績値 R 3 実績値 R 4 実績値 目標値	積極的な下水道整備を推進することにより、生活環境の改善を図り、快適で住みよいまちをめざします。 - 指標名 (日標設定時) R 1 実績値 R 2 実績値 R 3 実績値 R 4 実績値 目標値 グラフ 53.0% (平成29年 度) 55.2% 55.7% 57.5%

39,060

37,977

35,704

		年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
6. 4	毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	32, 900	37,977			70,877
		決算見込額(千円)	29, 857	35,704			65, 561

8	. 主な取組名称①	排水路の整備及び維持管理 12. 取組(進捗)状況 A									
9	. 主な成果	〇排水路整備工事については、中島地内(工事延長L=44.2m)、中尾地内(工事延長L=46.1m)、高柳地内(工事延長L=26.7m)、瓜倉地内(工事延長L=15.6m) の4か所の工事を実施しました。									
10	. 主な課題	○排水機能の向上や維持を図るため、計画的な工事及び清掃の実施が必要です。									
11		〇今後も降雨時の浸水被害の防止や生活環境の向上のため、計画的に工事および清掃を実施し、適切な維持管理を行います。									
8	主な取組名称②	地域汚水処理場の適切な維持管理	 12. 取組(進捗)状況	В							
9	. 主な成果	○地域汚水処理場と管渠の適切な維持管理及び計画的な修繕を行い、快適な生活環境を維持しました。									
10	・主な課題	〇安定した汚水処理を継続して実施するため、処理施設の老朽化に伴う機器の更新が必要です。									

8. 主な取組名称③	都市下水路の適切な管理 B 12. 取組(進捗)状況 B									
9. 主な成果	〇都市下水路として降雨時の排水機能の確保に必要な改修工事、補修工事及び清掃委託を実施し、計画的な維持管理を行い施設の長寿命化を図りました。									
10. 主な課題	D施設の老朽化が進んでいますが、今後も継続して排水機能を確保するため、計画的な維持管理を行い施設の長寿命化を図る必要があります。									
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○今後も降雨時の浸水被害の防止のための工事及び清掃を実施し、計画的な維持管理を行い施設の長寿命化を図ります。									
8. 主な取組名称④	下水道施設の整備・適切な管理	12. 取組(進捗)状況	В							
9. 主な成果	○将来の流入汚水の増加に対応するため、主ポンプの増設を行いました。									
10. 主な課題	○施設の老朽化が進み、修繕及び更新が必要な施設が増えています。									
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	〇施設の修繕・更新には多額の費用がかかるため、国の補助金等を活用したうえで順次、修繕等を実施します。									

1. 施策名	基本方向05 基本政策04 施策37 資源循環の推進			2. 取	りまとめ担当課	また	5美化推進課			
3. 目標	ごみの発生抑制(Reduce:リデュース)・再利用(Reuse:リユース)・再資源化(Recycle:リサイクル)の3Rを推進することで、快適で住み良い持ん 可能な「循環型社会」の形成をめざします。									
	指標名	R 2実績値	R3実績値	R4実績値	目標値	グラフ				
4. 施策目標の実現に 関する指標	1人1日当たりのごみ排出量	1,125g (H29年度実績 値)	1, 195 g	1,157 g			1,040 g	1. 250 1. 200 1. 195 1. 150 1. 100 1. 100 1. 050 1. 069 1. 069 1. 069 1. 065 1. 040 950 H29 H30 R1 R2 R3 R4		
								35.0		

21.7%

	事業名	R 2 当初予算額(千円)	R 2 最終予算額(千円)	R 2決算見込額(千円)
	資源ごみ処理処分業務委託	192, 500	192, 500	192,500
	ごみ減量化資源化推進助成金	6, 300	4, 697	3, 617
 5. 施策達成のために	一般廃棄物収集運搬業務委託	419,000	418, 854	418,770
要した事業費	君津地域広域廃棄物処理事業	1, 449, 749	1, 453, 541	1, 453, 541
	最終処分関係	71, 269	86, 578	86, 577
	〇第2期君津地域広域廃棄物処理事業(計画事業 P68、進捗状況〇)	47, 476	211, 294	210,724
	計	2, 186, 294	2, 367, 464	2, 365, 729

21.7%

21.5% (H29年度実績 値)

リサイクル率

7. 施策目標の 達成(進捗) 状況 В

30. 1 30. 9 32

0.0 H29 H30 R1 R2 R3 R4

実績値 - - 目標値

20. 0 15. 0 21. 5 21. 7 21. 7 21. 7

20.0

10.0 5.0

32%

	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	2, 116, 825	2, 367, 464			4, 484, 289
	決算見込額(千円)	2, 108, 102	2, 365, 729			4, 473, 831

	8. 主な取組名称①	ごみの排出抑制と再資源化の推進	12. 取組(進捗)状況	В						
	9. 主な成果	○リサイクルへの更なる関心を持って貰うため、オーガニックシティフェスティバル2020イベントに参加し、フードドライブ・小型家電回収・エコドライブシュミレーション 等を実施しました。								
	10. 主な課題	○ごみ排出量・リサイクル率ともに目標値を下回っていることから、ごみの減量化・資源化に関する情報を発信し、リサイクル意識の向上を促進する必要があります。								
	11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	まえた今後の取組 〇3月推進の国知等の事故や「重要田大規模事業者の所有者又け徳田老に対する廉を動の過暑化を改め、原奉動の過暑化及び資源化について音識の向上を図ります								
_										

8. 主な取組名称②	廃棄物の適正処理	12. 取組(進捗)状況	А						
9. 主な成果	○君津地域4市と安房地域2市1町との広域廃棄物処理事業については、令和28年度末までのPFI事業契約を事業者と組んでいます。	帝結し、令和9年度の次期	処理施設の稼働に向け取り						
10. 主な課題)廃棄物の収集・運搬について、直営業務員が年々減少する見込みであることから、更なる民間委託の検討が必要です。								
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○新たな広域廃棄物処理施設の稼働に向けた取組を進めます。 ○民間委託の拡大を含めた業務体制の見直しを進めていきます。								

(株式1)	第2次基本計画(施策)進行管理票												
1. 施策名	基本方向05 基本	本政策04 施策38 生活	5衛生の向上	;	2.取り	りまとめ担当課	琝	環境管理	課				
3. 目標	生活衛生施設の適正な維持	管理を図り、切れ目のな	ぶい衛生サービス	スを提供す	すること	により、都市環	境の保全や市民	の公衆領	衛生の向上:	0向上をめざします。			
	指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2実	績値	R 3 実績値	R 4 実績値	目相	票値		グラフ		
4. 施策目標の実現に 関する指標	狂犬病注射接種率	69.8% (H29年度実績 値)	71. 7%	73. 3	3%			72.	4%	74. 0 72. 0 69. 7 70. 0 68. 0 66. 0 64. 0 62. 0 H29 H30	71. 7	72.4 字核键 — 4 — 目標键 R2 R3 R4	
	生活排水処理率	66. 7% (H29年度実績 値)	69.8%	72. 8	8%			71.	9%	74.0 72.0 69.8 70.0 69.8 66.7 66.5 67.7 64.0 H29 H30	72.84 68.8	70.9 70.9 59.8 実績値 - 4 - 目標値 R2 R3 R4	
					R 2 当初]予算額(千円)	R 2最終予算額	(千円)	R 2決算	 見込額(千円)		7. 施策目標の	
	○木更津駅西口公衆便所改修	○木更津駅西口公衆便所改修事業(計画事業 P 69、進捗状況〇)						11,019		11,019		達成(進捗) 状況	
	○合併処理浄化槽設置事業社	補助金(計画事業 P 70、	進捗状況〇)			14, 420		14, 420		13, 172		۸	
5. 施策達成のために 要した事業費	○新火葬場整備事業(計画事	事業 P 71、進捗状況〇)				3, 600		2,805		2,805		Α	
	狂犬病予防費					1,869		1,506		1,499			
	新川園衛生処理場等維持管理	理業務委託費(包括的周	民間委託)			73, 749		73, 749		73, 748			
		計				104, 684	1	03, 499		102, 243			
	年度	R 1	R2			R 3	R 4			合計			
6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	91, 447	1	03, 499						194, 946			
	決算見込額(千円)	90, 962	1	02, 243						193, 205			
										<u>-</u>			

8.	主な取組名称①	公衆衛生対策の充実	12. 取組(進捗)状況	A									
9.	主な成果	ど、市民とペットの安心・安全の確保を図りました。 〇所管する5か所の公衆トイレのより快適な維持管理に努め、ちばおもてなしトイレに3か所を登録したほか、木更津駅は公衆トイレの建て替えが行われました。	○所管する5か所の公衆トイレのより快適な維持管理に努め、ちばおもてなしトイレに3か所を登録したほか、木更津駅西口公衆トイレの改修工事が完了し、八剱八幡神社内┃										
10.	主な課題	〇引き続き、狂犬病予防接種率の向上を図るとともに、感染症予防対策の効果的な施策を検討していく必要があります。 〇地域猫活動に関しては、まだ市内での当該活動が知られていないため、活動及び補助金交付制度の周知に努め、地域の猫問題の解決を図る必要があります。											
11.	主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	D狂犬病予防接種未実施の飼い主への勧奨指導、所管する公衆トイレの適切な維持管理、地域猫活動及び補助金制度の周知による地域の猫問題の解決に努めてまいります。											
8.	主な取組名称②	火葬場や霊園の整備、維持管理 12. 取組(進捗)状況 A											
9.	主な成果	○引き続き指定管理者制度を活用し、経費節減や利便性の向上を図りました。 ○人葬場については、空調交換、炉内台車車輪交換修繕、新規炉内台車納入等の工事を行い、火葬場設備の適正な管理に努めました。また、令和4年度完成予定である新火葬場の工事の供用開始に合わせ、指定管理期間の調整を行いました。 ○霊園については、利用者の利便性向上のため新たに駐車場を整備したほか、根上がりによる墓石への被害防止のため、主に増設部の墓地に近い桜の伐採を行いました。 ○新火葬場整備事業について、2019年度から実施している設計・建設モニタリング業務を引き続き進め、要求水準を確保しました。また、アドバイザリーの支援のもと、計画とおり金融機関と直接協定を締結しました。											
10.	主な課題	○老朽化による火葬場設備の損壊が発生しており、設備検査を踏まえ、必要な修繕工事を行う必要があります。 ○霊園については、近辺で発生するイノシシへの対策や危険性のある箇所の補修など利用者の安全性を向上させる必要がる ○新火葬場整備事業については、工事段階において、周辺住民への影響が発生しており、適切な対策を講じる必要がありま	あります。 ます。										
11.	主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○火葬場運営を効率的かつ効果的に行うため、引き続き指定管理者制度を活用し、加えて必要な修繕工事を行います。 ○霊園については、近辺で出没するイノシシへの対策を行い、事故の予防など安全性の向上のために必要な修繕工事や整 ○新火葬場整備事業については、設計・建設モニタリング業務において、引き続き定例会等を通して事業者やアドバイザリに、周辺住民への影響を最小限にとどめるよう対策を講じてまいります。併せて関連する条例の整備や指定管理者の指定	備を行います。 リーとの連携を一層強化し 手続きを進めてまいります	つつ確実に実施するととも。									
8.	主な取組名称③	し尿の適正処理	12. 取組(進捗)状況	А									
9.	主な成果	○新川園衛生処理場について、包括的民間委託契約を行う事により適正な維持管理のほか、脱水ケーキホッパーや給水ポンプ補修工事等を実施し施設維持補修に努めました。											
10.	主な課題	○新川園衛生処理場の老朽化対策が必要です。											
11.	主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○老朽化が著しい新川園衛生処理場について、施設の機能を損なうことのないよう計画的な補修及び改修に努めます。											

1. 施策名	基本方向05 基本政策05 施策39 自然環境の保護			2. 取	リまとめ担当課	玛	環境管理課			
3. 目標	標 貴重な生物の生息地である自然環境の保護に努めるとともに、次世代に良好な自然環境を引き継ぐことをめざします。									
	指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2実績値	R3実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ		
4. 施策目標の実現に 関する指標	特定外来生物等の捕獲頭数	57頭 (H29年度実績 値)	72頭 (R1年度実績 値)	72頭 (R2年度実績 値)			60頭以上	80 72 72 70 60 60 60 60 60 60 60 30 30 57 50 50 50 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10		
	古 世夕									

	事業名	R 2 当初予算額(千円)	R 2最終予算額(千円)	R 2 決算見込額(千円)
	盤洲干潟保全事業	263	122	122
5. 施策達成のために 要した事業費	盤洲干潟保全関係費	100	0	0
	計	363	122	122

這	策目標の 成(進捗) 況
	В

	年度	R 1	R 2	R 3	合計	
6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	251	122			373
	決算見込額(千円)	246	122			368

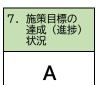
8. 主な取組名称①	自然環境の保全	12. 取組(進捗)状況	В
9.主な成果	○盤洲干潟保全及び自然環境保全の啓発のために、例年5月に実施していた盤洲干潟クリーン作戦は、主催者である自然係イルスの影響で中止となりましたが、自然保護団体のみでの清掃活動は実施され、ゴミの回収の支援等を行いました。 ○地元小学校の干潟自然観察会のために、仮設トイレを設置し、活動を支援しました。 ○干潟の保全活動や自然観察会が円滑に実施できるよう、遊歩道の除草及び砕石敷を行い、維持整備を行いました。 ○令和3年度の盤洲干潟クリーン作戦実施のため、自然保護団体・地元まちづくり協議会・市等で構成される盤洲干潟実行できました。 ○特定外来生物等の捕獲のため、100件の箱わなの貸出を行い、アライグマ57頭、ハクビシン15頭の捕獲動物の処分を行い	〒委員会を立ち上げ、継続	
10. 主な課題	 ○盤洲干潟クリーン作戦については、令和3年度から主催が盤洲干潟実行委員会となるため、円滑な運営及び継続実施仕約 	目みづくりを構築していく	必要があります。
始まえたっての収組 の大白州	○盤洲干潟クリーン作戦は、長年、自然保護団体が主催し実施してきたところですが、平成3年度の実施にあたり、地元ま委員会が発足し、地元住民による自然環境の保全への意識の醸成に繋がっています。 ○継続実施の仕組みづくりに取り組み、補助金の交付等の支援を行うとともに、広報活動の充実により参加者を募り、自然全に関する意識のさらなる向上に努めます。		

(様式1)

1. 施第		基本方向05 基本	政策05 施策40	環境の保全	2.	取りまとめ担当課	環境管理課	
-------	---------	-----------	-----------	-------	----	----------	-------	--

3. 目標	良好な環境を維持・向上させ、環	な環境を維持・向上させ、環境汚染の防止に努めるとともに、地域環境の美化促進・美観風致の維持を図り、快適で住みよい環境の実現をめざします。								
	指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2実績値	R3実績値	R 4 実績値 目標値		グラフ		
4. 施策目標の実現に 関する指標	温室効果ガス総排出量	12,053 t (H29年度実績 値)	12,626 t (H30年度実績 値)	10,555 t (R元年度実績 値)			11,500 t	13,000		
	雑草等刈取り実施率	81.7% (H29年度)	84. 8%	82.6%			82%	86. 0 85. 0 84. 0 84. 0 83. 0 82. 0 82. 0 81. 0 80. 0 81. 0 80. 0 81. 5 82. 82 82. 82 82. 82 82. 82 82. 82 82. 82 83. 82 84. 0 85. 0 86. 0 87. 0 88. 0 8		

	事業名	R 2 当初予算額(千円)	R 2最終予算額(千円)	R 2決算見込額(千円)
	大気汚染対策費	8,008	10, 413	10, 326
	水質汚濁対策費	3, 010	2, 842	2, 818
	騒音・振動対策費	2, 792	2, 101	2,077
5. 施策達成のために	ダイオキシン類分析事業	1, 045	902	902
要した事業費	地球温暖化対策事業	1, 764	861	861
	先端技術産業環境保全対策費	400	390	390
	市民まち美化活動費	1, 264	1, 171	1, 168
	〇住宅用省エネルギー設置導入促進事業(計画事業P72、進捗状況O)	16,550	12,763	12,663
	핡	34, 833	31, 443	31, 205



	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計	
	6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	20, 739	31, 443			52, 182
3013626031613	決算見込額(千円)	20, 113	31, 205			51, 318	

	次 异 尤处银(]/	20, 113	31, 203			31,310					
8. 主な取組名称①	環境・発生源の監視					12. 取組(進捗)状況	А				
9. 主な成果	○年間を通じて航空機騒音	○本市の大気・水質環境を把握するため、各種調査を実施し現状を確認しました。また、環境悪化の防止を図るため、広報や啓発活動に取り組みました。 ○年間を通じて航空機騒音を監視するとともに、県、近隣市と協力して国に申し入れを行い、騒音の低減に取り組みました。 ○発生源監視のため、事業所に対する立入調査を行い、必要に応じ指導等を実施しました。									
10. 主な課題	○より安心・安全で快適に	暮らせる生活環境の確保が	必要です。								
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○本市の環境を把握するため ○発生源監視のため、事業	め、大気、水質、騒音の各 所に対する立入調査を行い	種調査を実施し、よ 、必要に応じ指導等	り良い生活環境を確保す を実施します。	るため、広報・啓発活動	に努めます。					
8. 主な取組名称②	環境保全活動の推進			12. 取組(進捗)状況	A						
		2産地消などの木更津市独自 3暖化プラン」を令和2年3		事業者、市の各主体と取	り組む重点施策を盛り込	んだ木更津市地球温暖化対	対策実行計画(区域施策				
10. 主な課題	○ 「きさらづストップ温暖	化プラン」の市民、市内事	業者への普及啓発が	必要です。							
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○プランの実行性を高める	ため、庁内の所管課と協力	し、地球温暖化対策	実行計画を推進し、その	効果を検証します。						
8. 主な取組名称③	環境美化対策の推進					12. 取組(進捗)状況	А				
	○「犬ふん防止ポスター」 ○雑草等処理対策の刈取り	、「不法投棄防止ポスター 実施率80%達成しました。	」の作成・配布しま	した。							
	○市街地のポイ捨て、山間 ○一定数の雑草が繁茂して	部の不法投棄及び犬ふん放 いる空き地があります。	置は未だ発生してい	ます。							
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性		に施及び必要に応じ千葉県等 回し、雑草の刈取に繋がるよ			行います。						

(18	(I) I)	第2次基本計画(施策)進行管理票												
1	施策名	基本方向06 基本	本政策01 施策41 市民	参加の推進		2. 取	リまとめ担当課		企画課					
3	月標	広報きさらづや市公式ホーム 供することにより、政策形成	広報きさらづや市公式ホームページをはじめ、様々な広報媒体を積極的 共することにより、政策形成やまちづくりの市民参加の拡大をめざしま				ることで、市民と	こ行政の情報共有	を図る	とともに	、市民等の	行政への)参加の)機会をより多く提
		指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2集	淫績値	R3実績値	R 4 実績値 目標値				グラフ	•	
4	4. 施策目標の実現に関する指標	委員を公募する審議会等の	打.9% 割合 (平成30年 度)	30. 6%	32.	1%			70%		80. 0% 70. 0% 60. 0% 51. 9% 40. 0% 30. 0% 20. 0% 10. 0% H30	70. 05 60. 05 51. 95 705 705 705 705 705 705 705 70		
		本市独自のアプリケーショ: ウンロード数	ンダ 未実施 (平成30年 度)	11,529件 (令和2年3月 現在)	16, 59 (令和3 現在	年3月			20, 0	000件	10,000	529 13	i, 596	
			事業名			R 2 当社	加予算額(千円)	R 2最終予算額	(千円)	R 2決	算見込額(-	千円)		7. 施策目標の
		市民意識調査実施事業					2, 500		1,727		,	1,727		達成(進捗) 状況
		市民がつながる生活総合ア	プリケーション等管理)	運営費			4, 462		4, 462		L	4, 462		В
5	施策達成のために 要した事業費													<u> </u>
			計				6, 962		6, 189			6, 189		
	PI											-,		
6	毎年度の予算額取び	年度	R 1	R 2			R 3	R4			合計			
8	6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	43, 516		6, 189							9, 705		
		決算見込額(千円)	41,935		6, 189						48	8, 124		

8. 主な取組名称①	市民参加の拡大	12. 取組(進捗)状況	В
9. 主な成果	○審議会等の委員の公募や政策の形成過程における市民等の行政への参画の機会を提供するため、「附属機関等の委員の認めました。 図りました。 ○市民からの意見を政策等へ反映させるために実施している意見公募手続については、より多くの意見が寄せられるよう、ました。 ○市の取組に対する満足度や優先度等を調査・分析し、今後の施策展開に反映させるため、市民2,000人を対象とした市民	公民館等でのわかりやす	い掲示に努め、周知を図り
	○委員選出に伴う公募制を導入している審議会等の割合が低いため、公募制が適当であると認められる審議会等において していく必要があります。 ○市民意識調査は幅広い年齢層を対象としており、若年層からの回答率が低かったことから、郵送方式による回答のみない必要があります。		
踏まえた今後の取組	○各審議会等の性質や内容について精査し、公募による委員選出の拡大が可能か検討します。○意見公募手続を円滑に実施することにより、市民等の行政への参加機会をより多く提供することにより、市政への市民を受けるに対している。○社会情勢や価値観等の多様化に伴う市民ニーズの変化を捉え、より市民に寄り添った施策を展開するため、市民意識調査	参画の拡大に努めます。 査を定期的に実施します。	

8	. 主な取組名称②	市民との情報共有の推進	12. 取組(進捗)状況	В					
9	・主な成果	〇年間を通して、市ホームページのトップページや広報きさらづで「らづナビ」の周知を行った結果、令和2年度の目標値を大幅に超えるダウンロード数となりました。							
10	・主な課題	発信する情報量・情報発信媒体が増えているので、どのような情報をどのような媒体で発信すれば効果的であるのかを整理する必要があります。							
11	. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○真に必要な情報発信媒体を整理し、シニア世代には広報きさらづなどの紙媒体、子育て世代・若者世代にはSNSなどの た媒体での情報発信を検討します。	カデジタル媒体での発信な	ど、ターゲット層を意識し					

1. 施策名	基本方向06 基本施策01 施策42 魅力発信力の強化	2. 取りまとめ担当課	シティプロモーション課	ļ

3. 目標 木更津の魅力を積極的かつ効果的に市内外に発信することにより、定住・交流人口の増加や観光・産業を促進し、さらに市の魅力を強化していく好循環の創出をめざします。

		指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2実績値	R3実績値	R4実績値	目標値	グラフ
4. 施策目 関する	策目標の実現に する指標	Facebookページの「いいね!」への件数	5,002 いいね (平成31年1月 時点)	5,684 しいいね (令和2年3 月時点)	5,836 しいいね (令和3年3 月末時点)			7,000 いいね	8,000 7,000 6,000 5,000 5,000 6,000 5,000 6,500 7,000 6,500 7,000 7,000 6,500 7,000 1,000 2,000 1,000 0 H30 R1 R2 R3 R4
		木更津市に愛着や誇りを感じて いる人の割合	31.9% (平成30年度 市民アンケー ト結果)	-	32.7% (令和2年度 市民アンケー ト結果)			50%	60 50 40 31.9 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30

	事業名	R 2 当初予算額(千円)	R 2最終予算額(千円)	R 2決算見込額(千円)
	広報きさらづ発行費	24, 770	24, 999	24, 375
	ラジオ広報費	8, 633	8, 633	8,633
り. 心水连ルのためた	動画制作・放送事業	3, 311	3, 311	3, 311
要した事業費	地域情報魅力発信事業	1,640	1, 469	1,462
	木更津PR大使・木更津ふるさと応援団事業	107	107	100
	マスコットキャラクター活用事業	430	430	423
	計	38, 891	38, 949	38, 304

7. 施策目標の 達成(進捗) 状況 **B**

	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	43, 647	38, 949			82, 596
	決算見込額(千円)	42, 057	38, 304			80, 361

8. 主な取組名称①	木更津の魅力発信	12. 取組(進捗)状況	В
9. 主な成果	│ ○広報きさらづや市ホームページ、SNSなどの媒体で木更津の魅力発信を行い、中でも市公式YouTubeチャンネルンネル登録者数は前年比で393人増の523人と大幅に増加しました。 │	レでの発信に力を入れた結	果、令和2年度の新規チャ
10. 主な課題	○魅力発信方法が多様化しているため、発信方法の見直し・工夫が必要と考えられます。 ○Facebookへのいいね件数は、ほぼ横ばいとなっていますが、Facebookのアクティブユーザー数が減って	ていることが原因だと考え	られます。
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○ドローンやGoPro等の撮影機材を使った魅力発信を行い、さらに木更津市マスコットキャラクター「きさポン」やz着や誇りを感じている人の割合の増加を目指します。 ○YouTubeにアップした動画をTwitter・Facebookで周知を行うなど情報発信媒体同士の連携をし、を図ります。		

1. 施策名	基本方向06 基本政策01 施策43 移住・定住の推進 2. 取りまとめ担当課 産業振興						霍業振興課		
3. 目標	東京都心に近接するとともに、豊かな自然環境をあわせ持つ本市の特性を活かし、移住・定住者の増加をめざします。								
	指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2実績値	R3実績値	R4実績値	目標値	グラフ	
4. 施策目標の実現に 関する指標	暮らし体験イベントへの参加者	10人 (平成29 年 度)	6人	0人			20人	25 20 15 20 20 20 20 20 20 20 10 10 6 	

	事業名	R 2 当初予算額(千円)	R 2最終予算額(千円)	R 2決算見込額(千円)
	移住・定住推進事業	1, 376	0	0
5. 施策達成のために 要した事業費				
	計	1, 376	0	0

				7,212		
	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	1,376	0			1,376
	決算見込額(千円)	1,340	0			1, 340

7.	施策目標の 達成(進捗) 状況
	В

8	. 主な取組名称①	移住・定住相談窓口の充実 12. 取組(進捗)状況 A								
9	. 主な成果	○相談件数は59件(電話6件、窓口20件、メール14件、LINE19件)であり、移住者は2件でした。 ○移住・定住相談窓口専用のLINE公式アカウント「木更津市移住・定住相談窓口」を令和3年2月に開設し、2か月でチャット相談19件、友だち追加数101名でした。 ○相談者の移住・定住に係る様々な疑問に対応するとともに、(一社)千葉県宅地建物取引業協会南総支部及びNPO法人木更CoNとの3者協定に基づき、物件情報や暮ら し情報などの情報提供等を行いました。								
10	・主な課題	○新型コロナウイルス感染拡大以降、リモートワークや二拠点居住など、新しい暮らし方が普及していることから、それらのニーズに対応した移住施策や新しい暮らし方が叶 う街としてのPRを県外へ周知する必要があります。								
11	. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○相談窓口の周知及び活用を促すとともに、様々な相談に迅速かつ細やかに対応できるよう、LINE公式アカウントを活用したオンライン相談等、相談窓口の充実を図ります。 ○相談者から寄せられる声や転出・転入の動向、公式HPやSNS等のインターネットから得られた情報を分析し、将来のまちづくりの担い手となる若者の転出防止策の研究などを通し、業務を効果的かつ戦略的に進めます。								
8	. 主な取組名称②	魅力発信力の強化及び暮らし体験イベント等による働きかけ	12. 取組(進捗)状況	В						
		魅力発信力の強化及び暮らし体験イベント等による働きかけ 〇新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、令和2年度は移住・定住推進事業の実施が困難であったため、イベントは実施し	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	В						
9	. 主な成果		しませんでした。	-						

	1. 施策名	基本方向06 基本施策02	施策44	オーガニックなまちづくりの推進	2. 取りまとめ担当課	地方創生推進課	
_							

3. 目標 持続可能な未来を創るため、地域、社会、環境等に配慮し、主体的に行動しようとする考え方である「オーガニック」をまちづくりの視点として、地域社会を構成する多様な 主体が一体となり、本市を人と自然が調和した持続可能なまちとして、次世代に継承することをめざします。

		指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2実績値	R3実績値	R4実績値	目標値	グラフ
	4. 施策目標の実現に 関する指標	「オーガニックなまちづくり」 の認知度	45.2% (平成30年度 市民アンケー ト結果)	1	50.5% (令和2年度 市民アンケー ト結果)			80%	100.0 80.0 60.0 40.0 45.2 45.2 50.5 20.0 0.0 H30 R1 R2 R3 R4
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		オーガニックアクション宣言企 業認定数	29件 (平成31年1月 末現在)	52件	61件			70件	80 70 60 52 50 40 29 30 40 29 50 30 40 20 10 0 H30 R1 R2 R3 R4

	事業名	R 2 当初予算額(千円)	R 2最終予算額(千円)	R 2決算見込額(千円)
	〇オーガニックシティ戦略推進事業(計画事業P73、進捗状況O)	4, 500	3, 994	3, 702
5. 施策達成のために 要した事業費				
	計	4, 500	3, 994	3, 702

7. 施策目標の 達成(進捗) 状況
В

	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	4, 500	3, 994			8, 494
	決算見込額(千円)	4, 398	3, 702			8, 100

8	. 主な取組名称①	オーガニックなまちづくりの普及啓発	12. 取組(進捗)状況	В			
9		○オーガニックなまちづくりを実践する企業であるオーガニックアクション宣言企業として、9企業に登録していただき、催しました。 ○11月3日の市民の日を「オーガニックデイ(オーガニックの日)」と位置づけ、オーガニックシティフェスティバルを「での開催となったため、入場制限を設けるとともに、来場にあたっては事前申込形式とし、会場での検温の実施や消毒、とじながらの開催となりました。 ○フェスティバルは、2つのエリアに分かれ、「オーガニックなまちづくり」を楽しみながら学ぶことができるワークシェンを実施し、市内外約6,500人の方にご来場いただき、「オーガニックなまちづくり」の推進を図りました。	同日開催イベントと連携し ノーシャルディスタンスの	て開催しました。コロナ禍 確保など、感染症対策を講			
10	・主な課題	○イベントのさらなる向上に向けて、出展者や市職員のオーガニックシティフェスティバル開催趣旨やオーガニックなますます。	ちづくりに対する理解・認	識を高めていく必要があり			
11	. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○実施にあたり出展者に開催趣旨を理解・認識いただくよう努めるとともに、市職員による主体的なイベント運営により、オーガニックなまちづくりの理解・認識を高め、市 職員としてのさらなるスキルアップに繋がるよう取り組みます。					
			T				
8	. 主な取組名称②	行動計画の策定と進行管理	12. 取組(進捗)状況	В			
9	. 主な成果	○「第2期オーガニックなまちづくりアクションプラン 木更津SDGs推進モデル ORGANIC CITY PROJI ムページや各種SNS等で市民に周知を行いました。	ECT」における各取組の	進捗状況を随時市公式ホー			

8. 主な取組名称②	行動計画の策定と進行管理	12. 取組(進捗)状況	В		
9. 主な成果 ○ 「第2期オーガニックなまちづくりアクションプラン 木更津SDGS推進モデル ORGANIC CITY PROJECT」における各取組の進捗状況を随時市公式 ムページや各種SNS等で市民に周知を行いました。					
10. 主な課題 ○各プロジェクトの施策間連携をどのように行っていくのか、また、進捗が見られない取組についてどのように課題解決を図るかの検討が必要です。					
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	 ○継続して取組の進捗状況を周知するとともに、官民連携した課題解決を図るため庁内各担当課及び各プロジェクトに関係 会議を行います。	系するオーガニックアクシ	ョン宣言企業を加えた連絡		

基本方向06 基本政策02 施策45 協働によるまちづくりの推進 2.取りまとめ担当課 市民活動支援課	
---	--

TT MONET									
3. 目標	域自治のさらなる推進に向け、地区まちづくり協議会と連携するとともに、市民活動支援センターを活用し、市民協働を促進することにより、地域の課題の解決に自ら取り む「市民力」「地域力」の高いまちづくりをめざします。								
	指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2実績値	R3実績値	R 4 実績値	目標値	グラフ	
	地区まちづくり協議会の設立割 合	46.7% (平成30年度)	53. 3%	73. 3%			100%	100.0 80.0 100 100 100 100 100 100 100	
4. 施策目標の実現に 関する指標	市民活動支援センター来場者数	14,339人 (平成29年度)	28, 152人	9,035人			24,000人	35,000 30,000 25,000 20,000 14,339 15,000 10,000 5,000 H29 H30 R1 R2 R3 R4	
	行政ポイント付与件数	未実施 (平成30年度)	3, 175件	1,674件			4,000件	5,000 4,000 4,000 4,000 4,000 4,000 4,000 1,000 2,000 1,674 日標值 R1 R2 R3 R4	

	事業名	R 2 当初予算額(千円)	R 2歳羽刕予算額(千円)	R 2決算見込額(千円)
	地域自治の充実に向けた制度推進事業	7, 309	6, 759	6, 759
	市民活動支援センター指定管理料	15, 180	15, 180	15, 180
5. 施策達成のために 要した事業費	市民活動支援センター管理運営諸経費	5, 972	5, 972	5, 946
	市民活動支援センター運営協議会委員報酬	120	80	36
	行政ポイント推進事業	3, 855	5, 070	2,610
	핡	32, 436	33, 061	30, 531

7. 施策目標の 達成(進捗) 状況	
В	

	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	28, 379	33, 061			61, 440
	決算見込額(千円)	28,001	30, 531			58, 532

8. 主な取組名称①	地域自治の推進 1	12. 取組	(進捗)状況	В
9. 主な成果	○地区まちづくり協議会に財政的支援として地域自治振興補助金の交付、人的支援として地域推進職員制度による市職員をた。 ○まちづくり協議会の未設立地区に対し、説明会等を実施することで、設立の機運が高まり、令和2年11月に市内9地区目と11地区目となる「清見台・太田地区」、「東清川地区」において設立されました。			
10. 主な課題	○地区まちづくり協議会の未設立地区において、地区の意見を聞きながら適正な地区割等を考え、設立する必要があります			
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○地域自治の拠点をなる各公民館と連携し、説明会等を開催することにより、地域自治の必要性等の周知を図り、地区まちします。	づくり協	議会の未設立地	区における新規設立をめざ

8. 主な取組名称②	市民活動に対する支援の充実	12. 取組(進捗)状況	В		
9. 主な成果	○市民活動支援センターの登録団体は、新たに6団体の登録があり、市民活動の幅が広がっています。 ○行政ポイント制度を平成31年4月から導入し、市民活動への参加を促しました。				
10. 主な課題	○市民活動支援センターの登録団体同士の交流をさらに活発化させ、市民活動の推進を図る必要があります。 ○行政ポイント制度を広く周知する必要があります。				
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性 ○市民活動支援センターにおいて、登録団体同士の交流会を継続して実施するとともに、登録団体向けに団体活動調査を実施し、市民活動の把握を行います。 ○行政ポイント制度を広く周知するため、市民活動団体に対し、活用方法の周知を図ります。 ○市民活動の更なる活性化及び市民活動団体等の新たな活動資金を確保するため、行政ポイント制度に寄附機能を追加します。					

(様式1)

第2次基本計画(施策)進行管理票

1. 施策名 基本方向06 基本政策03 施策46 質の高い行財政運営の推進 2. 取りまとめ担当課 企画課

3.目標 質の高い行政サービスを提供するため、社会経済情勢や市民ニーズの変化に的確に対応し、未来を見据えた計画的な行財政運営をめざします。

	指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2実績値	R3実績値	R4実績値	目標値	グラフ
4.	実質公債費比率	2.9% (平成29年度 決算)	3.3% (平成30年度 決算)	P成30年度 (令和元年度	5%以内	6.0% 5.0% 5.0% 5.0% 5.0% 5.0% 5.0% 5.0% 5		
	公営建築物の耐震診断実施率	77% (平成29年 度)	82%	82%			100%	100.0% 82% 82% 82% 100% 100% 80.0% 82% 85% 885 100% 82% 85% 885 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100

	事業名	R 2 当初予算額(千円)	R 2最終予算額(千円)	R 2決算見込額(千円)
	○業務プロセス改善事業(計画事業P74、進捗状況△)	5,000	0	0
	○庁舎建設基金積立金(計画事業 P 75、進捗状況△)	201, 536	1,687	1,686
	○PCB廃棄物処理事業(計画事業P76、進捗状況△)	67, 500	12, 382	12, 382
	〇土地開発公社経営健全化に伴う土地購入(計画事業 P77、進捗状況O)	213, 727	213, 727	213, 727
5. 施策達成のために	〇公共施設耐震診断事業(計画事業 P78、進捗状況×)	5, 388	0	0
要した事業費	〇公共施設解体事業(計画事業 P79、進捗状況〇)	77,000	79, 361	74, 172
	〇学校水泳指導民間活力事業(計画事業 P80、進捗状況×)	5,000	0	0
	たちより館管理費	2, 848	2, 817	2, 343
	市有地管理及び登記事務事業	12, 381	12, 413	11,909
	財産管理諸経費	2,010	2, 010	1, 931
	計	592, 390	324, 397	318, 150

7. 施策目標の 達成(進捗) 状況

		年度	R 1	R 2	R 3	R 4	合計
6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	510, 453	324, 397			834, 850	
		決算見込額(千円)	443, 006	318, 150			761, 156

8. 主な取組名称①	基本計画事業等の進行管理の推進	12. 取組(進捗)状況	В				
	 ○第2次基本計画に位置付けた施策及び基本計画事業の進行管理を行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により中期財政計画との整合を図るため基本計画事業の一部を見直しました。						
	○新型コロナウイルス感染症が未だ収束を見通せない状況にありますので、市民の命と健康を守る感染症対策、市民生活や地域経済を守るための対応や新しい生活様式への対応などを継続的に取り組んでいく必要があります。 ○大幅に増大する社会保障関係費や交際費、公共施設の老朽化対策や近年頻発している災害への備えなど、喫緊に取り組むべき課題への対応を行う必要があります。						
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	〇計画的な行財政運営による事務事業の実効性を高めるため、中期財政計画と連動した基本計画事業等の適切な進行管理で	を行います。					

٤	3. 主な取組名称②	行政改革の推進	12. 取組(進捗)状況	В				
ç	9. 王な成果	○行政改革推進計画については、新型コロナウィルス感染拡大に伴い、予定していた事務事業が実行できない状況や新しい生活様式に対応するため、これまでのやり方を見直すこととし、第6次行政改革大綱の基本姿勢は維持しつつ、改めて事務事業を見直し、推進項目を50項目から13項目へ絞りました。 ○新型コロナウィルス感染症対策に伴い、業務用スマートフォン導入やテレワーク環境を構築するとともに、市民が来庁せずに申請ができるようマイナポータルを活用した子育てに係る12の申請手続きについて、公的個人認証による本人確認を実施した電子申請を開始しました。						
1	0. 主な課題	 ○新たなニーズにより発生した事業等に限られた人員と財源で対応していくために、これまでの仕事のやり方を抜本的に3 	新たなニーズにより発生した事業等に限られた人員と財源で対応していくために、これまでの仕事のやり方を抜本的に変え、併せて財源確保に取り組む必要があります。					
1	1. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○ICTを活用した業務の変革と財源の確保に向けた取組を進めて行きます。						

8.	主な取組名称③	健全な財政基盤の確立	12. 取組(進捗)状況	А						
9.	主な成果	○実質公債比率、将来負担比率ともに国の基準を大きく下回っており、財政の健全化が図られています。								
10.	主な課題	○歳入については、根幹をなす市税収入において、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、税制改正の影響による法人市民税の減少や、固定資産税の減免措置などにより、 令和3年度の税収は大幅に減収となる見込みであり、令和4年度以降も大幅な人口の増加が見込めないなか、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないことなどから先行 きは不透明な状況です。歳出については、少子高齢化が進展する状況において、社会保障関係費の伸びや後期高齢者医療特別会計及び介護保険特別会計への繰出金の増加が見 込まれます。								
11.	主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○今後、より一層の財源確保に努めることはもとより、市債や基金の適正な管理を徹底し、真に必要な事業を中心に効率化・重点化を図り、計画的に執行します。								
8.	主な取組名称④	組織・人材マネジメントの推進	12. 取組(進捗)状況	А						
9.	主な成果	○新型コロナウィルス感染症の影響を受けるなか、ICTを活用した職員の生産性の向上と業務の効率化を進めるため、テレワーク環境の整備を行いました。								
10.	主な課題	○仕事と生活のバランスが取れる、働きやすい職場づくりを進めるため、継続したテレワークの利用状況や課題点の把握が必要です。								
11.	主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○職員の働く環境の変化や、子育て・介護と仕事の両立等に活用できるよう利用状況の調査や課題の抽出等を実施していきます。								

8. 主な取組名称⑤	公共施設等の総合的な管理の推進	12. 取組(進捗)状況	В
9. 主な成果	○公共施設の維持管理に対する民間活力導入の一環として、旧富岡小学校において、民間事業者を跡地活用事業者に選定し ○庁舎建設基金については、平成24年から積立を開始し、令和3年3月31日現在、約25億6千万円の残高となりました。 ○耐震性能を確認するため、稲荷森集会場と高柳出張所の耐震診断の実施を予定していましたが、新型コロナウイルスの見直しました。また、旧中郷中学校西校舎と富来田資料庫については、耐震性能不足及び老朽化が著しいことにより解体」 ○公有財産を適正に維持管理するため、除草等の業務委託を22件行いました。 ○公有財産のさらなる有効活用を図るため、8件の土地売却、130件の賃貸借契約による貸付を行うことで、より一層の歳 ○PCB使用の疑いがある市民会館の照明設備の撤去工事を実施しました。また、市民会館は津波の恐れがある地域に該当を行いました。	ど響により中止とし、令和 □事を行いました。 入確保に努めました。	3年度以降の計画を再度を
10. 主な課題	○将来の人口減少社会の到来に備え、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進する必要があります。 ○現在の仮庁舎の賃貸借期限が令和6年度末であることから、庁舎建設積立基金の取扱いについて、関係課等と協議し決定 ○耐震診断の結果、耐震性能が基準を下回る公共建築物については、今後の対応方針を速やかに決定していく必要がありる ○公有財産の維持管理については、維持管理に要する費用の削減が求められるとともに、効果的かつ安定的な歳入確保を固 産を選別し、より一層の有効活用を推進していく必要があります。 ○PCB廃棄物の処理については、現在使用中の道路灯や防犯灯にPCBが含まれている疑いのあるものが残っているため	⊧す。 図るため、不動産市場にお	いて利用価値がある公有財
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○地域の活性化に資する空き公共施設の有効活用を進めるとともに、「公共施設等総合管理計画」及び「公共施設再配置 総量にすることを目標に、各施設の再編等を計画的に進めます。 ○令和3年度に期限を迎える「公共施設再配置計画第1期実行プラン」を総括し、次期計画として「公共施設再配置計画第 ○令和2年度及び3年度の積立は、財政状況を考慮し、債権と定期預金の運用益のみとなっています。なお、新庁舎の整何が所掌事務を行いますが、庁舎建設基金の運用については管財課が行います。当該基金の今後の取扱いについては関係課等 ○耐震性能を確認するため、公共建築物の耐震診断を実施するとともに、耐震性能が基準を下回る公共建築物については、検討します。また、行政目的を終えた建築物や老朽化の著しい建築物は順次解体を行います。 ○公有財産の維持管理に要する費用の削減及び歳入確保を図るため、公有財産の有効活用を図ります。今後の取組として、入に努めるとともに、定期的な現地調査を行うことにより、売却候補地などの選別を行います。また、借受希望のある土地う、必要に応じて現地立ち会い及び関係各課等との調整を図ります。 ○ESC〇事業において道路灯や防犯灯のLED化が進み、それに伴いPCB廃棄物が確認できた場合は、処理期限までに	62期実行プラン」を策定 情については令和3年度か 好と協議を行っていく必要 解体及び耐震補強等の実 不動産市場の動向などの 也などについては、円滑か	します。 ら公共施設マネジメント課 があります。 施など、今後の対応方針を 情報収集及び民間活力の導 つ効率的な貸付を行えるよ

1. 施策名	基本方向06 基	本政策04 施策47 広均	或行政の推進	2. 取	りまとめ担当課		企画課				
3. 目標	今後の人口減少・少子高齢 するとともに、他の自治体	化を見据えた持続可能 との効率的な広域連携(な行財政運営のも の推進により、市	5と、多様化し 5民サービスのA	ている行政需要に 維持や効率化をめ	に適切に対応する)ざします。	ため、一部事務	組合で共同処理し	ている事務のあり方を検討		
	指標名	現状値 (目標設定時)	R 1 実績値	R 2実績値	R3実績値	R4実績値	目標値		グラフ		
4. 施策目標の実現に 関する指標	君津地域4市の広域的な連 共同処理による事務の見直	携や 未実施 し (H30年度)	1件	0件			3件以上 (累計)	4.0 実績値 — 3.0 2.0 1 1.0 0 0.0 H30 R1	● 実績値 ● 目標値 3 3 1 1 0 0 RI R2 R3 R4		
		事業名		R 2当	初予算額(千円)	R 2最終予算額	(千円) R 2決	算見込額(千円)	7. 施策目標の 達成(進捗) 状況		
5. 施策達成のために 要した事業費									В		
		計			0		0	0			
	年度	R 1	R 2		R3	R 4		合計			
6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	0		0				0			
	決算見込額(千円)	0		0				0			

8	. 主な取組名称①	一部事務組合による効率的な事務処理の推進	12. 取組(進捗)状況	С					
Ş	. 主な成果	○君津郡市広域市町村圏事務組合で共同処理している事務のあり方を検討する中で、救急急病医療事業や児童発達支援センターの管理運営について、関係市との事業検討は 行っているものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、関係機関との協議に進展がない状況です。							
10). 主な課題	○関係機関との協議に時間を要するため、引き続き、君津郡市広域市町村圏事務組合で共同処理している事務のあり方を検討していく必要があります。							
1	. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○効率的、効果的な行財政運営に向け、引き続き、君津郡市広域市町村圏事務組合で共同処理している事務のあり方を関係機関と協議していきます。							
8	. 主な取組名称②	広域連携の推進	12. 取組(進捗)状況	В					
Ç	.主な成果	○新火葬場事業については、君津地域4市による共同事業として令和4年度の施設供用開始に向け、事業者と連携し準備を進めています。 ○君津地域4市と安房地域2市1町との広域廃棄物処理事業については、令和2年9月に事業を担う事業者と令和28年度末までのPFI事業契約を締結し、令和9年度を始期とする次期処理施設の供用開始に向け取り組んでいます。 ○新たなまちづくりに関する連携による取組の一つとして、君津地域4市職員の人事交流を図るため本市職員1名を君津市へ派遣しました。							
10). 主な課題	〇今後の人口減少局面に備え、近隣市と連携し公共施設の共同利用等に向けた取組を進める必要があります。							
1	・主な成果・課題を 踏まえた今後の取組	〇老朽化している公共施設等の更新など、財政需要の増加傾向が続くことから、広域での共同利用、ひいては共同建設に向けた取組を推進していきます。							

1. 施策名	基本方向06 基本				取りまとめ担当課	地力	方創生推	 進課			
3. 目標	ICTを利活用することで、 運営の実現を図ることで、	、市民ニーズに対応し より便利で住みやすい。 -	た行政サービスな まちづくりをめて	を、いつでも ざします。 -	、どこでも、だれて	でも享受できる環	境づくり	ノに努めるとと	<u></u> :もに、迅速	<u></u> かつ正確	確で、効率的な行政
	指標名	現状値 (目標設定時)	R1実績値	R 2実績値	直 R3実績値	R4実績値	目相	票値		グラフ	7
4. 施策目標の実現に 関する指標	公開オープンデータ数	3個 (H30年度)	5個	5個			11	12 — 10 — 8 — 6 — 4 — 2 — 0 —	5 3 H30 R1	5 R2	11 一 実績値 — 4 — 目標値 R3 R4
	I CTの新規導入により業 効率化が図れた事務事業の		1件	3件			7	件 4 3 2 1 0	7 1 1 H30 R1	7 7 7 7 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
		事業名		R 2	当初予算額(千円)	R 2最終予算額	(千円)	R 2決算見込	額(千円)		7. 施策目標の
	地域ICT推進会議運営事		174		158		150		達成(進捗) 状況		
	〇ICT等導入事業(計画事業 P81、進捗状況〇)				43, 115		16, 831		16,815		В
5. 施策達成のために 要した事業費	○デジタルサービス推進事業(計画事業 P82、進捗状況△)				25, 000		726		726		Ь
	計				68, 289		17, 715		17, 691		
	年度	R 1	R 2		R 3	R4		合詞	; †		
6. 毎年度の予算額及び 決算見込額の推移	最終予算額(千円)	28, 156		17, 715					45, 871		
30,000,000	決算見込額(千円)	18, 755		17, 691					36, 446		

8. 主な取組名称①	地域情報化の推進	12. 取組(進捗)状況	В				
9. 主な成果	○「木更津市第3次地域情報化推進プラン」に位置付けた各取組についての進行管理を行い、地域情報化へ向け取組を進めました。 ○新型コロナウイルスの感染拡大を受け、「新たな日常」に対応した情報化に関する取組を「木更津市第3次地域情報化推進プラン」に新たに位置付けました。 ○地域でオープンデータを推進する人材を育成することを目的とした研修に参加することで、活用の拡大や民間企業等のデータ活用に向け、理解を深めました。						
10. 主な課題	○新型コロナウイルス感染拡大により明らかとなったデジタル化に関する様々な課題や、本市の状況等を改めて整理するとともに、国の方針等を踏まえた地域情報化の方向性 を明確化する必要があります。 ○オープンデータの普及促進に向け、更なるデータの公開と活用方法の検討が必要です。						
11. 主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○木更津市地域情報化推進ネットワーク本部委員のご意見や、昨年末に国が策定した「自治体デジタル・トランスフォーズ 情報化推進プランの見直しを行い、地域社会のデジタル化を更に推進します。 ○オープンデータの活用に向けては、民間企業等のデータ活用に向けた需要喚起の手法について調査・研究に取り組みます。		まえ、木更津市第3次地域				

8.	主な取組名称②	電子市役所の推進	12. 取組(進捗)状況	В			
9.	主な成果	○令和2年度は高齢者福祉課、市民課及び健康推進課における3つの業務に対してRPA及びAI-OCRを導入し、ICTを活用した業務の効率化を図りました。 ○USBドングルを導入しテレワークを推進しました。 ○テレビ会議やZOOMの利用によるオンライン会議を促進することで、仕事の効率向上を図りました。					
10.		○RPAによる認識状況の差や担当課が導入する際の確認作業の増加等が発生するため、それを見越した業務工程の見直しが必要となります。 ○会議録作成支援システムの利用が伸び悩んでいるため、利用促進を図る必要があります。					
11.	主な成果・課題を 踏まえた今後の取組 の方向性	○ICTの活用による業務効率化を図るために、業務工程を見直しを実施したうえで、RPA、AI-OCRを適切に導 <i>入</i> ○会議録作成支援システムの積極的な活用に向けた周知を図ってまいります。	入していきます。				